

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	地域情報通信施設(戸隠、鬼無里、信州新町、中条)			項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	4	利用料金/代行制										利用料金制
指定管理者	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ			市決算額	歳出	6,398,461	ケーブルテレビ加入世帯数	世帯	3,993	3,885	3,825	3,761	98%
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)			市決算額	歳入	1,682,920	ケーブルテレビ加入率	%	82	81	81	81	100%
実施事業概要	・テレビ波等信号供給業務 ・自主放送番組作成業務 ・加入・変更・解約等受付業務 ・障害・故障対応業務 ・施設・設備保守等維持管理業務 ・利用料金賦課徴収業務			市決算額	実支出額	4,715,541	インターネット加入世帯数	世帯	1,039	1,040	1,041	1,079	104%
				市決算額	前年度実支出額	▲4,347,346	インターネット加入率	%	21	22	22	23	105%
				市決算額	前年度からの実支出増減額	9,062,887	告知端末加入世帯数	世帯	4,392	4,268	4,179	4,096	98%
				市決算額	支出	85,940,329	利用者評価						
				市決算額	収入	86,651,761	(1) 良好とする評価						
担当課	情報政策課			市決算額	自主事業支出	545,758	・困った事(テレビ映りや操作方法)の対応が丁寧で良い。 ・情報局(自主放送番組)の内容が身近な地域の人や話題が放送されていて良い。 ・地区の様々な情報を聞くことができ良い。(音声告知放送)						
市決算額	自主事業収入	939,955	(2) 苦情・改善等の要望事項										
市決算額	損益	1,105,629	・情報局の放送時間が分からない。										
市決算額	昨年度実績	990,830											
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		70		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	基盤型									
施設の有効活用	4	8			・ケーブルテレビ、告知放送加入率が高く、インターネット加入世帯も増加傾向であることから「施設の有効活用」を4とした。 ・利用者アンケート結果からサービス内容、窓口対応、電話対応等が前回よりも高評価となっていることから「利用者評価」を4とした。 ・施設管理運営が適切におこなわれていること、復旧作業も迅速かつ確実に実施されていること、施設更新、強化作業への適切なサポートがされたことから「管理運営全般」を評価「4」とした。 ・各地のイベント取材し地域に密着した自主放送番組を作成していること、窓口担当職員を地元住民から雇用し、利用者が相談しやすい体制であることから、「地域連携」を評価「4」とした。								
利用者評価	4	8			次年度の目標・取り組み等 ・高齢化の進む地域の中で、利用者に合わせてサポートやサービスを実施していく。 ・地域の情報通信局として、多チャンネル放送の配信やインターネット事業のみならず、地域に密着した情報や緊急災害情報など、市民から親しまれ安心して暮らせる情報を提供する。 ・中条情報通信施設の更新及び伝送路ループ化、戸隠、鬼無里地区の施設更新に関する設計を実施する。								
事業収支	3	12								指定管理者 自己評価 B			
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	大峰斎場、松代斎場			項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	2	利用料金/代行制										一部利用料金制
指定管理者	五輪・宮本工業所・グリーン美装グループ			市決算額	歳出	72,994,600	火葬執行	件	4,264	4,204	4,243	4,254	100%
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)			市決算額	歳入	47,876	霊柩車運行	件	111	149	143	149	104%
実施事業概要	①火葬に関する業務 ②焼骨の引き取りに関する業務 ③施設及び設備の維持管理に関する業務 ④霊柩車の運行に関する業務 ⑤葬祭用品の販売業務 ⑥その他、斎場を管理する上で市長が必要と認める業務			市決算額	実支出額	72,946,724							
				市決算額	前年度実支出額	▲68,418,341							
				市決算額	前年度からの実支出増減額	141,365,065							
				市決算額	支出	132,148,354	利用者評価						
				市決算額	収入	135,303,841	(1) 良好とする評価						
担当課	市民窓口課			市決算額	自主事業支出	0	・職員皆様の落ち着いた穏やかな態度に耐えられました。 ・清潔に保たれ綺麗に整えられて素晴らしい施設です。						
市決算額	自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項										
市決算額	損益	3,155,487	①ロビーから見える庭の手入れをしっかりとされた方が良い。 ②足の悪い方もいるので、玄関前に車の駐車スペースを確保頂きたい。(松代) ③水回りを利用する際の説明で、最初に女性だけを指名するのは良くないと思った。 ④職員の声が少し怖い感じがした。										
市決算額	昨年度実績	1,799,912											
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		84		評価理由						
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	基盤型									
施設の有効活用	4	8			・全国で約200箇所の斎場の管理運営を受託しているノウハウを活かし、利用者からの要望、苦情に速やかに対応し、利用者アンケートでも満足率は98%を超え、高い評価であることから「利用者評価」を「4」とした。 ・「事業収支」は、前年度より指定管理料は減額になったにも関わらず、残骨灰有価売却の競争入札を行い前年度よりもさらに黒字となったことから「5」とした。 ・管理運営は、専門性を備えた職員を配置し、経理に関しては、月1回の内部監査を行っている。セルフモニタリングの「個人評価表」を継続実施し、職員の勤務態度等のチェックを自主的に行い、また県内7か所の他斎場責任者を集めた月1回県別ミーティングを実施し、トラブル事例の共有や各種研修を実施していることから「4」とした。 ・危機管理体制においては、新型コロナウイルス感染症等で多数の職員が出勤できない事態を想定した人員派遣計画を全国規模で策定するなど、安心・安全な斎場運営に努めていることから「4」とした。 ・職員は全員正社員であり、14名中12名が長野市住民である。委託事業は市内業者と契約し、消耗品、燃料費なども地元及び障がい者就労施設から積極的に購入していることから「4」とした。								
利用者評価	4	8			次年度の目標・取り組み等 ・利用者アンケートでも満足度は高い状況である。引き続き利用者サービスの向上に励み、安全、安心、ゆとりと落ち着いた斎場であるよう取り組むこと。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、出勤できない事態を想定した人員派遣計画を策定するなどの対応も、次年度も継続して取り組まなければならない。斎場は休場はできないゆえ、職場環境、職員の体調管理に留意し、本年度得た知識・経験を活かし、安全性を最優先に来年度に繋げること。								
事業収支	5	20								指定管理者 自己評価 A			
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	4	16											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
				歳入	0	霊柩車運行	件	100	94	99	75	76%
指定管理者	特定非営利活動法人ふるさと			市決算額	実支出額							
					5,077,000							
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)			前年度実支出額	▲4,689,010							
				前年度からの実支出増減額	9,766,010							
実施事業概要	①火葬に関する業務 ②焼骨の引き取りに関する業務 ③施設及び設備の維持管理に関する業務 ④霊柩車の運行に関する業務 ⑤その他、斎場を管理する上で市長が必要と認める業務			支出	6,078,412	利用者評価						
				収入	6,092,000	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	0						
				自主事業収入	0							
				損益	13,588							
				昨年度実績	▲16,858							
担当課	市民窓口課			(2) 苦情・改善等の要望事項 ①網戸の設置希望 ②待合室の座布団に不満 ③自動販売機の設置 ④告別・収骨ホールの暖房設備希望								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	基盤型	評価理由							
施設の有効活用	3	6			・当該法人は、地域の行事の支援をしたいという理念で、町の商店主等が、冠婚葬祭業務等を運営することにより、地域の繋がりを強化しようと努力している。規模は小さいが、商店経営力を活かした活動を行っている。冠婚葬祭を行うことで、地元住民の信頼を得るよう努め、「火葬、葬儀は地元で」と意識を高めている。消耗品や燃料等を地元商店から購入することで、地域活性化、地域連携を築いている。 ・なお、基本協定書内の修繕等について、市との協議が実施されていないケースが拝見された。また予算項目にない支出も散見されたため、「指定管理者の健全性」を昨年度の「4」から「3」とした。							
利用者評価	3	6										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	12										
危機管理体制	3	12										
地域連携	3	6										
				次年度の目標・取組み等 ・施設及び設備の維持管理に関する業務において、備品の整備、小規模な修繕等を行う時は、事前に市と協議し承認を得てから実施すること。また施設的美観を保持するため、施設全体(外観・排水路等)の清掃、構内樹木の剪定・除草などを行い、多くの地元住民が快適に利用できる斎場となるよう管理運営に努めること。 ・アンケートを実施については、火葬場利用者の声を聴くための手法であるため、より多くのアンケート記入を周知すること。								
				指定管理者自己評価 C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
				歳入	3,728,154	”(トレーニングルーム)	件	683	696	670	494	74%
指定管理者	協同組合長野シーアイ開発センター			市決算額	実支出額							
					56,229,046							
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)			前年度実支出額	▲78,412,325							
				前年度からの実支出増減額	134,641,371							
実施事業概要	しなのき :施設貸出、自主事業の実施 働く女性の家:施設貸出、各種主催講座(男女共同参画啓発講座、再就職支援・資格取得講座、料理講座、趣味講座、軽運動講座)の実施			支出	70,084,794	利用者評価						
				収入	70,425,852	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	4,624,765	しなのき ・とても親切でいつも気持ちよく使わせていただいている。・清掃はきちんとされている。きれいです。 ・4F音楽室の設備が素晴らしい。音響、ピアノ(グランドピアノの設置!)、広さ。 ・駐車場が無いのが不便。でも立地条件が良いので、近くにたくさんあるので良い。 柳町 ・どんな事にも親切に対応していただいている。・古いので仕方ありませんが、きれいに清掃されています。 南部 ・元気で、明るく接して下さいます。・会場がきれいにされています。大変ありがたいと思います。						
				自主事業収入	3,981,120							
				損益	▲302,587							
				昨年度実績	▲955,931							
担当課	人権・男女共同参画課			(2) 苦情・改善等の要望事項 しなのき ・希望に近い室がない場合、この様な室が有ると職員さんより積極的に話してほしい。 ・いすにゴミがあることがある。テーブルが汚れている場合がある。・Wi-Fiをつなげてほしい。 ・洋式トイレの数を増やしてほしい。できれば便座の温かくなるもの。・障害者利用の割引きがあるといい。 柳町 ・施設が古い、夏は暑くて虫がいる。秋になっても虫が飛んでくるので、何とかしてほしいです。 南部 ・空調 今年の異例の夏で、暑く感じる事が、たびたびありました。・トイレを洋式に変えてほしい ・トイレが和式で不便です。・駐車場がいっぱいです。・水道やオープン等に問題、更衣室が冬寒く、夏は暑い								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型	評価理由							
施設の有効活用	3	12			・昨年2月中旬からの新型コロナ感染症感染拡大に比例して利用申込のキャンセルが相次ぎ、3月7日より講座(主催・自主)がすべて中止となり、4月15日から5月24日まで休館となった。新型コロナの影響から利用者数前年度比較は、しなのき54%、柳町62%、南部65%と著しく減少した。 ・しかしながら、しなのきは、リモート会議利用などの要望から、指定管理者においてWi-Fi環境を整えるなど利用者ニーズにいち早く対応しつつ利用促進を図り、働く女性の家(柳町・南部)講座は、施設再開から速やかに対応し、6月から実施するなど、感染対策に細心の注意を払いながら業務遂行していた。 ・施設利用者アンケート調査において「良い」「どちらかといえば良い」の回答が、接客態度(しなのき86.4%、働く女性の家99.5%)、施設管理(しなのき92.9%、働く女性の家96.5%)、講座内容(働く女性の家94.8%)と、全ての項目において、大層の利用者評価が好評であったことから「利用者評価」及び「管理運営全般」は、評価「4」とする。							
利用者評価	4	8										
事業収支	3	6										
管理運営全般	4	16										
危機管理体制	3	12										
地域連携	3	6										
				次年度の目標・取組み等 (全館共通) ・講座受講者のアンケートや施設利用者のアンケートの要望や意見を管理運営に反映させ、更なる利用者の増加を図る。 (勤労者女性会館しなのき) ・更新時期を迎えている防犯設備について、施設利用者の安全確保を図るため、設備更新を進める。 (働く女性の家) ・令和3年度末の用途廃止に向けて、施設利用者及び利用団体への説明会を遅滞なく開催するとともに、利用者等の要望把握に努め、当該施設が実施してきた講座等の円滑な移行や施設の後利用に係る関係課協議などの調整を進める。								
				指定管理者自己評価 C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	豊野東部地区集会所			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		歳出	1,371,000	利用団体数(延べ数)	団体	107	109	76	53	70%
指定管理者	蟹沢区				歳入	0	利用者数(延べ数)	人	2,557	3,231	2,340	943	40%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	1,371,000							
実施事業概要	・施設会議室の貸出 ・施設設備維持管理 ・施設使用料の徴収及び収納業務(代行)				令和2年度指定管理者収支	支出	1,315,062	利用者評価					
					収入	1,412,416	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	・利用者トラブルはなく貸館業務についての苦情はなかった。							
				自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	97,354	・新規の利用者から入退所時のセキュリティー機器の取扱について機器操作が不安と言う意見が寄せられた。							
担当課	豊野支所			昨年度実績	41,414								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		・地元を熟知した自治組織であることから、施設の設置目的や現状を良く把握しており、地域に密着した管理運営を行っている。							
施設の有効活用	3	12				次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価		
利用者評価	3	6				・光熱水費の削減 ・施設設備や備品の定期的な点検・見回りを行い修繕箇所の早期発見及び早期対応を行う。 ・施設利用における消毒や、注意喚起等新型コロナウイルス感染症の感染症拡大防止策の引続きの実施						C	
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	信州新町水防会館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		歳出	2,073,660	アクアホール利用件数	室	81	66	74	22	30%
指定管理者	特定非営利活動法人ふるさと				歳入	24,000							
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	2,049,660							
実施事業概要	施設貸出(一般利用)				令和2年度指定管理者収支	支出	2,939,244	利用者評価					
					収入	2,936,082	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	利用者からの要望に対し、創意工夫して迅速に対応するなど好評を得ている。トイレが綺麗で利用しやすいとご意見をいただいた。							
				自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	▲3,162	施設を利用する際、蛍光灯が暗いとの苦情があった。周囲のカーテンは綺麗になり気持ちよく施設を利用できるようになったが、正面奥のカーテンは経年劣化による汚れ等が目立つとの指摘を受けた。							
担当課	信州新町支所			昨年度実績	▲7,940								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		急速に高齢化が進む地域において、指定管理業務以外に葬祭業務を行っている。お年寄りを支援する弁当配達事業・お買い物代行事業を行うなど、地域貢献度は高く地域の実情を把握し活動している。これらの事を評価し「地域連携」を「4」とした。また、利用者からの要望を把握し迅速に運営面に反映し、施設の整備、清掃及びサービスの向上に日々努めている取組みを評価し「利用者評価」を「4」とした。							
施設の有効活用	3	12				次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価		
利用者評価	4	8				避難時の誘導灯の電球が製造中止による誘導灯本体の取替えや、外壁や屋根等の目視点検を強化するなど、安全で快適な施設環境を整備する。引き続き地域に根差した施設運営を目指し、利用の促進を図る。 【施設の修繕】①誘導灯の本体取替え②雨漏り跡の壁紙修繕③自動扉の部品交換						C	
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況														
施設名	ふれあい福祉センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	27,825,154	会議室	件	2,707	2,778	3,124	2,687	86%						
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				歳入	1,002,438	研修室	件	755	691	720	677	94%							
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	26,822,716	料理実習室	件	300	317	312	254	81%							
実施事業概要	・施設貸出(一般利用) ・建物管理				前年度実支出額	▲27,482,206	ホール	件	741	739	727	678	93%							
					前年度からの実支出増減額	54,304,922														
				支出	17,424,536	利用者評価														
				収入	16,656,460	(1) 良好とする評価														
				自主事業支出	0	・土、日、祝日も開館している。 ・交通の便が良い。駐車場もある。 ・施設全体がきれいであり、設備も充実している。 ・夜9時以降も開館しているなど、利便性に優れている。 ・ボランティア情報がある。														
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項																		
損益	▲768,076	・早朝に電話しても既に埋まっている。 ・予約がとりにくい場合がある。																		
昨年度実績	176,455																			
担当課	福祉政策課																			
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66															
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	施設貸出2型		評価理由														
施設の有効活用	4	16				団体としての管理運営状況は良好であるため、指定管理者の健全性について評価を「4」とした。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で利用件数が減少したものの、ふれあい福祉センターを会場としたボランティアの担い手養成講座などを通じて、福祉活動の推進やボランティア活動の中枢拠点として多くの市民に利用されていることから、施設の有効活用について評価を「4」とした。														
利用者評価	3	6									次年度の目標・取組み等 ・地域福祉活動やボランティア活動の拠点として、引き続き多くの市民が利用できるよう施設の適切な維持管理に努める。 ・環境への配慮の面から、引き続き電気、水道等の使用量の削減に努める。 ・施設・設備の老朽化が課題となっているため、日々の点検等を通じて修繕箇所の早期発見に努め、協定に基づく責任分担の下、適切に修繕等の対応を行う。									
事業収支	3	6														指定管理者 自己評価 C				
管理運営全般	3	12																		
危機管理体制	3	12																		
地域連携	3	6																		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況														
施設名	信州新町福祉センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	8,415,631	集会室	件	203	191	185	95	51%						
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				歳入	127,200	会議室	件	674	492	508	317	62%							
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	8,288,431	調理実習室	件	30	25	24	0	0%							
実施事業概要	・施設貸出(一般利用) ・建物管理				前年度実支出額	▲7,567,689														
					前年度からの実支出増減額	15,856,120														
				支出	4,926,165	利用者評価														
				収入	5,291,850	(1) 良好とする評価														
				自主事業支出	0	①講座の満足度:「みんなの手作りの作品等があり、心が癒されます。」「何かと衰えるので参加し交流をしたいと思います。」 ②職員の対応:「笑顔でしっかりと向き合ってくれます。」「元気をもらえてうれしいです。ホッと時間を過ごさせてもらってます。」 ③施設や設備等に対する評価:「毎日では来れないが窓口が空いているのでいつでも安心して来れます。」「出かける居場所がありがたいです。」														
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項																		
損益	365,685	駐車場が狭く利用しづらい。																		
昨年度実績	▲108,235																			
担当課	福祉政策課																			
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64															
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	施設貸出2型		評価理由														
施設の有効活用	3	12				団体としての管理運営状況は良好であるため、指定管理者の健全性について評価を「4」とした。 また、利用者アンケートの施設利用に関して、すべての利用者が満足(とても満足・満足)との回答であるため、利用者評価を「4」とした。														
利用者評価	4	8									次年度の目標・取組み等 ・地域福祉活動の向上のため、多くの人が気軽に利用できるよう施設の適切な維持管理やサービスの提供に努める。 ・より多くの方にセンターを使っていただくため、地域福祉活動やボランティアに携わる団体に対するセンターの利用案内を強化する。 ・環境に配慮し、今後も電気や水道の使用量の削減に努める。 ・施設・設備の老朽化が課題となっているため、日々の点検等を通じて修繕が必要な箇所の早期発見に努め、協定に基づく責任分担の下、適切に修繕等の対応を行う。									
事業収支	3	6														指定管理者 自己評価 C				
管理運営全般	3	12																		
危機管理体制	3	12																		
地域連携	3	6																		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況									
施設名	信州新町授産センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比		
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出								24,747,103	授産施設(利用者月平均)
指定管理者	特定非営利活動法人ワークスコープ				歳入	18,642,320									
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	6,104,783									
実施事業概要	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。				前年度実支出額	▲ 8,208,580									
					前年度からの実支出増減額	14,313,363									
				支出	30,627,237	利用者評価									
				収入	30,878,397	(1) 良好とする評価 ・授産施設が作業を行うこと以外にも、自分の居場所となっている。									
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項									
				自主事業収入	0	①工賃収入がもっと欲しい。 ②今までできていた作業が年齢的に厳しくなった。 ③独居で高齢で体調面が心配。									
損益	251,160														
昨年度実績	194,509														
担当課	福祉政策課														
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64										
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由									
施設の有効活用	3	6				利用者の要望を丁寧に聴き、対応した結果、作業のみならず利用者の生活面の指導・サポートに力を入れ、利用者の居場所づくりや社会的役割の創出を図ったことを踏まえ、「利用者評価」は「4」とした。									
利用者評価	4	16									次年度の目標・取組み等				
事業収支	3	6													
管理運営全般	3	12									指定管理者 自己評価 C				
危機管理体制	3	12													
地域連携	3	6													

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況									
施設名	中条社会就労センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比		
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出								20,249,798	授産施設(利用者月平均)
指定管理者	特定非営利活動法人なかじょう				歳入	22,464,750									
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	▲ 2,214,952									
実施事業概要	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。				前年度実支出額	4,361,336									
					前年度からの実支出増減額	▲ 6,576,288									
				支出	25,531,810	利用者評価									
				収入	27,695,200	(1) 良好とする評価 ・1人暮らしだが、他人との関わり合いができ、作業をしながらお茶のみサロンに通っているような雰囲気が良い。 ・施設には草刈りや薪販売等、作業単価の高い仕事(自主事業)を提供してもらい、助かっている。									
				自主事業支出	3,057,283	(2) 苦情・改善等の要望事項									
				自主事業収入	2,882,020	・施設職員が障害者等の作業効率の悪い利用者ばかりに手をかけており、一般利用者のことはあまり気にかけてくれず、不公平だ。									
損益	1,988,127														
昨年度実績	▲ 240,878														
担当課	福祉政策課														
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64										
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由									
施設の有効活用	4	8				施設の有効活用と地域連携について、自主事業として行っていた援農の延長から、地域で増加する空地空家管理等を行い、地域支援と共に利用者の工賃増を図っていることを評価し、それぞれ「4」とした。									
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等				
事業収支	3	6													
管理運営全般	3	12									指定管理者 自己評価 C				
危機管理体制	3	12													
地域連携	4	8													

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況																											
施設名	老人憩の家(石川、大豆島、茂菅、若槻、新橋、東長野)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																					
	施設数	6	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	69,759,710	石川老人憩の家 利用者数		19,448	17,665	14,965	8,086	54%																					
指定管理者	長野県高齢者生活協同組合				歳入	0	大豆島老人憩の家 利用者数		19,404	19,272	19,306	8,491	44%																					
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	69,759,710	茂菅老人憩の家 利用者数		13,467	14,002	12,996	6,301	48%																					
実施事業概要	高齢者の相互交流・教養の向上・レクリエーションの場として心身の健康増進を図る。浴場の提供。はり、マッサージの提供				前年度実支出額	▲69,957,200	若槻老人憩の家 利用者数		17,049	16,676	15,661	6,558	42%																					
					前年度からの実支出増減額	139,716,910	新橋老人憩の家 利用者数		11,968	11,282	8,964	5,496	61%																					
				支出	69,825,523	利用者評価																												
				収入	69,814,744	(1) 良好とする評価																												
担当課	高齢者活躍支援課			自主事業支出	50,847	・お風呂が温かく、とてもうれしい。建物は古いが部屋も庭も綺麗にしており気持ちいい。 ・職員さんの心遣いがうれしい。体調管理を気にかけてくれる。倒れた人への救急対応もしっかりしている。安心してできる。家族(利用者)が困って来館した時も、優しく見守ってくれてとても助かった。自分も周りの人には、やさしくしないといけない、と思うようになった。 ・コロナで休館の時にも、職員さんから休館・開館の連絡を頂きうれしい。外出しにくい社会だが、話すことができたのは気持ちの張り合いになる。憩の家があることがありがたいと改めて感じた。 ・カラオケや囲碁ができるように、工夫してくれてうれしい。安心してできる。(ついでに、消毒の準備など)施設の対策が十分に安心している。																												
自主事業収入	126,771	(2) 苦情・改善等の要望事項																																
損益	65,145	1) トイレを水洗化・男女別にしてほしい(ほとんどの来館者からの要望) 2) 健常者は値上げして障害者と付き添い無料のままなのは絶対おかしい。 3) 休館解除の要望。囲碁・マージャン・カラオケなどの生きがい活動再開の要望が多い。 4) コロナ対策はわかるが、厳しすぎるのではないかと。早く元の利用環境に戻してほしい。(毎回の体調確認、検温、大広間の利用制限ほか) 5) マスクをしないで近距離で話す利用者がいる(脱衣所にて)																																
昨年度実績	862,356	62																																
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		評価理由																													
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉2型	指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携																													
施設の有効活用	3	12			指定管理者として施設の目的に沿った事業運営を実施している。 ・地域包括支援センターや民生委員等、地域との連携に根ざした施設運営がされている。 ・施設の行事を地区回覧で定期的にお知らせするほか、地域の情報を施設で周知する等、地域との連携に取り組んでいることから、「地域連携」は「4」とした。																													
利用者評価	3	12								次年度の目標・取組み等 ・コロナ禍で離れた利用者の利用再開促進。 ・新しい利用者を獲得するとともに、一層のサービス向上に努める。 ・7月からの利用料金値上げによる収入の確保。																								
事業収支	3	6													指定管理者 自己評価 C																			
管理運営全般	3	6																		指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携														
危機管理体制	3	12																							指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携									
地域連携	4	8																												指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携				

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況																											
施設名	老人福祉センター(湯福、柳町、東北、豊野)、老人憩の家(東北)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																					
	施設数	5	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	52,142,128	老福:生きがいづくり講座受講者数	人	13,652	13,186	12,581	8,509	68%																					
指定管理者	長野県高齢者生活協同組合				歳入	9,670	老福:地域福祉活動利用者数	人	10,125	9,873	7,268	1,252	17%																					
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	52,132,458	老福:グループ活動利用者数	人	33,857	34,479	28,499	15,791	55%																					
実施事業概要	【老人福祉センター(湯福・柳町・東北・豊野)】高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務 【老人憩の家(東北)】浴場の提供、はり・マッサージ事業				前年度実支出額	▲49,821,673	老福:その他	人	14,910	16,025	13,871	10,250	74%																					
					前年度からの実支出増減額	101,954,131	憩の家:施設利用者数	人	22,183	21,071	11,501	4,218	37%																					
				支出	48,546,685	利用者評価																												
				収入	50,305,186	(1) 良好とする評価																												
担当課	高齢者活躍支援課			自主事業支出	34,686	①施設 ・トイレがきれい気持ちいい。部屋、廊下の床が特にきれいになった。 ・使用時、部屋が暖かい(涼しい)のありがたい ・ディスプレイボードが、ムードたっぴりで準備いただき、感謝。 ②対応 ・職員が丁寧・親切な対応してくれる。 ・いつも笑顔で、元気になれる。対応が早い。 ・体調に気遣いがある。 ・コロナで休館の時にも、職員さんから休館・開館の連絡を頂きうれしい。 ・怪我の時治療してくれてうれしかった。 ③コロナ予防 ・コロナ対策を考えた上で開催してくれたことに感謝。カラオケや囲碁も、衛立・消毒の準備など施設の対策が十分に安心している。 ・対策を職員が提案してくれるのでやりやすい。 ・説明が徹底しており、しっかり考えてくれていて感じる。																												
自主事業収入	85,632	(2) 苦情・改善等の要望事項																																
損益	1,809,447	・コロナ対策はわかるが、早く開催してほしい。(自粛要請中の自主サークルの方より) ・希望する日時に入れなかった。また、回数が減った。(定員オーバーの講座受講生より) ・今まで使用していた備品が使用できなくなった。また、戸の開けっぱなしは高齢者には寒い。(コロナ対応のための措置) ・○○の講座を開催してほしい。(開催している施設もあるが、遠くて不便なので)																																
昨年度実績	3,589,918	62																																
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		評価理由																													
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型	指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携																													
施設の有効活用	3	12			【老人福祉センター・老人憩の家共通】 ・施設利用者数が40,020人で令和元年度の利用者数(73,720人)と比較すると54.28%と減少しているが、感染症の拡大防止対策による施設の休館と講座等の縮小によるもので、運営方法に問題があるものではない。																													
利用者評価	3	12								次年度の目標・取組み等 【老人福祉センター・老人憩の家共通】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底し、利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・地域連携に努め地域活動や世代間交流の更なる充実を図る。 ・今後も利用者のニーズ把握と適切な対応に努め、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復を図る。																								
事業収支	3	6													指定管理者 自己評価 C																			
管理運営全般	3	12																		指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携														
危機管理体制	3	6																							指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携									
地域連携	4	8																												指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携				

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金 /代行制	一部利用料金制・代行制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
													老人福祉センター(三陽、安茂里、鬼無里、氷鉋、中条)、老人憩の家(氷鉋)、高齢者共同生活支援施設(戸隠栃原、戸隠豊岡)、高齢者生活福祉センター(鬼無里、大岡、中条)
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会			歳入	4,003,514	老福:地域福祉活動利用者数	人	10,257	10,322	8,818	2,221	25%	
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)			実支出額	144,932,263	老福:グループ活動利用者数	人	31,421	30,267	26,523	13,775	52%	
実施事業概要	【老人福祉センター】高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。 【老人憩の家】浴場の提供、はり・マッサージ事業 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】施設の運営(使用の受付、居住の提供、各種相談対応、緊急時の対応、福祉サービス利用手続き援助)、施設の維持管理(建物・設備・備品保守管理、清掃、植栽等維持管理、修繕、警備)等			前年度実支出額	▲144,452,923	憩の家:施設利用者数	人	14,599	13,034	10,599	5,440	51%	
				前年度からの実支出増減額	289,385,186	高齢者生活福祉センター利用者数	人	165	178	226	244	108%	
				支出	108,889,618	利用者評価							
				収入	110,432,611	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	【老人福祉センター】 ①講座内容:「唯一無二の自分だけの作品ができたことが嬉しいです。」「気持ち良く体を動かす事ができた。」「職員への対応:「大変親切に気持ちよく受講ができました。」「親切、気を使ってくれた、いつも寄り添っている、気さく、親しみやすい、気持ちよい」環境(暖房・健康チェックなど)を丁寧に整えていただき本当に感謝しています。」 ③施設設備に対する評価:「清潔で明るくてよい、コロナ対策で換気をしたが床暖があったので助かった。」							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	1,542,993	コロナのせいで活動の機会が奪われてしまって悲しい。障害者用トイレに手洗いが付いていれば最高に良いです。夏までに空調設備の修理をお願いします。											
昨年度実績	▲2,096,533												
担当課	高齢者活躍支援課			総合評価 (100点満点)		60							
評価区分	評価	点数	施設分類	企画型	評価理由								
指定管理者の健全性	3	6	施設の有効活用	3	12	<p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>----- 基準値</p>							
利用者の評価	3	12	管理運営全般	3	12								
事業収支	3	6	危機管理体制	3	6								
管理運営全般	3	12	地域連携	3	6								
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価		C					
【全施設共通】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底し、利用者が安心して利用できる施設を目指す。 【老人福祉センター・老人憩の家共通】 ・地域との連携を深めるとともに利用者及び地域のニーズを把握することに努め、地域福祉活動や世代間交流を充実させることにより、魅力的な講座づくりに努め、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数の回復を図る。 【高齢者生活福祉センター・高齢者共同生活支援施設】 ・入退所のスムーズな対応を行い、入居者が安全で快適な生活を送れるよう施設管理・運営を継続する。													

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金 /代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
													松代老人憩の家
指定管理者	一般社団法人長野市開発公社			歳入	0								
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)			実支出額	36,059,407								
実施事業概要	高齢者の相互交流・教養の向上・レクリエーションの場として心身の健康増進を図る。浴場の提供。はり、マッサージの提供			前年度実支出額	▲58,588,528								
				前年度からの実支出増減額	94,647,935								
				支出	29,082,495	利用者評価							
				収入	35,090,205	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	241,347	・お湯がよく体がよくあたたまる。ありがたく感謝しております。 ・何度か来ていると顔見知りになり、料理・介護等相談に乗っていただき、いこいの場になっていると思います。 ・憩の家にふさわしい、あたたかな雰囲気のところであるのが楽しみです。 ・大変ありがたく思っています。長く続いてほしいです。							
自主事業収入	306,710	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	6,073,073	①お風呂が狭いので、洗い場共に広くしてほしい。4人入れればいっぱいである。 ②お風呂の湯船が浅すぎる。 ③脱衣場がせまい。 ④駐車場が少ない。 ⑤電子レンジを置いて欲しい。											
昨年度実績	3,881,226												
担当課	高齢者活躍支援課			総合評価 (100点満点)		60							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉2型	評価理由								
指定管理者の健全性	3	6	施設の有効活用	3	12	<p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>----- 基準値</p>							
利用者の評価	3	12	管理運営全般	3	6								
事業収支	3	6	危機管理体制	3	12								
管理運営全般	3	6	地域連携	3	6								
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価		C					
・隣接する国民宿舎松代荘と一体となった施設運営(混雑時に、職員の応援を依頼する、スケール除去の一括発注等)によりサービスの向上、効率的な運営、経費の節減につなげている。 ・全館ガス暖房から、灯油のスポットストーブへ切り替えたことにより、光熱水費を大幅に圧縮した。													
・コロナ禍で離れた利用者の利用再開促進。 ・新しい利用者を獲得するとともに、一層のサービス向上に努める。 ・7月からの利用料金値上げによる収入の確保。													

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	障害者福祉センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		歳出	21,042,130	企画事業利用回数	回	304	301	227	120	53%
指定管理者	社会福祉法人長野市身体障害者福祉協会				歳入	0	" 人数	人	2,072	2,039	1,490	612	41%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	21,042,130	貸館事業利用回数	回	1,196	1,157	1,236	829	67%
実施事業概要	・施設の利用の許可に関すること。 ・ボランティアの育成に関すること。 ・障害者を対象とする講座、教室等の開催に関すること。 ・施設及び設備の維持管理に関すること。 ・障害者福祉に関する講習会、研修会その他各種催物の開催の場を提供すること。 ・障害者の福祉の増進に関すること。				前年度実支出額	▲ 20,755,000	" 人数	人	15,243	14,548	14,244	8,136	57%
					前年度からの実支出増減額	41,797,130	利用者評価						
				支出	19,859,171	(1) 良好とする評価 ・センター内の清掃、花壇の整備など好評である。 ・館内に絵画、写真、生花などが常時展示され、施設に潤いや安らぎを与えている。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・聴覚障害者用の光る警報器(フラッシュライト)が一部しか取り付けられていないため、各部屋に設置してもらいたい。 ・多目的トイレやオストメイトの設置、トイレの個室化をしてもらいたい。 ・机、いす等が古くなってきており、更新をしてもらいたい。(天板の辺がささくれて、危険なものが体育室にある。) ・駐車場の収容台数が少なく(28台)、他の車の前に駐車しなければならない場合がある。							
				収入	21,128,570								
				自主事業支出	0								
自主事業収入	0												
損益	1,269,399	次年度の目標・取組み等 ・条例及び基本協定等に基づき、適正かつ円滑な長野市障害者福祉センターの管理及び運営に努める。 ・常に施設利用者の目線に立った、親切で丁寧な対応に心がける。 ・ホームページの有効的活用により、各種教室の紹介、受講生の募集、利用団体の情報の周知を行い、利用率の向上を図る。 ・施設・設備の管理をきちんと実施し危険箇所の解消に努め、利用者の事故防止と利便性の向上を図る。 ・令和4年度実施予定の長寿命化改修工事の実施設計において、利用者から寄せられている要望を可能な限り反映するよう努める。											
昨年度実績	876,890												
担当課	障害福祉課			総合評価(100点満点)		60							
評価区分	評価	点数	施設分類	企画型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			・利用者のニーズを把握し、祝日の翌日を開館するなど、利便性の向上を図っている。 ・センターの駐車場だけでは不足する場合は、事前に周辺事業所の駐車場の使用を依頼し、無償で提供をうけ、利用者の便宜を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、衛生用品購入による消耗品費の増大が見られたが、緊急事態宣言が発令中、講座が開催できずに不用額となった事業費を充てることで、管理費の有効活用が見られた。 ・また、スマートフォンやタブレットの普及が増加する中で、毎年開催しているパソコン講座とは別に、スマートフォン、タブレット講座を新規に開設するなど、事業に工夫が見られた。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	3	12											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
				指定管理者自己評価		C							

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	障害者福祉施設栗田園			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		歳出	72,407,969	就労移行支援 栗田園	人	4	4	-	-	###
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	53,595,177	就労継続支援B型 栗田園	人	28	28	33	34	102%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	18,812,792	放課後等デイサービス 栗田園	人	9	9	7	7	97%
実施事業概要	・就労継続支援B型事業 ・放課後等デイサービス事業				前年度実支出額	▲ 17,297,609	利用者評価						
					前年度からの実支出増減額	36,110,401	(1) 良好とする評価 ・利用者や保護者の方の意見・相談に対する傾聴を重視し、作業支援のみならず日常生活支援に力を入れていて、利用者や保護者の方からも期待以上の評価を得ている。 ・就労継続B型については、きめ細かな生活・相談支援を行っていること及び近接地にある「ななせ仲まちな園」や「にじいろキッズらいふ」とも連携体制をとっていることにより、利用希望者等からも高い評価を受け、利用率が増加している。 ・放課後等デイサービスについては、個々の適性に合った支援に力を入れているため、保護者の方からも評価を得ている。また、法に従い保護者評価のアンケートを行い公表している。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・同じ作業を続けていると飽きてしまうので、違う作業もしたい。						
				支出	76,164,852								
				収入	84,105,244								
				自主事業支出	0								
自主事業収入	0												
損益	7,940,392	次年度の目標・取組み等 ・引き続き、安定したサービスの提供に努める。 ・法人全体で取り組み始めた事業継続計画(BCP)の完成を目指す。											
昨年度実績	▲ 2,244,298												
担当課	障害福祉課			総合評価(100点満点)		64							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			・施設の目的及び基本方針に適合した運営を行っており、苦情や事故もなく利用者に対して利用者の立場に立った安定したサービスが提供されている。また、家族や保護者、地元住民とも協力・連携をとりながら事業が実施された。 ・利用者評価の面では、利用者及び保護者の方の傾聴を基本とした日常生活支援に力を入れ、利用者側からも期待以上の評価の実態が確認できたため、評価を4とした。								
施設の有効活用	3	6											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											
				指定管理者自己評価		C							



施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況																													
施設名	障害者福祉施設(ななせ仲まち園、ふたば園)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																						
	施設数	2	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	84,657,180	就労移行支援 ななせ仲まち園	人	6	6	6	4	67%																					
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	62,873,483	就労継続支援B型 ななせ仲まち園	人	34	34	32	28	88%																						
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	21,783,697	就労継続支援B型 ふたば園	人	3	22	21	20	93%																						
実施事業概要	・就労移行支援事業(ななせ仲まち園) ・就労継続支援B型事業(ななせ仲まち園、ふたば園)				令和2年度指定管理者収支	支出	108,411,588	利用者評価																											
					収入	101,339,260	(1) 良好とする評価																												
				自主事業支出	2,510,409	・利用者や保護者の意見・相談に耳を傾けることに力を入れていて、一定の評価を得ている。(ふたば園)																													
				自主事業収入	3,110,888	・就労移行については、事業者間で共有している情報やふくしネットを活用して個々の利用者に向けた就労先探しを行っている。これにより複数名の利用者が就職に結びついており、利用希望者等からも高い評価を受け、施設見学者や実習体験者が引き続き来所している。近接する栗田園と連携をしながら、利用者ニーズに応じている。(ななせ仲まち園)																													
				損益	▲6,471,849	(2) 苦情・改善等の要望事項																													
				昨年度実績	921,100	職員の不適切支援、作業の段取り、職場でのルールへの苦情要望などがあるときは、その都度状況を聴き取り改善を行っている。																													
担当課	障害福祉課																																		
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60																														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由																													
施設の有効活用	3	6				施設の目的及び基本方針に適合した運営を行っており、利用者の立場に立った安定したサービスが提供されている。また、家族や保護者、地元住民とも協力・連携をとりながら事業が実施された。施設の有効活用の面では、利用率が低下したことから評価を3とした。【ななせ仲まち園、ふたば園】																													
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等																								
事業収支	3	6														・引き続き、安定したサービスの提供に努める。 ・不審者等に対処するため、防犯マニュアルを作成し、事業所の安全管理に努める。 ・法人全体で取り組み始めた事業継続計画(BCP)の完成を目指す。																			
管理運営全般	3	12																			指定管理者 自己評価 C														
危機管理体制	3	12																																	
地域連携	3	6																																	

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況																													
施設名	障害児通園施設(篠ノ井愛の樹園)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																						
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	33,597,640	児童発達支援、放課後等デイ	人/日	11	11	11	11	95%																					
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	24,875,243	保育所等訪問支援事業	人/年	69	95	109	142	130%																						
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	8,722,397																													
実施事業概要	・児童発達支援事業 ・放課後等デイサービス事業				令和2年度指定管理者収支	支出	34,429,167	利用者評価																											
					収入	40,298,331	(1) 良好とする評価																												
				自主事業支出	4,216,700	・障害児を抱えた保護者の相談相手として、日々専門知識に基づく適切な助言がされている。保護者会や相談支援専門員主催の勉強会などにより、発達障害そのものに関する理解や就学前の準備など、児童と保護者のステージに応じた情報収集の場が提供されている。特に先輩保護者との座談会が好評。																													
				自主事業収入	2,669,913	・障害児相談など、必要な支援が得られるよう、広く連携して対応している。																													
				損益	4,322,377	(2) 苦情・改善等の要望事項																													
				昨年度実績	11,301,978	・保護者より、廊下部分に照明が少なく暗い、という意見があった。見学に訪れた子供が怖がって入室を拒むことがある。室内灯をLEDに変えるなどして明るさを確保してほしい。																													
担当課	障害福祉課																																		
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60																														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由																													
施設の有効活用	3	6				専門性を備えた職員を配置し、障害児相談支援など広く支援を行うとともに、関係機関と連携を取りながら、障害児の福祉の増進のため総合的に事業を実施している。 ・多様な障害特性に合わせた対応や取り組みを、限られたスペースの中で実施しており、障害児の福祉増進に取り組んでいる。 ・利用者(保護者)のニーズに応えるため、朝夕の延長保育を実施している。(自立サポート事業により対応)																													
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等																								
事業収支	3	6														・引き続き、専門性を備えた職員の配置と、相談支援などを通し、障害児の支援・療育のための事業を実施していく。 ・感染症対策と支援の充実を図る観点から、ICTを活用した会議や勉強会等の開催を検討する。																			
管理運営全般	3	12																			指定管理者 自己評価 C														
危機管理体制	3	12																																	
地域連携	3	6																																	

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	障害者支援施設(ひかり学園)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	241,513,455	生活介護	人/日	66	65	65	61	94%
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	171,268,091	自立訓練(生活訓練)	人/日	0	0	0	0	###	
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)				実支出額	70,245,364	施設入所支援	人/日	63	62	60	58	97%	
実施事業概要	・生活介護事業 ・短期入所事業 ・施設入所支援事業				前年度実支出額	▲71,228,451	短期入所	人/日	5	5	5	5	1	20%
					前年度からの実支出増減額	141,473,815	利用者評価							
				支出	304,756,283	(1) 良好とする評価								
				収入	317,008,577	・誕生日には、誕生日メニューとして何でも好きなメニューをリクエストに応じて提供しプレゼントを贈るなど、施設利用者に喜ばれる取り組みを実施している。 ・個別外出のイベントを計画している。(コロナ禍により実施できなかった) (短期入所)利用希望者には可能な限り要望に応じている。(コロナ対策で、短期入所居室4室を緊急対応として空けておいたこと、市中感染レベルによって自粛をお願いしていること等で、利用希望に応えられていない。緊急時の受け入れや、レスパイトの目的等で必要な方については受け入れる努力をした。)								
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項								
自主事業収入	0	通所支援利用者のご家族からの苦情 1件 タイムケア利用のご家族からの苦情1件 ①4月の緊急事態宣言時、通所の自粛をお願いしていたが、その間連絡等を取らずに、いつから受け入れができるのかという苦情が出された。(生活介護の利用者の保護者から) ②タイムケア利用時、夕食をいつもより早く食べ終わってことに対し、職員が食事の途中で切り上げてしまったのではないかと苦情が出された。また、その際の職員の接遇の悪さも苦情として挙げられた。												
損益	12,252,294	総合評価 (100点満点)												
昨年度実績	23,154,281										64			
担当課	障害福祉課			施設分類	保健福祉・医療型		評価理由							
評価区分	評価	点数	施設の有効活用		3 6									
指定管理者の健全性	4	8	利用者評価		3 12									
事業収支	4	8	管理運営全般		3 12									
管理運営全般	3	12	危機管理体制		3 12									
危機管理体制	3	12	地域連携		3 6									
地域連携	3	6	次年度の目標・取組み等		施設設備の老朽化に備え、年次計画により設備の更新を進め、住環境の充実と利用者支援を適切に実施する。									
										指定管理者自己評価	C			

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	障害者福祉施設ハーモニー桃の郷			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	159,878,494	かがやき(生活介護)	人/日	26	24	22	22	100%
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	95,801,157	びあぼーと(重症者多機能型)	人/日	5	5	5	5	100%	
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)				実支出額	64,077,337	希望の家(就労移行支援)	人/日	4	3	(平成31年3月末)	###		
実施事業概要	・重症心身障害者支援事業(生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス)【びあぼーと】 ・生活介護事業【かがやき】 ・就労継続支援B型事業【希望の家】 ・地域生活支援事業【はばたき】 ・交流ホールの貸し出し事業・相談支援事業【ほっとらいふ相談室】				前年度実支出額	▲61,767,234	希望の家(就労継続支援B型)	人/日	14	15	20	21	105%	
					前年度からの実支出増減額	125,844,571	はばたき(地域生活支援)	人/日	18	16	17	21	124%	
				支出	157,922,851	利用者評価								
				収入	175,718,710	(1) 良好とする評価								
				自主事業支出	121,883,580	・利用者及び家族との懇談や家族会かがやき 年3回の総会やエコノファミリーとの会議も中止に参加して、常に利用者等のニーズ把握に努め、苦情があった時は苦情解決責任者(所長)が責任を持って問題に対処している。								
自主事業収入	101,626,916	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	▲2,460,805	・2年度の苦情は3件あった。 ①はばたきにおける職員の資質に係る苦情が2件発生した。電話対応に関すること→解決済み ②はばたきにおける施設整備に関する苦情が1件発生した。電話の回線問題→事情を理解していただき解決 ・毎年度、駐車場が狭いので駐車できないという苦情がある。近隣の駐車場を借りるなどして対応しているが、それでも足りない。特に貸館時に混雑(課題継続中)												
昨年度実績	▲6,531,221	総合評価 (100点満点)		62		評価理由								
担当課	障害福祉課			施設分類	保健福祉・医療型									
指定管理者の健全性	3	6	施設の有効活用		3 6									
事業収支	3	6	利用者評価		3 12									
管理運営全般	3	12	管理運営全般		3 12									
危機管理体制	3	12	危機管理体制		3 12									
地域連携	4	8	地域連携		4 8									
										次年度の目標・取組み等	指定管理者自己評価	B		
										複合施設として、総合的に事業の連携を図り、障害者及び障害児の自立した日常生活や社会生活を営むために必要な安定した支援提供を行いながら、相談支援業務や地域と連携して事業実施していただきたい。				

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況							
施設名	地域活動支援センターこぶし			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	9,057,866	利用者数	人/年	3,413	3,147	2,186	1,833	84%
指定管理者	社会福祉法人長野県社会福祉事業団				歳入	0								
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	9,057,866								
実施事業概要	・地域活動支援センター事業				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲ 8,960,690							
						前年度からの実支出増減額	18,018,556							
				支出		8,896,194	利用者評価							
				収入		9,222,787	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		0	・作業について:ポルトの仕事が楽しい ・ミニカルチャーについて:楽しかった。他の作品も作ってみたい。 ・お楽しみ会について:ボウリング外出がとても楽しかった。お楽しみ会はどれも楽しいので積極的に参加したい。 ・支援について:色々な企画を考えてくれて嬉しい。散歩に連れて行ってきてくれてありがとう。雨の日に家まで送ってもらえてよかった。 ・発信について:連絡帳で様子がよく伝わってくる。利用者のありのままを伝えてもらえて有難い。連絡帳のやり取りでホームとこぶしで対応が統一できる。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	326,593	・作業について:もっと仕事が欲しい。 ・ミニカルチャーについて:フラワーアレンジメント難しかった。カラオケは好きではない。自分はもう歳なのでいろいろやらなくていい。 ・支援について:うるさい利用者にはもっと厳しく注意してほしい。												
担当課	障害福祉課			昨年度実績	1,778,878									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由								
施設の有効活用	3	6				施設の目的及び基本方針に沿った運営を行っており、苦情や事故もなく、利用者に対して日々の考察が実施されており、利用者の立場にたった安定したサービスが提供されている。令和元年東日本台風災害により、「こぶし」が所在していた複合施設が被災したため、通常の事業が実施ができなくなったが、法人内で連携し、「水内荘」内で活動を再開し、サービスの提供に努力した。通所が困難な利用者には送迎を実施した。また、長年の利用者を台風をきっかけに就労系の事業所に移行させることができた。複合施設復旧後は、新型コロナウイルス感染症の影響により生産活動も厳しい状況であるが、新たな作業の開拓を行うなど工夫して対応している。 利用者アンケートを実施し、利用者、保護者等から良好な評価を得ており、集計結果を日々の業務に反映させ、今後の事業実施へ生かしているため、3 利用者評価を「4」とした。 上記台風による施設の被災や新型コロナウイルス感染症への対応について、施設利用者に十分配慮した措置を講じてきたと言えることから、5 管理運営全般を「4」とした。								
利用者評価	4	16									次年度の目標・取組み等			
事業収支	3	6									指定管理者自己評価			
管理運営全般	4	16									C			
危機管理体制	3	12									利用者の高齢化が進み、高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。利用定員を満たすために、特に若年層の利用者増に向けた取り組みを継続的に実施する。			
地域連携	3	6												

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況							
施設名	地域活動支援センターとがくししょうまの家			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	8,480,000	利用者数	人/日	5	5	5	5	100%
指定管理者	特定非営利活動法人とがくししょうま				歳入	0								
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	8,480,000								
実施事業概要	・地域活動支援センター事業				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲ 8,480,000							
						前年度からの実支出増減額	16,960,000							
				支出		9,863,865	利用者評価							
				収入		11,243,637	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		27,800	・しょうまの家に来ることが張り合いです。 ・食事を格安で提供していただき助かる。 ・規則正しい生活ができるようになった。 ・毎日過ごす所が有るのがうれしい。 ・指導員さん達がやさしいのがうれしい。 ・自分の病気とうまく付き合うヒントをもらったとき。 ・働く事が出来てうれしいです。作業で賃金がいただけるのが楽しみ。							
自主事業収入	176,090	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	1,528,062	特になし												
昨年度実績	153,749													
担当課	障害福祉課													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由								
施設の有効活用	3	6				・施設利用者に対する支援の方法について、地区の保健センター保健師と毎月1回の職員会の機会を設けて情報交換を行うことで、より細やかな対応ができています。また、高齢障害者の介護支援も情報交換で対応ができています。緊急時対応・健康状態の情報も連携の中で支援されている。 ・必要な保守点検の実施による施設維持管理及び防災訓練の実施により危機管理対策は講じられており、適切な事業運営が行われている。								
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等			
事業収支	3	6									指定管理者自己評価			
管理運営全般	3	12									C			
危機管理体制	3	12									利用者の高齢化傾向にあるので、引き続き体調等に留意していただき、快適な居場所としてに役割を担っていただきたい。 ・施設を利用した自主事業として、高齢者を対象としたオレンジカフェや介護予防教室は毎週開催され参加も好調であることから、今後も、意欲的に実施していただきたい。			
地域連携	3	6												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	施設数	利用料金/代行制	代行制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
													地域活動支援センターてづくな
指定管理者	特定非営利活動法人共同作業所てづくな			歳入	0	作業指導及び訓練	人/日	7	7	6	7	102%	
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)			実支出額	12,495,000	生活指導	人/年	1,638	1,640	1,542	1,574	102%	
実施事業概要	・地域活動支援センター事業			前年度実支出額	▲7,809,000	相談事業	人/年	25	13	12	12	100%	
				前年度からの実支出増減額	20,304,000								
				支出	11,354,868	利用者評価							
				収入	10,440,318	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	日中において活動する場所・作業所として、利用者は、無理のない、安心感、安定感のある充実した日々を過ごしている。また、家族的な雰囲気を保っている作業所であり、楽しい企画や相談の場等を設けて、心身の健康管理にも配慮している。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	▲914,550	なし											
昨年度実績	▲386,695												
担当課	障害福祉課			総合評価(100点満点)		64							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6						利用者との家族的な雰囲気の中で施設を運営する姿勢が見て取れ、受託作業や自主生産品等も様々な工夫のもと、利用者の工賃アップに取り組んでいる姿勢が評価できる。 所在地の地理的な問題、交通手段、利用者の高齢化による地域の過疎化など様々な要因が大きく、施設利用対象者の減少が見込まれる。地域的な問題から大幅な利用率の増加は見込めないとされるが、障害者の日中の生活の場であり、就労の場であることを第一に考えた施設運営をしていることから、5 管理運営全般を「4」とした。					
施設の有効活用	3	6											
利用者評価	3	12											
事業収支	3	6											
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価							
・民生委員や保健師等と連携を取りながら、引き続き、新規利用者の掘り起こしや施設利用に向けた取り組みを継続し、成果に結び付けていただきたい。 ・組織的な生産・創作作業を実施することで、利用者相互の協調性を養い、協力体制を整えていただきたいが、工賃1日1,000円の目標はもう少し緩めに考えてもいいのではないか。 ・利用者にとって大切な日中の生活及び就労場所として、現在の施設職員の協力体制及び職員と利用者との和やかな雰囲気を維持していただきたい。						C							

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	代行制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	社会福祉法人信濃の星			歳入	0							
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)			実支出額	9,106,885							
実施事業概要	・地域活動支援センター事業(作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談)			前年度実支出額	▲9,156,590							
				前年度からの実支出増減額	18,263,475							
				支出	12,475,321	利用者評価						
				収入	10,428,160	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	・利用者にとって「つくし」への通所は日常的なことであり、習慣化している。 ・作業に参加したくない利用者はいらるが、施設への通所を嫌悪している利用者はいない。 ・ゴールデンウィーク等の長期連休期間においても、施設利用者は不満を示さず、平常時同様に清掃等の受託作業を行っている。 ・「つくしがあることがありがたい」との評価が利用者から提示されている。 ・レクリエーションイベントを徐々に増やし好評を得た。						
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項										
損益	▲2,047,161	・特になし										
昨年度実績	▲2,395,449											
担当課	障害福祉課			総合評価(100点満点)		64						
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6						限られた人員の中で職員配置の見直しを図りながら、利用者の状況を考慮し地域の特性(中山間地域)を生かした農作業など、様々な活動や作業が提供されている。 苦情や事故も無く、コロナ禍によりイベント等が減る中、新たな作業を開拓し取り組んでいる。また、重度障害のある利用者のパソコン作業の支援を行い、働きがい、生きがいに結びつけている。 利用者から苦情等がなく、「つくしがあることが有難い」との意思が示されていることから、3 利用者評価を「4」とした。				
施設の有効活用	3	6										
利用者評価	4	16										
事業収支	3	6										
管理運営全般	3	12										
危機管理体制	3	12										
地域連携	3	6										
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価						
・利用者の増加、定着のための工夫をお願いしたい。 ・重度障害の利用者へのきめ細かな支援を引き続きお願いしたい。 ・活動内容や受注している事業を広くアピールするため、ホームページやチラシ等を有効に活用する。						C						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	地域活動支援センターけやき			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	10,458,600	登録者数	人/月	12	12	12	12	100%
指定管理者	特定非営利活動法人なかじょう				歳入	0	利用者数	人/月	8	8	8	8	104%	
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年間)				実支出額	10,458,600								
実施事業概要	・地域活動支援センター事業				令和2年度指定管理者収支	支出	9,769,249	利用者評価						
						収入	10,054,306	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出		0	・利用者の要望に沿い、地元だけでなく周辺地域へも出かけ、積極的に地域間の交流を図っている。 ・自宅での生活が困難となってきた利用者のために、施設(グループホーム)入所について、交渉や手続きを行っている。 ・利用者及び家族から、「この施設「けやき」が、本当の自分の居場所」「ここがなくなるようなら困る」等、施設に対する愛着の意思表示がある。 ・「けやき」に来るのが楽しみであり、生きがいにしている様子を示している利用者が多い。							
				自主事業収入		0	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益		285,057	なし。							
担当課	障害福祉課			昨年度実績	▲452,178									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			62	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況を考慮し、近隣企業からの受注を図ったり、地域の特性(中山間地域)を生かした農作業など様々な活動や作業が提供されている。</li> <li>・地域的な問題から、大幅な利用率の増加は見込めないと思われるが、施設利用者にとって日中の生活の場であり、就労の場であることを第一とし、毎日の送迎等、通所者に対するサービスを実施しながら、施設を運営している。</li> <li>・地域の福祉機関等との連携や、情報共有を積極的に行っていることから、7 地域連携を「4」とした。</li> </ul>							
施設の有効活用	3	6	<p>次年度の目標・取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉関係機関や、保健師、民生委員等との連携により、地域内の情報を共有することで、新たな利用者の受入れを図る等、利用者増に向けての取組みを引き続き行っていただきたい。</li> <li>・安定した作業の確保と、新規作業の拡大を積極的に行っているのを継続していただきたい。</li> <li>・人権や障害者特性に配慮した障害者支援を行うことができるよう各種研修の機会を設けていただきたい。</li> <li>・2階で活動している中条社会就労センターとの連携を引き続きお願いしたい。</li> </ul>											
利用者評価	3	12	指定管理者自己評価											
事業収支	3	6	C											
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	4	8												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	一体型共同生活介護施設(三津和園)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	13,324,063	共同生活援助	人/月	6	7	7	7
指定管理者	社会福祉法人信濃の星				歳入	9,570,411	短期入所(延べ利用日数)	日	220	40	99	0	0%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	3,753,652	短期入所(利用者実数)	人	2	1	1	0	0%
実施事業概要	・短期入所事業 ・共同生活援助事業				令和2年度指定管理者収支	支出	15,966,456	利用者評価					
						収入	17,296,422	(1) 良好とする評価					
				自主事業支出		0	・利用者各人の特性の情報共有や継続的な支援に努めている。 ・年末年始等の長期連休期間も、利用者の家族からの要望により、平常時同様に受け入れを行っている。 ・利用者にとって、「三津和園」が自宅に相当していることから、利用者本人及び家族から「今後もできるだけ長くここで生活したい(させてほしい)」との要望が寄せられている。						
				自主事業収入		0	(2) 苦情・改善等の要望事項						
				損益		1,329,966	苦情は特になし。行事、イベントの要望がある。						
担当課	障害福祉課			昨年度実績	702,228								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			64	評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型			<p>次年度の目標・取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における余暇支援を創意工夫し利用者がコロナ前と同様に余暇を楽しみ、充実した生活を送れるように支援していく。</li> <li>・地域の保健師や民生委員と情報交換を行い、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら短期入所の利用者受け入れに向けた方策の検討。</li> </ul>						
施設の有効活用	3	6	<p>共同生活援助については、今年度も長期連休期間において、利用者の家族からの要望に応え、平常時同様の受け入れ態勢を整えていた。</p> <p>利用者の行動障害に対応すべく職員を強度行動障害研修に派遣し、研修内容を他の職員と共有し対応にあたっており、パニック等が減少して利用者の生活は穏やかになってきている。施設利用者の状態が好転していること、緊急性の高い利用者を即時受け入れたこと、コロナ感染対策を徹底したことなどから5 管理運営全般を「4」とした。</p> <p>短期入所については、コロナの影響で見学・体験が見送られることが多く、利用についても慎重にならざるを得ず利用に結びつかなかった。</p>										
利用者評価	3	12	指定管理者自己評価										
事業収支	3	6	C										
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	障害者福祉施設ほたるの里			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	27,662,732	生活介護	人/日	-	11	12	13	108%
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会				歳入	20,725,293								
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)				実支出額	6,937,439								
実施事業概要	生活介護事業				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲5,975,268							
						前年度からの実支出増減額	12,912,707							
				支出		30,164,739	利用者評価							
				収入		29,167,667	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		0	・コロナ禍にあり、外出等は自粛をせざるを得なかったが、ケータリングサービス、テイクアウト等を利用し外食の気分を味わった。おやつのは利用者が好評を得た。 ・買い物同行支援を行い、スクラッチアート等、利用者からの要望の物を購入し活動のメニューを増やした。利用者から好評を得た。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	▲997,072	なし												
担当課	障害福祉課			昨年度実績	▲248,433									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由								
施設の有効活用	3	6				・「4 事業収支」におけるマイナス決算は、平成30年度から就労支援事業から生活介護へ事業移行して3年目であるが、施設利用において定員割れにより利用率が低かったことが影響したものと考えられるが、前年度、全前年度より利用者増となっていて好転することが推測される。 ・事業移行後は従前より重度の障害を持った人が施設利用しているが、「3 利用者評価」の「利用者要望把握」については、利用者全員で集まって自由に発言する機会を設けるほか、毎日利用者個人との会話する機会を設けており、施設利用者が支援員に対して要望を伝えやすくするための機会設けている等、施設独自の工夫が見られることから評価を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症対策で、外出が出来ない代わりに、お弁当のテイクアウトや、おやつ会の開催等の工夫が利用者にも好評である点も利用者評価の項目において、評価できる。 ・限られた居室においてパーテーションにより区別することで、強度行動障害の利用者に対し個室化する工夫が見られた。								
利用者評価	4	16												
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	3	6												
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価			
・平成30年度に生活介護事業所として開所して3年目だが、施設利用者は定員割れとなったため、施設のPR、施設立地に伴う通所に係る困難等を含め、施設利用者の確保、利用率の増加を図るための方策と工夫は必要と考えられる。 ・重度の障害を持った利用者の、施設内でのゾーニング。(集団で活動できない利用者に対し、居室が狭く、個室対応ができない。)						C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	児童館・児童センター(箱清水・加茂・三輪・柳町・湯谷・芋井・柳原・長沼・古里・若槻・徳間・浅川)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	12	利用料金/代行制		代行制	歳出	44,274,605	児童館・児童センター利用児童数	人	182,567	173,900	168,727	140,166	83%
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				歳入	0								
指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年間)				実支出額	44,274,605								
実施事業概要	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設の維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲42,147,247							
						前年度からの実支出増減額	86,421,852							
				支出		39,573,178	利用者評価							
				収入		41,397,000	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		0	いただいた意見抜粋 ・児童が、施設へ遊びにくることを楽しみにしている。 ・迎えにいくまでに児童館で宿題を済ませてもらっている。疑問点もサポートしてもらっておりありがたい。 ・アドバイザーとして近い年代(大学生等)が施設に来てくれてありがたい。 ・子どもの不慮の事故に対して、迅速に対応してもらってありがたかった。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	1,823,822	いただいた意見抜粋 ・学校休業日の開館時間を早めてほしい。 ・お迎え時に伝えた要望が館長に伝わっているのが確認してほしい。 ・施設が学校から離れているが、施設の利用権がなく、移動時心配だし、遊べる場所の少なさにも不満がある。												
昨年度実績	0													
担当課	こども政策課													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64									
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	保健福祉・医療型		評価理由								
施設の有効活用	3	6				・児童館、児童センターの指定管理業務のほか、多くの社会福祉事業を市から受託し、又は自らも主体となって社会福祉事業を行う中で、法人全体として安定した財務基盤を維持していることから、「指定管理者の健全性」を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症予防を大前提としつつも、地域との情報共有の方法を検討し、運営になくてはならない地域との連携に努めていることから「地域連携」を「4」とした。								
利用者評価	3	12												
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	4	8												
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価			
・開館時間の延長については、ニーズがあり職員の状態を考慮して対応が可能な施設で先行して行っていく。 ・また、支援員の勤務形態に関して複数の選択肢を提案し、それぞれが希望する働き方を選べるようなシステムを検討する。						B								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況									
施設名	吉田児童センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比		
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	5,003,767	吉田児童センター利用児童数	人	20,883	23,039	19,818	15,105	76%	
指定管理者	吉田地区住民自治協議会				歳入	0									
指定期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年間)				実支出額	5,003,767									
実施事業概要	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設の維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)				令和2年度指定管理者収支	支出	3,341,000	利用者評価							
					収入	3,341,000	(1) 良好とする評価 子ども達が施設の利用を楽しみにしているという声を寄せられる。施設の開館時間やおやつの有無、おやつ代の金額については不満や要望などはない。								
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項 特になし									
				自主事業収入	0										
				損益	0										
担当課	こども政策課			昨年度実績	0										
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)												
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		62									
施設の有効活用	3	6				評価理由									
利用者評価	3	12				・仕様書、基本協定及び事業計画に沿った管理運営や事業が行われている。 ・吉田地区の子ども達は、吉田地区が一丸となって育てるという理念のもと、吉田地区住民自治協議会内の各種団体等との連絡を図られている。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、なかなか計画のように実施できなかったものの、各種計画を評価して「地域連携」を「4」と評価した。									
事業収支	3	6									次年度の目標・取組み等				
管理運営全般	3	12									・慢性的な職員の不足が続いている。家庭内の事情や本人の健康問題等の理由で、今年度も年度途中での退職があり、不安定な状態が改善できない。スタッフの確保をどう行っていくか、情報を得ていきたい。 ・次年度から指定管理者が変わるので、環境が変化する部分もあると思うが、子どもや保護者、職員が変わるわけではないので今までどおり丁寧な対応を心がけ、安心して預けられる施設を目指す。				
危機管理体制	3	12				指定管理者自己評価									
地域連携	4	8			C										

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況									
施設名	豊野西部児童センター、豊野東部児童館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比		
	施設数	2	利用料金/代行制		代行制	歳出	7,684,000	児童館・児童センター利用児童数	人	30,533	30,793	26,911	25,360	94%	
指定管理者	企業組合労協ながの				歳入	0									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)				実支出額	7,684,000									
実施事業概要	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設の維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)				令和2年度指定管理者収支	支出	7,898,363	利用者評価							
					収入	7,343,000	(1) 良好とする評価 利用者アンケートの結果から、児童が両施設を楽しく利用している事が伺える。職員の接し方にも満足してもらえ、信頼関係を保っていることが伺える。								
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・勉強する時間と遊ぶ時間と、メリハリを付けて欲しい。 ・児童館内の雰囲気寂し気な感じがある。温かみのあると言いか、明るい感じにならないか。 ・たくさん児童がいて大変だが、一人一人をもっと良く見て欲しい。 ・宿題をやる様に積極的に進めて欲しい ・新型コロナウイルス感染症で密を避けるのも分かるが、利用料を払っているのだから、できるだけ家で見て欲しいと言われるときつい。子どもの希望、こちらの都合を尊重して欲しい									
				自主事業収入	0										
				損益	▲ 555,363										
担当課	こども政策課			昨年度実績	▲ 28,605										
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)												
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		66									
施設の有効活用	3	6				評価理由									
利用者評価	4	16				・利用者へのアンケート調査を実施し、両館を利用している8割以上の子ども達が楽しく来館していると回答しており、多くの子ども達が満足している。また保護者からの意見や要望等について両館の共通課題として真摯に向き合い、安心安全でホッとできる居場所になる様に、職員一丸となって努めてきた事から「利用者評価」を「4」とした。 ・今年度はなかなか実施に至らなかったが、例年地域との連携を強く意識した計画を複数立てて活動していることや、地域の方から、感謝や応援の手紙を頂いた事等ことから地域連携を「4」とした。									
事業収支	3	6									次年度の目標・取組み等				
管理運営全般	3	12									・引き続き、児童の健全なあそびを通して、健康増進、情操を豊かにするために適切な職員配置を行い児童館運営に努める。 ・地域の住民やボランティアと子ども達に関わる関係機関等と連携して、地域における子ども達の健全育成を図る。				
危機管理体制	3	12				指定管理者自己評価									
地域連携	4	8			B										

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況							
施設名	児童館・児童センター(古牧・日詰・南部・大豆島・朝陽・裾花・安茂里・松ヶ丘)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	8	利用料金/代行制		歳出	30,806,500								児童館・児童センター利用児童数
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				歳入	250,908								
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				実支出額	30,555,592								
実施事業概要	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設の維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)				前年度実支出額	▲27,872,641								
					前年度からの実支出増減額	58,428,233								
				支出	26,195,092	利用者評価								
				収入	27,694,000	(1) 良好とする評価								
				自主事業支出	0	いただいた意見抜粋 ・児童が、施設へ遊びにくることを楽しみにしている。 ・迎えにいくまでに児童館で宿題を済ませてもらっている。疑問点もサポートしてもらっておりありがたい。 ・アドバイザーとして近い年代(大学生等)が施設に来てくれてありがたい。 ・子どもの不慮の事故に対して、迅速に対応してもらってありがたかった。								
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項												
損益	1,498,908	いただいた意見抜粋 ・学校休業日の開館時間を早めてほしい。 ・お迎え時に伝えた要望が館長に伝わっているのか確認してほしい。												
昨年度実績	0													
担当課	こども政策課			総合評価(100点満点)		64								
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉・医療型	評価理由									
指定管理者の健全性	4	8						・児童館、児童センターの指定管理業務のほか、多くの社会福祉事業を市から受託し、又は自らも主体となって社会福祉事業を行う中で、法人全体として安定した財務基盤を維持していることから、「指定管理者の健全性」を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症予防を大前提としつつも、地域との情報共有の方法を検討し、運営になくてはならない地域との連携に努めていることから「地域連携」を「4」とした。						
施設の有効活用	3	6												
利用者評価	3	12												
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	4	8												
次年度の目標・取組み等							指定管理者 自己評価							
・開館時間の延長については、ニーズがあり職員の状況を考えて対応が可能な施設で先行して行っていく。 ・また、支援員の勤務形態に関して複数の選択肢を提案し、それぞれが希望する働き方を選べるようなシステムを検討する。														
							B							

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	児童館・児童センター(昭和・川中島・青木島・下氷鉤・三本柳・松代花の丸・豊栄・松代東条・綿内・川田・保科・篠ノ井中央・篠ノ井東・篠ノ井西・共和・塩崎)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	16	利用料金/代行制		歳出	58,791,810							
指定管理者	社会福祉法人長野市社会福祉協議会				歳入	0							
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				実支出額	58,791,810							
実施事業概要	施設の運営(運営委員会の設置、職員の配置、研修、自主事業の実施、地域との連携) 施設の維持管理(建設物の保守管理、建設設備保守業務、清掃業務)				前年度実支出額	▲54,439,895							
					前年度からの実支出増減額	113,231,705							
				支出	51,741,404	利用者評価							
				収入	54,296,000	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	いただいた意見抜粋 ・児童が、施設へ遊びにくることを楽しみにしている。 ・迎えにいくまでに児童館で宿題を済ませてもらっている。疑問点もサポートしてもらっておりありがたい。 ・アドバイザーとして近い年代(大学生等)が施設に来てくれてありがたい。 ・子どもの不慮の事故に対して、迅速に対応してもらってありがたかった。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	2,554,596	いただいた意見抜粋 ・学校休業日の開館時間を早めてほしい。 ・お迎え時に伝えた要望が館長に伝わっているのか確認してほしい。											
昨年度実績	0												
担当課	こども政策課			総合評価(100点満点)		64							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉・医療型	評価理由								
指定管理者の健全性	4	8						・児童館、児童センターの指定管理業務のほか、多くの社会福祉事業を市から受託し、又は自らも主体となって社会福祉事業を行う中で、法人全体として安定した財務基盤を維持していることから、「指定管理者の健全性」を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症予防を大前提としつつも、地域との情報共有の方法を検討し、運営になくてはならない地域との連携に努めていることから「地域連携」を「4」とした。					
施設の有効活用	3	6											
利用者評価	3	12											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等							指定管理者 自己評価						
・開館時間の延長については、ニーズがあり職員の状況を考えて対応が可能な施設で先行して行っていく。 ・また、支援員の勤務形態に関して複数の選択肢を提案し、それぞれが希望する働き方を選べるようなシステムを検討する。													
							B						



施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	母子生活支援施設(美和荘)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	32,074,000	新規委託依頼世帯数	世帯	3	6	3	6
指定管理者	社会福祉法人長野市社会事業協会			歳入	18,502,393	年間累計入所世帯数	世帯	95	66	58	60	103%	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)			実支出額	13,571,607								
実施事業概要	母子への日常生活、就労、養育、地域生活に向けた自立支援等、児童福祉法第38条に基づき実施。その他年間事業として、各種行事、母親懇談会、避難訓練を実施。			前年度実支出額	▲17,797,446								
				前年度からの実支出増減額	31,369,053								
				支出	32,499,217	利用者評価							
				収入	32,422,326	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	・「不安なときに相談ができて助かる」と発言があった。 ・「今の自分は皆さんのおかげ」と発言があった。 ・「ここ(美和荘)は居心地がいいです」との声が度々聞かれた。 ・アフターケア:退所しても関わることができる存在。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	▲76,891	①廊下の蛍光灯がまぶしくて眠れないため、消してほしいと申し出があった。 ②1階のお風呂の掃除が行き届いていない・窓ガラスが割れていると申し出があった。 ③お風呂の窓がいつも開いているので閉めてほしいと申し出があった。 ④美和荘貸し出しの時計が、電池を入れても動かないと申し出があった。 ⑤浴室から臭いがすると訴えがあった。											
昨年度実績	▲243,485												
担当課	子育て支援課			総合評価(100点満点)		70							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉2型	評価理由								
指定管理者の健全性	3	6						入所者の支援について、措置元の福祉事務所と定期的な入所者(支援者)の状況報告をすることで、綿密な情報共有を行い、適切な支援が行われている。 「利用者評価」について、早期自立(退所)に向けて、入所者の同意に基づいた自立支援計画に沿った支援が実施されており、退所後のアフターケアも実施されるなど、施設の特性を活かした運営が行われていることから「4」とした。 「危機管理体制」について、警察による防犯・不審者対応の研修に基づいて、防犯カメラの設置や暗証番号式ドアロックをすまやかに導入しており、侵入防止対策が図られたことから「4」とした。 「地域連携」について、住民自治協議会との共催により、母子支援員や心理士の専門性を活かした講座を開催することで、地域福祉の推進につなげている。また、受講者のアンケート結果も好評であったことから「4」とした。					
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	4	16											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価									
施設の在り方について、既存施設等への移転との方向性となったことにより、早期実現に向け検討する。				C									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	もんぜんぷら座こども広場(じゃん・けん・ぼん)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	24,275,128	利用者数	人	47,719	46,814	37,867	17,017
指定管理者	特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト			歳入	10,855,000	(内 出張広場参加者)	人	906	1,295	1,266	347	27%	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)			実支出額	13,420,128	新規登録乳幼児数	人	2,304	2,127	1,765	498	28%	
実施事業概要	①子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ②子育てに関する相談 ③子育てグループ等の育成 ④子育てに関する情報提供 ⑤遊びに関する指導助言 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦子育て講座イベントの開催 ⑧ホームスタート事業 ⑨利用者支援事業 ⑩その他子育て支援に関すること			前年度実支出額	▲13,683,836	専門家相談人数	人	552	481	663	323	49%	
				前年度からの実支出増減額	27,103,964	子育てコンシェルジュ相談数	件	—	—	908	2,999	330%	
				支出	24,325,626	利用者評価							
				収入	24,623,565	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	【こども広場】 ・「スタッフが声をかけてくれる」、「ちょっとした会話の中で相談できるのが良い」など、利用者アンケート結果の98%がスタッフの対応に満足と回答。「広いところで自由に遊べる」、「安全・安心して遊ばせることができる」、「おもちゃの種類も良い」など施設についても評価された。 ・利用者アンケート結果では、92%の利用者が2回以上利用しているリピーターである。 【ホームスタート】 ・利用した42家庭の90%以上が満足と回答							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	297,939	【こども広場】 ・「コロナで、おもちゃの数を制限しているのはわかるが、もう少しあるとうれしい」 ・「利用時間が、もう少し長いとうれしい」 ・「様々な講座等がコロナで中止となっているので、親子で参加できる講座をやしてほしい」											
昨年度実績	400,585												
担当課	保育・幼稚園課			総合評価(100点満点)		74							
評価区分	評価	点数	施設分類	保健福祉2型	評価理由								
指定管理者の健全性	4	8						・「指定管理者の健全性」については、子育て支援施設の設置目的や運営方針を踏まえた上で、地域や他の機関等と連携した運営が行われていることから、評価を「4」とした。 ・「施設の有効活用」については、新型コロナウイルス感染症の対応により、こども広場が2か月間休館となったが、休館中もSNSを活用した積極的な情報発信を行い、子育て世帯の支援に努めたことから評価を「4」とした。 ・「利用者評価」については、利用者からのアンケート結果での評価も高い上、苦情に対しては、真摯に受けとめ対応していることから「4」とした。 ・「管理運営全般」については、専門性を備えた職員の配置をして、施設運営が円滑に実施されていることから「4」とした。 ・「地域連携」については、新型コロナウイルス感染症対策の影響により地域の団体との連携は減少したが、中止となった市の事業に参加を強く要望していた子育て世帯を支援するため、急遽、自主事業として同様のセミナーを開催したり、地元大学との連携する事業をオンラインにして開催するなど工夫し、地域連携のために活動をしていることから評価を「4」とした。					
施設の有効活用	4	16											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	4	8											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価									
ICT環境を整備、充実し、新型コロナウイルス感染症の感染が広がった時でも相談できる体制づくりを進める。 ・地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、利用者が安心・安全して利用できる施設運営を期待する。				A									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	代行制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	1	利用料金/代行制	代行制	歳出	24,699,747	利用者数	人	33,989	32,369	29,243	12,607	43%
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)			歳入	8,860,000	(内 出張広場参加者)	人	141	215	127	151	119%
実施事業概要	①子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ②子育てに関する相談 ③子育てグループ等の育成 ④子育てに関する情報提供 ⑤遊びに関する指導助言 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦子育て講座イベントの開催 ⑧利用者支援事業 ⑨その他子育て支援に関すること			実支出額	15,839,747	新規登録乳幼児数	人	1,514	1,363	1,119	392	35%
				前年度実支出額	▲15,704,000	専門家相談人数	件	419	411	342	98	29%
				前年度からの実支出増減額	31,543,747	子育てコンシェルジュ相談数	件	—	—	889	1,353	152%
				支出	24,572,490	(1) 良好とする評価 【こども広場】 ・「スタッフの子どもへの接し方や話し方が参考になる」、「スタッフがいつも明るく、育児相談もしてくれる」など、利用者アンケート結果の51%がスタッフの対応に満足と回答 ・「広いスペースであること(81.7%) こども同士の交流ができる(73.2%) など施設に対して評価された。 【講座】 ・大変参考になった。(98%)、参考になった(2%) (調査者数124人) (2) 苦情・改善等の要望事項 【こども広場】 ・「一人の母親に対して、2人のスタッフが話しかけている時がある。他にも手を貸して欲しい母親がいるのだから目を配って欲しい」 ・「スタッフの方が何度も利用している方ばかり話しをしており、利用が少ない者にとっては、あまり良い気がしない」 ・「昨年の節分のイベントがとても思い出に残っています。コロナ禍ですが、是非、開催してもらいたい」 ・「できれば、一週間で利用できる日が、もう少し増えると嬉しいです。」						
				収入	24,767,860							
自主事業支出	0											
自主事業収入	0											
損益	195,370											
担当課	保育・幼稚園課			昨年度実績	483,558							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		70	評価理由						
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	保健福祉2型		・「指定管理者の健全性」については、子育て支援施設の設置目的や運営方針を踏まえた上で、地域や他の機関等と連携した運営が行われていることや指定管理者団体の組織体制が安定していることから「4」とした。 ・「施設の有効活用」については、新型コロナウイルス感染症の対応により、こども広場が2か月間休館となったが、市と協議しながら感染対策を講じ、より多くの利用者ができるように努めたことから評価を「4」とした。 ・「管理運営全般」については、専門性を備えた職員の配置をして、施設運営が円滑に実施されていることから「4」とした。 ・「地域連携」については、新型コロナウイルス感染症対策のため地域の団体との連携、地元教育機関との交流などは減少してしまっているが、地域の関連施設等と連携したり、オンライン会議を利用して地元高校生と会議を行い、篠ノ井にこども食堂を作る会の発足に協力するなどしていることから評価を「4」とした。						
施設の有効活用	4	16			次年度の目標・取組み等 ・ICT環境を整備、充実し、新型コロナウイルス感染症の感染が広がった時でも相談できる体制づくりを進める。 ・地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を期待する。					指定管理者自己評価 A		
利用者評価	3	12										
事業収支	3	6										
管理運営全般	4	8										
危機管理体制	3	12										
地域連携	4	8										

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	4	利用料金/代行制	一部利用料金制	歳出	170,031,631	青池保育園 在園児数	人	18	18	14	12	86%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)			歳入	10,384,340	西条保育園 在園児数	人	48	42	38	38	100%
実施事業概要	・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育事業の実施			実支出額	159,647,291	清野保育園 在園児数	人	29	31	32	34	106%
				前年度実支出額	▲237,486,889	芋井保育園 在園児数	人	16	12	15	20	133%
				前年度からの実支出増減額	397,134,180	合計	人	111	103	99	104	105%
				支出	171,244,231	(1) 良好とする評価 アンケート及び懇談会等の聞き取り結果から出された保護者の意見 《青池》地域及び保護者の協力により円滑な事業運営がされている。アウトホームで個々を大事にした保育がされていると評価が高い。のびのびとした環境で保育を行う事のメリットも評価を得ている。 《西条》自然環境を生かし、子どものやりたいことを尊重してくれる点や体力づくりなどを行う保育を実施していることが評価されている。 《清野》コロナ禍でも対策を講じて運動会やおたのしみ会を実施したことが高評価だった。耐震工事に伴い保育室やトイレなどの環境が良くなった点や運動遊びなどで体を鍛える活動をしている点に評価が高い。(巧技台の導入も好評だった。) 《芋井》夏祭りは縮小して実施したが、運動会の種目に夏祭りで行った内容を入れ、親子でしっかりと関わり、たっぷり楽しめたと好評だった。 (2) 苦情・改善等の要望事項 《青池》改善等を求める意見はないが、園児減少による保育園継続を心配する声がある。 《西条》特になし。 《清野》①服が汚れる可能性がある場合はスモックを着せて欲しい。②虫刺されが多いので対策をして欲しい。③怪我をした時の保護者への連絡の徹底 ④保育士の対応について苦情があった。 《芋井》特になし。						
				収入	174,603,470							
自主事業支出	0											
自主事業収入	0											
損益	3,359,239											
担当課	保育・幼稚園課			昨年度実績	▲4,469,849							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		70	評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	保健福祉・医療型		・「利用者評価」については、個別懇談会やアンケート調査のほか、連絡ノートや送迎時の聞き取りなど常に相談や意見を聞いている。苦情や要望については、丁寧に聞き取りを実施し、対応は職員会議で意識統一を図るなどして解決を図っている。保護者アンケート結果では、概ね現在の保育内容に満足しているという意見が多いこと、また、地域や保護者の協力による円滑な事業運営を評価する意見や、恵まれた自然環境を活かした保育活動を行っていることに対する評価も高いことから「4」とした。 ・「管理運営全般」については、職員の適正配置をして、施設運営が円滑に実施されていることから「4」とした。 ・「地域連携」については、新型コロナウイルス感染症対策により行事が縮小や中止などあったが、保護者アンケートで地域との連携が評価されていること、異年齢交流を地元小学校としていることなどから「4」とした。						
施設の有効活用	3	6			次年度の目標・取組み等 ・中山間地に近いことから、入所児童が少ないことや保護者の勤務場所の事情で地域内の保育所に入所が難しい状況はあるが、地域との連携や各保育所の魅力ある保育運営をPRし園児獲得ができるよう努める。 ・指定管理者による保育事業は、地域の特性を生かし、これまでの経験から地域との連携した保育所運営により、地域や保護者から評価を得ていることから、引き続き、指定管理者に運営を委託している。					指定管理者自己評価 B		
利用者評価	4	16										
事業収支	3	6										
管理運営全般	4	16										
危機管理体制	3	12										
地域連携	4	8										

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況															
施設名	勤労青少年ホーム(中部、北部、南部)、中高年齢労働者福祉センター(サンライフ長野)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比								
	施設数	4	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	65,164,400	北部勤労青少年ホーム	人	30,187	30,183	28,711	16,883	59%							
指定管理者	協同組合長野シーアイ開発センター				歳入	141,000	中部勤労青少年ホーム	人	25,589	24,970	24,940	16,486	66%								
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	65,023,400	南部勤労青少年ホーム	人	25,445	25,810	24,398	12,886	53%								
実施事業概要	・勤労青少年ホーム…各種講座の開催、施設の貸出、クラブ等勤労青少年の自主的な活動の支援 ・中高年齢労働者福祉センター…各種講座の開催・施設の貸出				前年度実支出額	▲63,795,418	中高年齢労働者福祉センター	人	75,235	76,564	72,050	49,577	69%								
					前年度からの実支出増減額	128,818,818															
				支出	79,792,966	利用者評価															
				収入	79,850,220	(1) 良好とする評価															
				自主事業支出	2,817,602	・親切、ていねい、いつも明るく挨拶をしてくれる。・新型コロナウイルス感染症に対応した運営をしている。 ・きれいに掃除されている。・古い施設を大切に使用している。 ・いろいろな講座があり楽しい。・講師の説明が丁寧でわかりやすい。 など															
自主事業収入	2,757,700	(2) 苦情・改善等の要望事項																			
損益	▲2,648	・駐車場が狭い。・冷暖房設備が古い。 ・雨漏りがする。・36歳以上も同じ料金にしてほしい(勤労青少年ホーム)。 ・トイレを洋式化してきれいにしてほしい。・施設が老朽化している。 など																			
昨年度実績	308,085																				
担当課	商工労働課																				
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66																
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型		評価理由															
施設の有効活用	3	12				・施設利用者は4館で95,832人であり、令和元年度実績の150,099人と比較すると63.8%、54,267人の減少ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものであり、指定管理者の運営方法に問題があるものではない。 ・施設が古いこと以外では、接客態度や施設管理など利用者から継続して高い評価を得ていることから、「利用者評価」を「4」とした。 ・電力会社の変更したり、休館期間中は最小限の人数で管理を行ったり、実施講座の見直しを行ったり、国の給付金の給付を受けるなど様々な取組を通じ事業収支の悪化を最小限とした。 ・新型コロナウイルス感染症感染防止に伴う対応については、検温、消毒、体調チェックなど基本的事項はもちろん、効果的な換気方法を掲示したり、講座も感染リスクをなるべく減らすよう対応しているほか、利用者及び近隣住民からの苦情や要望、体調不良や負傷が発生したときの対応も迅速かつ適切である。また、万が一の事態に備え、自主的にAEDを設置し、取扱訓練もしていることから、「危機管理体制」を「4」と評価した。															
利用者評価	4	16									次年度の目標・取組み等 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止策の徹底を図りながらも、なるべく多くの方が利用し、満足していただける施設を目指す。 ・受講者が少なく、中止になることが多い就労支援系の講座の集客にも力を入れる。 ・施設の老朽化が進行しているため、修繕にとどまらず、施設のあり方の検討を行っていく。										
事業収支	3	6														指定管理者 自己評価 D					
管理運営全般	3	12																			
危機管理体制	4	8																			
地域連携	3	6																			

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況										
施設名	オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比			
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	279,636,267	グリーンシーズンイベント入場者数	人	207,751	287,669	265,430	19,084	7%		
指定管理者	株式会社エムウェーブ				歳入	94,910,416	アイスシーズンイベント入場者数	人	61,474	52,677	44,789	9,627	21%			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	184,725,851	イベント件数	件	31	31	26	15	58%			
実施事業概要	利用の許可に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の効用を増加させる自主事業に関する業務 スピードスケートのナショナルトレーニングセンターに係る業務				前年度実支出額	▲103,702,300	スケート入場者数	人	76,802	74,858	57,881	52,923	91%			
					前年度からの実支出増減額	288,428,151	長野オリンピックミュージアム入場者数	人	13,342	16,719	17,596	4,669	27%			
				支出	372,262,652	利用者評価										
				収入	336,113,875	(1) 良好とする評価										
				自主事業支出	3,082,569	> アイススケート利用者意見 ・新型コロナウイルス対策が充実していた。リンクがきれい。滑りやすい。案内が丁寧で良かった。自動販売機が充実している。パトロールがいて安心できる。はじめて教室が楽しかった。 etc										
自主事業収入	3,838,755	(2) 苦情・改善等の要望事項														
損益	▲35,392,591	> コロナ禍の中でイベント開催の見直し意見 > アイススケート利用者意見 ・整氷回数を増やしてほしい。大人向けスケート教室の開催。 通年リンク営業を希望														
昨年度実績	▲40,564,486															
担当課	観光振興課															
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66											
指定管理者の健全性	4	8	施設分類	施設貸出1型		評価理由										
施設の有効活用	4	16				・指定管理者は、本施設の管理運営のために設立された第三セクターで、本施設以外にも指定管理施設の運営を請け負う中で、令和2年度決算では総資産額約3億3,800万円、純資産額約2億8,200万円であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてはいるが安定した経営状況であることから「指定管理者の健全性」を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うイベントのキャンセルについて、イベント事業者からキャンセル料を取らないことで利用者に対するサービス維持に努めたことから「施設の有効活用」を「4」とした。										
利用者評価	3	6									次年度の目標・取組み等 ・オリンピック施設の長寿命化計画に伴い、令和5、6年度で大規模改修を行うに当たり指定管理者及び関係課と連携しスムーズに工事を行うために改修計画を策定する。					
事業収支	3	12														
管理運営全般	3	6														
危機管理体制	3	12														
地域連携	3	6														
指定管理者の健全性	4	8	指定管理者 自己評価 C													

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	株式会社エムウェーブ			歳入	432,097	アリーナ利用件数	件	57	53	46	11	24%
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)			実支出額	147,271,284	文化ホール入場者数	人	114,044	116,796	62,440	10,708	17%
実施事業概要	アリーナ及びホールの貸館業務及びこれに付随する管理運営に係ること アリーナの冬期アイスリンクの設置及びこれに付随する管理運営に係ること 上記2点に係る施設及び駐車場等敷地内の維持管理と保守点検に係ること			前年度実支出額	▲114,011,788	文化ホール利用件数	件	192	204	79	55	70%
				前年度からの実支出増減額	261,283,072	アイスリンク入場者数	人	16,741	13,713	11,874	11,459	97%
				支出	215,263,221	利用者評価						
				収入	215,890,467	(1) 良好とする評価 >立地条件、施設規模、駐車場を含めた設備、清潔さ等が利用者からは好評をいただいています。						
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項 >会議室利用需要が高く、予約が取りにくい。バンド等、音を出す練習会場がほしい、といった声もあります。 >WiFi環境の問い合わせが増加している。						
自主事業収入	0											
損益	627,246											
昨年度実績	50,099,183											
担当課	観光振興課			総合評価(100点満点)		66						
評価区分	評価	点数	施設分類	施設貸出1型	評価理由							
指定管理者の健全性	4	8						・指定管理者は、エムウェーブの管理運営のために設立された第三セクターで、エムウェーブ以外に本施設の運営を請け負う中で、令和2年度決算では総資産額約3億3,800万円、純資産額約2億8,200万円であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてはいるが安定した経営状況であることから「指定管理者の健全性」を「4」とした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うイベントのキャンセルについて、イベント事業者からキャンセル料を取らないことで利用者に対するサービス維持に努めたことから「施設の有効活用」を「4」とした。				
施設の有効活用	4	16										
利用者評価	3	6										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	6										
危機管理体制	3	12										
地域連携	3	6										
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価								
				C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	一般社団法人長野市開発公社			歳入	0	ボート場利用者数	人	7,040	5,484	6,560	3,306	50%
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)			実支出額	37,548,000	運動広場	人	2,391	2,250	4,107	1,603	39%
実施事業概要	飯綱高原小天狗の森(遊具33ポイント)、飯綱高原キャンプ場(ログキャビン等)、飯綱高原ボート場(普通ボート等)、飯綱高原運動広場(グラウンド、テニスコート等)			前年度実支出額	▲37,731,000	小天狗の森利用者数	人	26,560	27,760	28,620	24,280	85%
				前年度からの実支出増減額	75,279,000	営業収入(指定管理料除く)	円	6,479,610	6,106,020	7,868,590	4,850,310	62%
				支出	43,637,197	利用者評価						
				収入	42,642,356	(1) 良好とする評価 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止策について、特にソーシャルディスタンスを考慮した取り組みが高評価だった。 ・キャンプ場の手入れが行き届いており、特にトイレが綺麗で良い。 ・利用料金が手頃で利用しやすい。						
				自主事業支出	9,647,849	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・繁忙期の駐車場が少ないので、増やして欲しい。						
自主事業収入	5,097,335											
損益	▲5,545,355											
昨年度実績	▲19,226,394											
担当課	観光振興課			総合評価(100点満点)		68						
評価区分	評価	点数	施設分類	レクリエーション型	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6						・「事業収支」の項目及び「管理運営全般」の項目については、飯綱高原スキー場が廃止され、通年雇用が難しい状況となったが、エムウェーブ等の冬季営業施設での雇用を実現するなどして、適正な人員配置・人件費の削減に努めたことを評価し「4」とした。 ・「地域連携」の項目は、飯綱高原観光協会をはじめとする地域のイベントへの積極的な参加、協力があると認められることから「4」とした。				
施設の有効活用	3	12										
利用者評価	3	12										
事業収支	4	16										
管理運営全般	4	8										
危機管理体制	3	6										
地域連携	4	8										
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価								
				D								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	国民宿舎松代荘			項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制										利用料金制
指定管理者	一般社団法人長野市開発公社			市決算額	歳出	79,395,953	宿泊利用者数	人	21,677	21,904	15,522	11,806	76%
指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日(5年間)			市決算額	歳入	0	入浴利用者数	人	147,204	147,565	143,651	92,282	64%
実施事業概要	宿泊:客室全44室(152名収容) 外来入浴:午前10時~午後10時 日帰り宴会:午前10時~午後3時			令和2年度 指定管理者 収支	実支出額	79,395,953	休憩利用者数(日帰宴会等)	人	9,674	9,356	5,569	2,488	45%
					前年度 実支出額	▲ 699,600	営業収入(指定管理料除く)	円	401,750,084	401,829,413	300,718,392	238,306,710	79%
					前年度からの 実支出増減額	80,095,553	宿泊定員稼働率	%	44	45	50	33	66%
					支出	321,720,555	利用者評価						
収入	309,567,583	(1) 良好とする評価											
自主事業支出	0	・設備が清潔で安心できます。接客も親切でうれしかったです。 ・コロナ対策がどこからどこまで行き届いており感謝している。 ・お料理も美味しくもう一度来たい。 ・すっかりリニューアルして質実共に大改革されたサービスに敬意を表します。											
自主事業収入	27,127	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	▲ 12,125,845	・宿泊者の駐車場がない ・宿泊風呂への廊下が寒い ・客室の鍵が2個あれば良い											
昨年度実績	▲ 43,775,907												
担当課	観光振興課												
評価区分	評価	点数	総合評価 (100点満点)		66	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型									
施設の有効活用	3	12				・アンケートでは、「良い」評価が8割を占めていること。利用者の苦情に機敏に対応、解消し、原因究明に努め、苦情を改善したため、「利用者評価」は「4」とした。 ・各イベントへの積極的な協力。また、地元物産販売への貢献をしていることから「地域連携」を「4」とした。							
利用者評価	4	16											
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価							
令和3年2月にリニューアルオープンし利用者からも高評価のため、市民や県民を中心にPRを行い、宿泊・利用者の増加、収益増に取り組む。							C						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	温湯温泉利用施設			項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制										代行制
指定管理者	SPC健康福祉マネジメント株式会社			市決算額	歳出	166,960,756	有料入場者数	人	122,645	114,496	109,279	73,602	67%
指定期間	平成18年4月1日~令和3年3月31日(15年間)			市決算額	歳入	26,678,520	施設利用料等	円	44,281,165	41,392,460	39,771,535	26,678,520	67%
実施事業概要	温泉・健康維持増進ゾーン:温泉の提供、水中プログラム、温泉大浴場(平湯・座湯・立湯・打たせ湯・蒸し風呂・かまくら湯・露天風呂・ドライサウナ・ミストサウナ他)温泉利用プール(ジャグジー・水中バー・水中ジム・ネックシャワー他)高齢者福祉ゾーン:高齢者福祉プログラムの開催			令和2年度 指定管理者 収支	実支出額	140,282,236	営業収入(指定管理料を除く)	円	69,586,556	60,842,402	59,655,315	39,181,254	66%
					前年度 実支出額	▲ 147,798,884	利用者評価						
					前年度からの 実支出増減額	288,081,120	(1) 良好とする評価						
					支出	161,476,693	・スタッフがとても親切 ・また来たいと思った						
収入	164,256,812	(2) 苦情・改善等の要望事項											
自主事業支出	15,779,948	・ロッカーの鍵をフロントでの手渡しではなく、ロッカーにつけたままにしてほしい ・客同士の会話が多く、感染の危険がある ・扇風機を止めてほしい(新型コロナウイルス感染対策) ・食事がおいしくない ・Wi-Fiを導入してほしい											
自主事業収入	12,502,734												
損益	▲ 497,095												
昨年度実績	▲ 1,120,478												
担当課	観光振興課												
評価区分	評価	点数	総合評価 (100点満点)		62	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型									
施設の有効活用	3	12				・障害者就労支援施設の販売会開催を実施していること、中止ではあったものの地域で活動している人達に参加を依頼しているロビーコンサートを開催する等を評価し、「地域連携」は「4」とした。 ・フロントでのロッカーの鍵の手渡し、ロッカーの使用制限等新型コロナウイルス感染防止に努めた。							
利用者評価	3	12											
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価							
・新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、入浴事業や講座を実施してPFI事業時と変わらぬサービスの維持向上に努めることを期待する。 ・引き続き地域住民の活動の場を提供する等地域との連携を深めていく。 ・PFI事業終了後の総括をする。							B						

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	豊野健康増進型コミュニティ施設豊野温泉りんごの湯			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	111,679,388	入館(入浴)利用者数	人	190,375	184,019	142,280	117,468
指定管理者	りんごの湯共同企業体(構成団体:和田産業(株)、(株)科学技術開発センター、ユートピア産業(株)、オーガニックリゾート(株)、(株)あけびの湯)				歳入	110,115	スタンド利用者数	人	1,070	1,021	651	748	115%
指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日(5年間)				実支出額	111,569,273	営業収入(指定管理料を除く)	円	138,061,262	134,403,396	106,249,687	72,986,000	69%
実施事業概要	入浴、温泉スタンド、料飲、貸館、物品販売				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲36,933,818	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ①スタッフの方々の笑顔がとても良い、りんごの商品が豊富で楽しい。 ②落ち着いて食事ができた、メニューがたくさんあって楽しい。 ③県外利用者 温泉の湯が白寿の湯に似ていて良かったです、料金がとても安価、りんご風呂がとても嬉しい、清潔で安心安全で入浴できる。 ④広くて落ち着きました。 (2) 苦情・改善等の要望事項 食事のメニューを新しくしてほしい。 売店にりんごの商品がない。 脱衣室のドライヤー足りない。					
						前年度からの実支出増減額	148,503,091						
				支出		101,830,000							
				収入		99,556,000							
				自主事業支出		1,981,000							
自主事業収入	3,524,000												
損益	▲731,000												
担当課	観光振興課			昨年度実績	▲2,447,522								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型									
施設の有効活用	3	12				・各種学校と連携しての事業実施及び令和元年東日本台風災害からの復興祈念事業を評価し、「地域連携」は「4」とした。 ・サーマルカメラの設置、食堂におけるテイクアウトの推奨、営業時間短縮等新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した。 ・コロナ禍の中で、勤務体制の見直しによる人件費の削減、光熱水費の削減等経費節減に努めた。							
利用者評価	3	12											
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価							
・新型コロナウイルス感染防止の徹底、レジオネラ菌対策の徹底等、来館者が安心して利用できる事業を実施する。 ・自治協議会や直売所等地元団体との連携を引き続き図りながら、更なる利用者へのサービス向上を期待したい。							D						

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況							
施設名	保科温泉、若穂老人憩の家			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	2	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	24,699,134	保科温泉(日帰り入浴)利用者数	人	49,206	47,413	45,636	34,524	76%
指定管理者	株式会社オーエンス				歳入	0	老人憩の家利用者数	人	23,116	21,651	18,892	14,408	76%	
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)				実支出額	24,699,134	個室利用	件	112	129	139	0	0%	
実施事業概要	・入浴事業 保科温泉 営業時間 午前9時~午後9時(入浴は午前10時から) 若穂老人憩の家 午前9時~午後4時(入浴は午前10時から) ・貸館事業(個室利用)				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲24,806,480	食堂利用者	人	7,526	6,598	5,781	3,717	64%
						前年度からの実支出増減額	49,505,614	営業収入(指定管理料を除く)	円	30,478,730	28,613,688	27,140,899	19,990,583	74%
				支出		40,079,151	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ・スタッフの対応が良い。 ・大変いいお湯であるのでずっと続けて欲しい。 (2) 苦情・改善等の要望事項 他利用者が浴室・更衣室で大きな声で話をしていた。							
				収入		40,027,997								
				自主事業支出		3,625,168								
自主事業収入	3,435,771													
損益	▲240,551													
担当課	観光振興課			昨年度実績	357,961									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66	評価理由								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型										
施設の有効活用	4	16				・利用者数は、新型コロナウイルスの影響により、保科温泉と老人憩の家の両方において昨年度と比べ減少した。 ・新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、食堂等の自主事業を実施したことを評価し、「施設の有効活用」は「4」とした。 ・一部の行事が新型コロナウイルスの影響で中止となったものの、住民自治協議会と協働した事業の実施、地域の障害者就労支援施設からの物品調達に努めていることなどを評価し、「地域連携」は「4」とした。 ・新型コロナウイルス拡大に際して、非常勤職員の出勤制限、消耗品購入の抑制・光熱水費の削減等経費節減に努めた。 ・食堂の席数を減らしてソーシャルディスタンスを確保する、カラオケ祭りでも感染防止対策を徹底する等して利用者の安全確保に努めた。								
利用者評価	3	12												
事業収支	3	12												
管理運営全般	3	6												
危機管理体制	3	6												
地域連携	4	8												
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価								
・指定管理期間満了となるため、次期指定管理事業者の選定を予定どおり実施する。 ・自主事業で実施している売店の品揃えの充実を行うなど、更なる利用者へのサービス向上が図られることを期待したい。 ・新型コロナウイルス感染防止を徹底し、来館者が安心して利用できる事業を実施する。							C							

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	施設数	利用料金/代行制	利用料金制	市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
					戸隠交流促進施設	1			歳出	1,642,690	そばの里二番館	人	14,690	17,487
					歳入	0								
指定管理者	宝光社区				実支出額	1,642,690								
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)				前年度実支出額	▲ 58,090								
					前年度からの実支出増減額	1,700,780								
実施事業概要	・郷土料理等の提供及び農産物、地場産品等の販売 ・都市住民との交流促進 ・会議室使用の諸手続き			令和2年度指定管理者収支	支出	5,545,323	利用者評価							
					収入	5,543,042	(1) 良好とする評価 ・美味しかったです。 ・館内が広くてゆったりしてよかった。							
					自主事業支出	29,168	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・5月の連休に来たけれど、開いてなくて残念でした。							
					自主事業収入	46,800								
					損益	15,351								
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	▲ 178,618									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由								
施設の有効活用	3	12				【管理運営全般】 新型コロナウイルス感染拡大の影響下において、人件費比率を、45%前後に抑え、利用状況に合わせて臨機応変かつ適正な施設管理を行ったため、評価を4とした。 【地域連携】 地元雇用、地元食材の購入、地域行事への協力等地域への貢献度が高いため、評価を4とした。 【全体】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により4、5月休館し、春の繁忙期に営業ができなかったため利用者が減少した。6月以降も観光客が戻らなかったが、閑散期となる平日の休館日を増やし、経費節減に努めた。11月はGOTOキャンペーンなどで観光客が増えたため営業日を増やし、収益の増加につなげ、収支の赤字を抑えることができた。								
利用者評価	3	12				次年度の目標・取組み等								
事業収支	3	12				公共施設マネジメント及び個別施設計画に基づき、地元と施設の今後のあり方の協議を進める。								
管理運営全般	4	8				指定管理者自己評価 C								
危機管理体制	3	6												
地域連携	4	8												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	施設数	利用料金/代行制	利用料金制	市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
					戸隠そば博物館(とんくるりん)、鏡池園地総合案内施設(どんぐりハウス)	2			歳出	7,075,293	博物館入館(そば博物館)	人	1,099
					歳入	0	そば打ち体験(そば博物館)	人	7,902	8,596	6,082	2,077	34%
指定管理者	一般社団法人 戸隠観光協会				実支出額	7,075,293	食事、物販他(そば博物館・鏡池施設)	人	40,390	49,900	46,504	24,949	54%
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				前年度実支出額	▲ 1,377,793	バーベキュー設備(鏡池施設東屋)	人	60	608	746	248	33%
					前年度からの実支出増減額	8,453,086	会議室・その他(鏡池施設)	人	98	2	86	28	33%
実施事業概要	・とんくるりん そば打ち体験、飲食、地場産品展示販売、そば博物館事業 ・どんぐりハウス 飲食物の提供、物品の販売、木工教室等の開催			令和2年度指定管理者収支	支出	41,854,075	利用者評価						
					収入	36,158,565	(1) 良好とする評価 ・そばが美味しかった(6) ・天ぷらが美味しかった(2) ・おろしそばの大根が辛くて美味しかった ・そばがきを初めて食べた ・そば御膳は、色々なそばが楽しめた ・次はそば打ち体験してみたい ・そば打ち体験が楽しかった(2) ・また来ます(2) ・そば打ち体験は面白くてはまりそう ・そば打ち体験の指導が丁寧で良かった ・コロナ対策が出来ていた ・コロナに負けず頑張ってる						
					自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・名前を正確に呼んでもらえず残念 ・そば御膳の少量バージョンがあると良い						
					自主事業収入	37,644							
					損益	▲ 5,657,866							
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	▲ 6,010,018								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
施設の有効活用	4	16				【施設の有効活用】 そば打ち体験というコロナ禍で敬遠されがちな事業に対し、SNSの積極的な活用、メディアとの連携や、体験メニューのネット予約、各種クーポンの活用など、利用状況の減少対策に工夫を重ね、次年度につなげる取り組みを行ったため、評価を4とした。 【地域連携】 について、観光協会としての地域全体の活性化や他団体と協働する取り組みを行い、戸隠そば祭りなどのイベントへの参画、地域に開かれたアウトドアフィールドとしての活用など、積極的に実施していることから評価を4とした。 【全般】 指定管理初年度であり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用定員や席配置の削減、体験における密の回避、消毒の徹底と消耗品・備品の増加など、料金収入の増が望めない中に不測の費用が発生したが、コスト意識の徹底などで、損失を抑える努力を行っている。							
利用者評価	3	12				次年度の目標・取組み等							
事業収支	3	12				新型コロナウイルス対策や、インバウンド対策として、トイレの洋式化は喫緊の課題であり、老朽化している施設駆体の改修とともに、利用者の安全・快適を確保できるよう取り組んでいく。							
管理運営全般	3	6				指定管理者自己評価 C							
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	戸隠交流集会施設(森林囃子、ふるさとセンター)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	8,868,072	森林囃子(日帰り入浴者数)	人	11,012	9,836	5,950	6,517
指定管理者	長野県高齢者生活協同組合				歳入	0	ふるさとセンター(貸館利用者数)	人	1,472	1,439	957	572	60%
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)				実支出額	8,868,072	営業収入(指定管理料除く)	円	4,296,637	3,837,582	2,402,557	2,555,400	106%
実施事業概要	温泉浴室・トレーニングルーム 午前10時~午後8時 マレットゴルフ場・ゲートボール場 午前8時30分~午後5時 ふるさとセンター 午前8時30分~午後10時				令和2年度指定管理者収支	支出	12,571,274	利用者評価					
					収入	11,214,440	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	・浴室の壁・天井・トイレも綺麗で気持ちが良い。 ・職員が親切、お願いしたこともしてくれ、修理が早いのでうれしい(混合栓・イスなどの家具の修理など) ・割引は知らなかったが該当する割引を勧めしてくれる(臨機応変な対応)・送迎車ありがたい ・行き方がわからなかったが、細かく教えてもらい、ありがたかった。 ・休館日にバスを利用してきて困ったが、親切に対応してくれた。・コロナ対応に対する対策が十分で安心できる。							
				自主事業収入	118,960	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	▲1,237,874	・浴室で毛染めや洗濯をしている利用者がある ・シャワーが壊れている、水が漏れている ・休館を知らなかった。お知らせを徹底してほしい。 ・コロナ感染予防に対する人数制限が厳しいとの意見や、緩いという意見がさまざまあります。							
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	59,457								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		【利用者評価】利用者からの要望・苦情等を、常に受け付け、すぐできることは対応し、全体には定例のスタッフ会議で検討し、施設運営に素早く反映し、利用者からも好評を得ていること。 【地域連携】地域農家と連携した戸隠産の農作物の販売、住民自治協議会など地元の団体等と連携した、貸館利用の促進に取り組んでいること。駐車場・マレットゴルフ場の整備の際に、地元業者や近隣者の協働により実施していること。 【全般】新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4~5月休館し、またその後も人数制限や休憩室の閉鎖などを行っているため収入は減少した。また、見回りや消毒などに女性スタッフを増員する必要があり、シフトや人件費の削減のため、営業時間の短縮、定休日の増などに対応し、経費節減に努め、当初見込みよりも赤字を抑えている。							
施設の有効活用	3	12				次年度の目標・取組み等							
利用者評価	4	16				引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式を取り入れた効率的な施設運営を実施していく。 密にならない利用者の人数制限と、スタッフの増員(消毒、見回り等)、収支のバランスを見ていく。							
事業収支	3	12				指定管理者自己評価							
管理運営全般	3	6				C							
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	戸隠観光施設(戸隠スキー場、戸隠キャンプ場、戸隠高原交流施設(ゲストハウス岩戸))、戸隠牧場			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	4	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	23,817,019	戸隠スキー場	人	102,282	92,309	96,978	83,110
指定管理者	株式会社 戸隠				歳入	32,903,295	戸隠キャンプ場	人	49,042	54,967	51,934	32,549	63%
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)				実支出額	▲9,086,276	戸隠牧場	人	8,229	9,258	14,223	10,451	73%
実施事業概要	戸隠スキー場:リフトの営業運行、食堂施設の営業 戸隠キャンプ場:キャンプ場の営業 戸隠牧場:公共牧場としての機能確保、ふれあい小動物園、乗馬体験施設等の管理				令和2年度指定管理者収支	支出	300,386,257	利用者評価					
					収入	277,423,791	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	31,843,797	【スキー場】・満足度は比較的高い。雪質・整備状況・レストラン・価格・スタッフの対応・新券種のファミリーチケット・宿券の評価が高かった。コロナ対応の感染症対策を徹底したことにより、お客様の安心感を強化することができた。 【キャンプ場】・満足度は高かった。中でも場内の清潔度・ロケーション・環境・川遊び・イベント・区画サイトの温水設備に関する評価が中でも高い。 【牧場】・ロケーション・ふれあい動物広場の評価が高い。							
				自主事業収入	57,831,692	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	3,025,429	【スキー場】・アクセスの悪さ(特に日帰りの地元層)・価格改正に伴う料金が低い(シニア層)・駐車場の利便性・シャルマンの混雑具合・連盟行事の貸し切りに対する不平等さがあげられた。シャルマンレストランを障がい者の方が使用できない(車いす)などの問題は大きいと感じている。 【キャンプ場】・アクセスの悪さ・水道施設の古さ・コテージのカメムシ・繁忙期の混雑具合。 【牧場】・観光施設として体験・乳製品の販売がない。							
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	▲71,788								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		78	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		【施設の有効活用】については、特に戸隠スキー場において新型コロナウイルス感染拡大や雪不足の影響により利用者数が前年度比40~50%に留まるスキー場がある中、利用者の満足度向上を積極的に実施し前年比86%の利用者を確保したことから評価を「4」とした。 【利用者評価】については、老朽化が進む施設でありながら様々な企画により利用者の満足度を向上させ高評価につながっていることから、評価を「4」とした。 【事業収支】については、コロナ禍・雪不足という状況の中、稼働率の少ないリフトを閑散期に休止させ経費削減を図る等の方策により、市からの補填を受けることなく2期連続で指定管理事業の黒字化を達成し、施設貸付料(2,000万円)を市へ納入したことから、評価を「5」とした。 【地域連携】については、コロナ禍で苦しむ地域事業者と協力し合いながら事業を実施したことから、評価を「4」とした。							
施設の有効活用	4	16				次年度の目標・取組み等							
利用者評価	4	16				指定管理者自己評価							
事業収支	5	20				B							
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											



施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況													
施設名	鬼無里ふるさと体験施設(鬼無里ふるさと体験館、鬼無里農産物加工施設、鬼無里里芸館蕎麦工房、鬼無里農林産物直売施設)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	4	利用料金/代行制 利用料金制		歳出	2,704,358	ふるさと体験館	人	32,629	31,822	30,602	13,210	43%							
指定管理者	有限会社ふるさと鬼無里				歳入	0	農林産物直売施設	人	14,102	14,696	12,123	10,474	86%							
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	2,704,358														
実施事業概要	・地元食材を使用した食堂の営業、農林産物の展示即売、加工製品の開発(体験施設)				前年度実支出額	▲4,296,883														
					前年度からの実支出増減額	7,001,241														
				支出	22,402,634	利用者評価														
				収入	21,693,886	(1) 良好とする評価														
				自主事業支出	0	・十割そばの量、味が良い。季節ごとに変わるメニューを楽しみにしている。平日の営業マン対応とした限定ランチ2種類が好評。 ・早朝、夕方など食堂が開いていない時間でも、おやきセットを食べられるのはありがたい。 ・そばの量が多く満足している。天ぷらの菓物は季節に応じて地場の旬のものが出るので美味しい。 ・鬼無里のえごまクッキーやえごま油が買えてよかった。また花壇植込のえごまが見れてよかった。 ・従業員から丁寧に観光案内をよくしてもらった。														
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項																		
損益	▲708,748	・奥裾花のみずばし開花状況がほしい。 ・そばが硬くて残念だった。 ・奥裾花自然園への道路が工事中で行く事が出来ないことを現地に来て知り残念だった。																		
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	▲1,050,677															
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			66														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型			評価理由													
施設の有効活用	3	12				利用者のニーズに応じ食堂メニュー等を展開することにより、利用者から好評を得ていること。地元農家と協力し、地元農産物を活用した加工製品等の開発を積極的に行っており、地域の振興と活性化に貢献していること。以上のことから、「利用者評価」及び「地域連携」の評価を4とした。														
利用者評価	4	16									次年度の目標・取組み等 当該施設は、主に鬼無里地区の奥裾花自然園や白馬村への国道406号線の通行者を対象とした休憩立ち寄り施設として運営を行っているが、奥裾花自然園は林道大川線の改修のため、夏季に休園しており、交通量が減少している状況にある。鬼無里地区はもとより、戸隠地区からの観光周遊ルートを検討し、指定管理者や地元団体等と鬼無里地区の新たな観光コンテンツの創出を検討していく。									
事業収支	3	12														指定管理者 自己評価 C				
管理運営全般	3	6																		
危機管理体制	3	6																		
地域連携	4	8																		

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況													
施設名	鬼無里地域資源活用総合交流促進施設鬼無里の湯			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	1	利用料金/代行制 利用料金制		歳出	40,869,132	宿泊利用者数	人	2,192	2,856	2,605	1,178	45%							
指定管理者	株式会社オーエンス				歳入	0	入浴利用者数	人	3,828	9,526	8,947	4,342	49%							
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	40,869,132	休憩利用者数	人	8,017	7,825	6,811	1,998	29%							
実施事業概要	・施設及び設備の維持管理 ・宿泊に関する業務、入浴に関する業務・食堂・売店に関する業務				前年度実支出額	▲37,976,421	営業収入(指定管理料を除く)	円	37,481,725	47,852,070	42,574,961	17,382,482	41%							
					前年度からの実支出増減額	78,845,553														
				支出	55,654,618	利用者評価														
				収入	55,654,482	(1) 良好とする評価														
				自主事業支出	458,532	・スタッフの対応、環境整備、料理において概ね好評だった。料理の評判がよかった。・アウトホーム的な接客がよかった ・食事は朝晩ともに品数が多く、内容も食材も工夫とこらし、手をかけていてとてもよかった。全体的に家庭的な感じでホッとした。 ・手のかかる「えごまうどん」とてもおいしかった。・ログハウス(コテージ)良かった。設備、備品も。														
自主事業収入	764,220	(2) 苦情・改善等の要望事項																		
損益	305,552	・シングルルームのトイレはウォシュレットにして欲しい。 ・露天風呂があると良い。 ・風呂場に時計が欲しい。⇒翌月男女浴室に時計設置 ・年齢が高いので夕食は少し量少なめが良い ⇒高齢者には要望(量など)受ける																		
担当課	観光振興課北部産業振興事務所			昨年度実績	▲7,907,800															
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			66														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型			評価理由													
施設の有効活用	3	12				新型コロナウイルスの影響により営業自粛や利用者の減少による収入減となったが、人事配置の見直しや提供サービスを絞るなどの施設運営の見直しを行い経費を節減したことから、「事業収支」および「管理運営全般」を4とした。														
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等 林道大川線が改修工事に伴う通行止めのため、奥裾花自然園が夏季休園となり、鬼無里の夏季の観光に大きく影響している。鬼無里地区はもとより、戸隠地区からの観光周遊ルートを検討し、指定管理者や地元団体等と鬼無里地区の新たな観光コンテンツの創出を検討していく。									
事業収支	4	16														指定管理者 自己評価 C				
管理運営全般	4	8																		
危機管理体制	3	6																		
地域連携	3	6																		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況																															
施設名	大岡特産センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																								
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	6,531,016	特産センター利用者	人	173,965	173,422	165,472	140,745	85%																							
指定管理者	グリーン長野農業協同組合				歳入	0	うち 食堂	人	52,129	51,450	52,866	42,662	81%																								
指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日(5年間)				実支出額	6,531,016	うち 売店	人	72,905	74,378	68,521	56,858	83%																								
実施事業概要	・施設及び設備の適正な維持管理 ・地場産品の直売、特産品の展示及び販売 ・食堂での飲食の提供 ・道路及び商工・観光施設の案内、情報の提供				前年度実支出額	▲1,992,816	うち その他(自販機)	人	48,931	47,594	44,085	41,225	94%																								
					前年度からの実支出増減額	8,523,832																															
				支出	59,141,258	利用者評価																															
				収入	58,199,998	(1) 良好とする評価																															
				自主事業支出	0	・そばがとてもおいしかった。 ・周辺の道の駅になかった商品が、大岡特産センターで購入できたので良かった。 ・食堂に大岡地区のPR動画があり、帰りに立ち寄ってみようと思った。 ・建物周辺が草刈りなどしてあり、整備してあったのが良かった。																															
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項																																			
損益	▲941,260	①売店の職員の言葉遣いが悪い(友達感覚の言葉遣い)																																			
昨年度実績	124,801	②天ぶらがサクサクしていません、残念だった。																																			
担当課	観光振興課西部産業振興事務所																																				
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60																																
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型	評価理由																																
施設の有効活用	3	12						前年度の異常気象が原因で農家の出荷量が減少したことによる直売所の品薄に加え、当該年度の新型コロナウイルス感染症に伴う利用者の減少と2年連続で利用者と販売収入が減少したことは、施設運営に大きな影響があった。																													
利用者評価	3	12											次年度の目標・取組み等																								
事業収支	3	12																・経費の削減と業務の効率化を図るとともに、実情に合った施設運営に取り組む。 ・施設オリジナルのテイクアウトメニューの開発と販売を進める。 ・利用者の要望把握方法の改善(アンケートの取り方等)																			
管理運営全般	3	6																					指定管理者 自己評価 D														
危機管理体制	3	6																																			
地域連携	3	6																																			

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況																															
施設名	大岡観光施設(聖山パノラマホテル・テニスコート・マレットゴルフ場・オートキャンプ場)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																								
	施設数	4	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	20,677,921	宿泊利用者人数	人	3,875	3,756	4,017	349	9%																							
指定管理者	聖山高原リゾート共同企業体(構成団体:和田産業株式会社、株式会社科学技術開発センター、ユートピア産業株式会社)				歳入	0	入浴利用者人数	人	2,234	1,300	1,536	386	25%																								
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)				実支出額	20,677,921	宴会・レストラン利用者人数	人	2,325	1,555	1,265	1,373	109%																								
実施事業概要	・ホテル経営: 宿泊営業、日帰り入浴営業、食堂・宴会営業、利用料金の収受 ・その他施設: マレットゴルフ場管理運営、オートキャンプ場管理運営 ・共通事項: 各施設及び設備の維持管理 ・自主事業: 交流活動や誘客を推進するための創意工夫の事業				前年度実支出額	▲14,999,075	マレットゴルフ場・キャンプ場利用者人数	人	2,972	2,818	3,332	1,739	52%																								
					前年度からの実支出増減額	35,676,996	営業収入(指定管理料を除く)	円	29,258,288	26,464,090	29,203,492	6,444,286	22%																								
				支出	28,624,000	利用者評価																															
				収入	26,057,286	(1) 良好とする評価																															
				自主事業支出	240,000	・信州産の食材や地元の野菜や山菜、きのこなどを取り入れた料理の提供で、特に県外のお客様には大変好評であった。 ・宿泊プランの料理に自家製粉手打ち蕎麦を取り入れ好評を得た。 ・施設内の新型コロナウイルス感染症対策がしっかりしていて、安心して滞在、利用ができた。																															
自主事業収入	491,000	(2) 苦情・改善等の要望事項																																			
損益	▲2,315,714	①新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、例年開催している「秋のきのこ狩り」の実施を見送ったが、開催を望む声が多かった。																																			
昨年度実績	▲667,505	②キャンプ場の予約は電話のみとなっているが、キャンプ場の情報が少ないため分かりづらい。																																			
担当課	観光振興課西部産業振興事務所																																				
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60																																
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型	評価理由																																
施設の有効活用	3	12						新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い宿泊利用者の減少に加え、市立小学校「高原学校」利用が宿泊から日帰りとなってしまったことで、利用者数と利用料収入に大きく影響した。																													
利用者評価	3	12											次年度の目標・取組み等																								
事業収支	3	12																・経費の削減と業務の効率化を図るとともに、実情に合った施設運営に取り組む。 ・高原にある施設の魅力を積極的にPRするとともに、施設利用者が予約しやすい環境を整える。																			
管理運営全般	3	6																					指定管理者 自己評価 D														
危機管理体制	3	6																																			
地域連携	3	6																																			

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況					
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	eternal story 株式会社			市決算額	歳入							
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				0							
実施事業概要	・施設及び設備の適正な維持管理 ・入浴者の受付業務(利用許可・料金徴収) ・利用を促進する自主事業(湯茶・飲食の提供)			支出	11,579,000	利用者評価						
				収入	10,514,000	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	372,000	・休憩室のミュージック良かったです。 ・天気の良い日は長野市街から来る価値120% ・食事が安すぎ申し訳ないです。						
				自主事業収入	684,000	(2) 苦情・改善等の要望事項						
				損益	▲753,000	①露天風呂が熱かったです。でも気持ちよかったです。 ②車なのでノンアルコールビールがあれば有り難いです。						
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			昨年度実績	▲1,903,925							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			60						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由						
施設の有効活用	3	12					指定管理者は当施設の指定管理初年度であり、管理運営において手探りの部分が多い中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う施設利用者の減少に直面したが、営業時間を短縮するとともに、稼働率によってスタッフの配置を柔軟に変更するなど、人件費や諸経費の削減に取り組むことで、施設の管理運営に伴う損失を最小限にするために努力していた。					
利用者評価	3	12										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	6										
危機管理体制	3	6										
地域連携	3	6										
						次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価	
						・地域で開催するイベント等に積極的に参加・協力することで、地域との連携強化を図る。 ・経費削減による施設の運営改善を進めるとともに、施設からの眺望をPRし集客力の向上を図る。						C

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況					
施設名	施設数	利用料金/代行制	代行制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	株式会社アルプス・ビュー・フォーラム			市決算額	歳入							
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				0							
実施事業概要	・アルプス展望公園の維持管理 ・キャンパスハウスの維持管理及び有効活用 (1階:地場産材料によるカフェ、パン製造 2階:貸出ギャラリー)			支出	1,554,000	利用者評価						
				収入	440,000	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	17,183,000	・庭の芝生にテーブルと椅子があり他のお客さんと接することがなく安心して食事ができてうれしい。 ・山や庭の草花を見ながらお茶ができてとてもよかった。芝生が刈りこまれていて気持ちが良い。庭の手入れがいつもよく感心する。 ・スタッフの接客、店内の雰囲気良く、食べ物ヘルシーでおいしく友達を誘ってまた来たい。 ・公園及び施設内からの眺望が良く、都会に住む子供や孫を連れてきたい。グリーンが多くきれいでストレス発散ができる。 ・コロナが終息したら県外の孫を連れてきたい。もっとゆっくりしたい。庭やベランダ席があるので犬も一緒に来られて満足。 ・小さい子供を連れてきても、ほかのお客さんに気兼ねなく遊ばせながら食事できる環境が素晴らしい。						
				自主事業収入	17,090,000	(2) 苦情・改善等の要望事項						
				損益	▲1,207,000	①途中の道に案内板などがなく到着するのに苦労した。19号から大岡にはいる案内板(県、市)には温泉やパノラマホテル、芦ノ尻道祖神の表示はあるが、アルプス展望公園の表示がないのはなぜだ?素晴らしいところなのだからもっと宣伝すべきだ。 ②公園外側樹木の成長により北アルプス連峰が見づらい。景観の悪化が進んでいる。 ③入り口の階段のタイル等が壊れて危ない思いをした。店内の照明が良くない。県道12号からの入り口に工事の資材黒い土塵のようなものがあり、放射能の残土を連想させて見苦しい。						
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			昨年度実績	▲999,778							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			60						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由						
施設の有効活用	3	12					新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者が大幅に減少したが、公園の維持管理を徹底することで、北アルプスの眺望や豊かな自然環境と調和した施設のロケーションが、利用者から高評価を得ているなど、事業を計画どおり実施できていた。					
利用者評価	3	12										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	6										
危機管理体制	3	6										
地域連携	3	6										
						次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価	
						・景観に配慮しながら、北アルプスの眺望に支障がある樹木の伐採や公園内の植栽の剪定等を計画的に実施する。 ・老朽化が進むキャンパスハウスについて計画的に修繕工事を実施する。						B

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	信州新町地場産業振興市場			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	1,282,600	売店利用者数	人	185,477	182,925	181,042	154,305
指定管理者	株式会社信州新町地場産業開発機構				歳入	1,950,000	食堂利用者数	人	197,571	198,334	202,154	156,577	77%
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)				実支出額	▲667,400	体験室利用者数	人	161	100	82	8	10%
実施事業概要	・施設及び設備、備品の適正な維持管理 ・施設運営(おやき・そば・ジンギスカン等、地域特産物及び農産物等の販売) ・地元食材を使用した食事等の提供により地産地消を推進する。				前年度実支出額	0	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ・おそばがおいしかった。 ・スタッフの対応がいい (2) 苦情・改善等の要望事項 ①トイレにペーパータオルが欲しい。 ②食堂の通路が狭い。 ③山菜の値段が高い。						
					前年度からの実支出増減額	▲667,400							
				支出	319,138,498								
				収入	320,142,768								
				自主事業支出	88,000								
自主事業収入	104,000												
損益	1,020,270												
昨年度実績	7,241,225												
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			総合評価(100点満点)		66							
評価区分	評価	点数	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			・観光客や道路利用者ばかりでなく、多くの市民から親しまれる施設となっている。 ・事業収支については、黒字決算となっていることから、評価を「4」とした。 ・地域連携については、地元農産物等を積極的にPRし、販売を伸ばすことで、地域生産活動の活性化に大きく貢献した。また、会員が栽培した小梅から、スパークリングワインを開発・販売するなど、新たな商品開発に取り組んでいることから、評価を「4」とした。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	3	12											
事業収支	4	16											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価									
・長野市の道の駅(信州新町・中条・大岡特産センター)が連携し、長野市産のジビエ商品開発と販売を促進する。 ・老朽化が進む施設の更新・改修を計画的に実施する。(合併処理浄化槽等) ・利用者の要望把握方法の改善(アンケートの取り方等)				C									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	不動温泉保養センターさざり荘、信州新町ふれあい公園、信州新町青少年旅行村			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	3	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	25,858,662	宿泊利用者数	人	2,833	2,474	2,727	2,010
指定管理者	有限会社 アールアンドデー				歳入	0	入浴利用者数	人	19,529	16,654	19,458	11,644	60%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	25,858,662	休憩利用者数(日帰宴会等)	人	18,753	17,933	16,130	9,591	59%
実施事業概要	施設の維持管理及び利用料金の収受をはじめ下記事業を行う。 ・さざり荘：宿泊、飲食、日帰り入浴、日帰り宴会に関する業務。コンベンション会場、577イング 休憩貸付。 ・ふれあい広場：マレット・パターゴルフ場使用許可、ミニキャンプ場使用許可及びマレットゴルフ大会の開催。 ・青少年旅行村：休止中(※H25から施設不備等により休止)				前年度実支出額	▲9,980,255	マレットゴルフ・ゲートボール	人	2,906	1,773	2,204	930	42%
					前年度からの実支出増減額	35,838,917	営業収入(指定管理料除く)	円	79,668,867	71,072,703	96,956,206	67,908,000	70%
				支出	101,114,000	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ①部屋：清掃が行き届いている。余分なものが無く小奇麗にしている。 ②風呂：近くの入浴施設と比べて清掃がきちんとされていて気持ちが良い。朝風呂に入れるようになり嬉しい。 ③料理(朝食)：シンプルな朝食だが、ごはんが美味しい。 ④料理(夕食)：やはりサフォークは美味しい。自家製のジンギスカンが美味しい。 ⑤接客・サービス：電話でしっかりと対応してくれた。フロントで気持ちの良い挨拶をしてくれた。 ⑥清潔感：築年数を感じる建物だが、清掃がしっかりとされている。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ①部屋：壁が薄く隣の部屋の音が聞こえる。廊下の足音が気になる。WiFiが繋がりにくい。 ②風呂：露天風呂があると良い。大人数で入ると狭い。シャワーの出が悪いところがある。温度が熱い(ぬるい)。 ③料理(朝食)：特になし ④料理(夕食)：混んでいるとはいえ、提供されるまで時間がかかった。蕎麦が茹ですぎ。 ⑤接客・サービス：お土産の商品について聞いたが、商品知識が乏しいと感じた。 ⑥清潔感：築年数を感じる箇所があり、壁や床を張り替えたほうが良い。(小食堂など)							
				収入	101,044,000								
				自主事業支出	0								
自主事業収入	0												
損益	▲70,000												
昨年度実績	▲3,976,722												
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			総合評価(100点満点)		60							
評価区分	評価	点数	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い施設利用者が激減する中で、イベント等の事業ができない状況であったが、各種メディアに積極的に働きかけ広報宣伝活動を行うとともに、予約サイトを複数展開するなど、集客力の強化に努めていた。 また、名物のサフォーク及びジンギスカンの販路を拡大するため、新たにネット販売やテイクアウトを開始し、収益の増加を図っていた。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	3	12											
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価									
・施設の老朽化が進む中で、修繕箇所が年々増えており、優先順位を付けて計画的に実施する。 ・地域の農産物及び畜産物等の食材を積極的に活用する。				D									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	中条地域特産物販売施設			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	19,682,500	売店利用者数	人	100,562	92,832	80,357	51,985	65%
指定管理者	アクティオ株式会社				歳入	0	食堂利用者数	人	59,741	63,662	63,662	41,759	66%	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	19,682,500								
実施事業概要	・施設及び設備、備品の適正な維持管理 ・施設の利用受付、利用許可、料金の収受に係る業務 ・地域農産物の販売及び地元食材を使用した飲食の提供				令和2年度指定管理者収支	支出	115,615,757	利用者評価						
					収入	103,415,069	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	・換気もしっかりされていて気持ち良く食事が出来た。料理の味も美味しくて満足。今後もより良いサービスに努めてください。 ・数ある道の駅の中で「おぶっこ」が一番ですよ。この味いつまでも残して下さい。麺も良しタレも良し全て良しです。 ・いのししかレー初めてでしたが、とても美味でした。 ・スタミナ丼すごく満足出来ました。 ・明るくて元気がよくて何より生き生きとお仕事されており好感が持てた。								
				自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項								
				損益	▲12,200,688	①猪肉が小さくインパクトに欠ける。味も豚肉とさして変わらない。 ②感染症対策は十分理解できますが、せっかくの景色が貼紙で遮られ残念です。								
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			昨年度実績	▲15,616,797									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由								
施設の有効活用	3	12				新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い施設利用者が減少していたが、利用者に対する気配りときめ細やかな対応に心がけていた。 また、地元の農産物を活用することで、地産地消を進めるとともに、施設や商品の積極的なPR活動を展開していた。								
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等			
事業収支	3	12				・施設の食堂及び物販において積極的に地元の農産物等を活用する。 ・ジビエの加工品を含め新商品の開発・販売を進める。 ・地域で開催するイベント等に積極的に参加・協力することで、地域との連携強化を図る。 (次年度指定管理者交代)								
管理運営全般	3	6				指定管理者 自己評価 D								
危機管理体制	3	6												
地域連携	3	6												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	中条農林産物直売施設			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	1,120,400	利用者数	人	70,477	70,761	59,208	47,161
指定管理者	農事組合法人わんさか市				歳入	0	販売収入	円	6,886,017	8,955,691	7,640,333	3,617,013	47%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	1,120,400	販売高	円	45,652,928	48,313,130	39,818,010	32,807,831	82%
実施事業概要	・施設の維持管理 ・地域の農林産物及び加工品の販売				令和2年度指定管理者収支	支出	34,384,570	利用者評価					
					収入	33,877,831	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	・農林産物が新鮮で安い。 ・近ければ毎日買いたい。 ・駐車場が広くて、お店に寄りやすい。 ・駐車場からの景色が良い。 ・店員から野菜の作り方や、おいしい料理の仕方や漬け方を教えていただいた。 ・いろいろな料理等のレシピがあり良かった。							
				自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	▲506,739	①甘柿を買ったが渋かった。 ②葉物野菜に虫がいた。							
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			昨年度実績	▲122,580								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
施設の有効活用	3	12				前年度の天候不順等に伴う農作物の品薄に続き、当該年度の新型コロナウイルス感染症に伴う利用者の減少と2年連続で利用者と販売収入が減少したことは、施設運営に大きな影響があった。							
利用者評価	3	12									次年度の目標・取組み等		
事業収支	3	12				(当該施設は次年度指定管理者が交代するとともに、道の駅中条として一体的に管理運営していく。)							
管理運営全般	3	6				指定管理者 自己評価 D							
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	中条地域振興施設やきもち家			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	20,382,000	宿泊利用者数	人	4,118	3,978	2,516	1,026
指定管理者	eternal story 株式会社				歳入	45,000	入浴利用者数	人	1,843	2,284	2,057	2,003	97%
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日(3年間)				実支出額	20,337,000	休憩利用者数(日帰り宴会等)	人	3,667	3,292	2,965	1,542	52%
実施事業概要	施設及び設備の維持管理、宿泊・飲食・日帰り入浴・日帰り宴会に係る業務、利用料金の收受、その他施設の設置目的を達成する事業				前年度実支出額	▲15,431,640	営業収入(指定管理料除く)	円	54,690,542	49,544,359	37,768,000	15,435,000	41%
				前年度からの実支出増減額	35,768,640	宿泊定員稼働率	%	22	28	20	11	55%	
				支出	36,074,000	利用者評価							
				収入	34,368,000	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	11,000	・スタッフの方がとても親切で気持ち良く過ごすことが出来ました。 ・ジビエ料理はスープの味もよく美味しく頂きました。おやきを焼くところも見れていい体験をさせて頂きました。 ・食事もとても美味しくお部屋もキレイでゆっくりできました。コロナでなかなかお出かけできない中近場で気分転換ができて本当に感謝です。							
自主事業収入	191,500	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	▲1,525,500	①網戸から小さな虫が入ってきた。 ②料理の量が多すぎて、食べきれなくて残した。 ③トイレの鍵が締めづかった。 ④男性風呂(西側)浴槽の底が滑る。少し凹凸が必要。											
昨年度実績	212,000												
担当課	観光振興課西部産業振興事務所			総合評価(100点満点)		62							
評価区分	評価	点数	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い施設利用者が激減する中で、営業時間を短縮するとともに、稼働率によってスタッフの配置を柔軟に変更するなど、人件費や諸経費の大幅な削減に取り組むことで、施設の管理運営に伴う損失を最小限にするための努力があった。 「地域連携」については、地域イベント「お菜採りツアー」への積極的な参加・協力や、施設で使用する食材には地域の農産物を積極的に活用するなど、地域との強い繋がりができたことから、評価を「4」とした。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	3	12											
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価								
経費の削減と業務の効率化を図るとともに、マイクロツーリズムやリゾートテレワーク等を積極的に進め、施設の稼働率を上げる。 ジビエの新メニューの開発や施設利用者への提供を進めるとともに、地域の特産品としてのブランド化を図る。													
					C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	長野市芸術館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	310,510,721	メインホール	人	93,975	114,990	89,644	27,667
指定管理者	一般財団法人長野市文化芸術振興財団				歳入	47,120,745	リサイタルホール	人	16,077	20,946	24,088	7,811	32%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	263,389,976	アクトスペース	人	12,124	16,682	15,416	8,646	56%
実施事業概要	【貸館業務等】 メインホール、リサイタルホール、アクトスペース、リハーサル室、各種練習室等の貸館業務、チケット販売、広報事業等 【市指定事業】 ■公演事業22事業、40公演を企画(うち14公演は新型コロナウイルス感染拡大により中止又は延期) ■通年・その他事業 長野市芸術館ジュニア合唱団の運営、シニア演劇アカデミー、お届け芸術館、オープンハウスDAY、ランチ・タイム・コンサート、市役所ロビー・コンサート、子供育成総合事業、Everly訪問ミニ・コンサート 他				前年度実支出額	▲282,860,198	練習室等	人	47,811	26,729	65,075	17,870	27%
				前年度からの実支出増減額	546,250,174	利用者評価							
				支出	360,989,431	(1) 良好とする評価							
				収入	360,852,611	新規貸館利用者アンケート結果 ・使いやすい空間で、スタッフが協力的であった。 ・ホールの響きが安定している。 ・市内の子どもの団体等が利用する場合に割引がある。							
				自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項							
自主事業収入	0	新規貸館利用者アンケート結果 ・楽屋とメインホールを移動するとき、階段の上り下りが大変だった。 ・レッスン場所としては利用料が高い。											
損益	▲136,820												
昨年度実績	14,616,261												
担当課	文化芸術課			総合評価(100点満点)		62							
評価区分	評価	点数	施設分類	施設貸出1型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			【管理運営全般】 ハローワーク等を活用して職員採用の募集を行ったが、一年を通して予定した人員を確保できなかったため、評価を2とした。 【危機管理体制】 新型コロナウイルス感染症対策では、芸術館独自の管理運営マニュアルをいち早く整備し、職員一丸となって対応するなど、安心安全な管理運営に努めたため、評価を4とした。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	3	6											
事業収支	3	12											
管理運営全般	2	4											
危機管理体制	4	16											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等					指定管理者自己評価								
次年度の取組として要望する事項(指定管理者提案) ・貸館利用者に対する利用後のアンケート調査の実施 ・セルフモニタリング(指定管理者が自ら行う監視・確認業務)の実施													
					C								

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況												
施設名	松代文化ホール			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比						
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	31,331,855	ホール	人	16,197	6,640	11,517	7,782	68%					
指定管理者	株式会社サンワックス				歳入	7,995,012	練習室	人	1,513	887	2,247	898	40%						
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日(4年間)				実支出額	23,336,843	展示ホール	人	440	1,450	215	160	74%						
実施事業概要	・ホール1、練習室及び展示ホールの貸館及び利用促進のための広報活動 ・施設、備品等の適正管理、各種設備の保守点検、法定点検環境保全業務等 ・施設の目的に沿った自主事業の実施				前年度実支出額	▲24,145,205	合計	人	18,150	8,977	13,979	8,840	63%						
					前年度からの実支出増減額	47,482,048	利用者評価												
				支出	29,745,278	(1) 良好とする評価													
				収入	31,369,565	①自主事業参加者へのアンケート調査 ・「身近なホールでリーズナブルな値段で、気軽に聞けるのはうれしい!」(ワンコインコンサート)等同様な意見複数 ・「親子で楽しくできました。今後も参加したい!」(理科教室・クラフト)等同様な意見複数 ②貸館利用者へのアンケート調査(常時実施) ・「電話に丁寧に対応いただきありがとうございます」「コロナ対策もしていただき、大変快適に練習できました」 「細かいところまでお気遣いいただきありがとうございました」など													
				自主事業支出	255,860	(2) 苦情・改善等の要望事項													
自主事業収入	526,435	・冷暖房機器が少々古い(練習室・楽屋) ・トイレにゴミ箱が欲しい。																	
損益	1,894,862																		
昨年度実績	▲2,635,173																		
担当課	文化芸術課																		
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		74														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型	評価理由														
施設の有効活用	4	16			・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休館や定員制限がある中、広報活動に努め、利用件数や施設稼働率を前年から大幅に増加させた実績から施設の有効活用を「4」とした。 ・自主事業参加者のみならず、貸館利用者からも高い評価を得ており否定的な意見はほとんど見られないことから利用者評価を「4」とした。 ・市の助成制度はあったものの、収支は計画以上の成果があり、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した予算を、老朽化した施設の修繕や備品購入に充当する等、施設の利便性向上に寄与したことから事業収支を「4」とした。 ・豪雨や地震発生時など休日・夜間を問わず施設の安全点検を行い、迅速な報告を行うなど、日ごろから極めて高い危機管理体制を構築していることから危機管理体制を「4」とした。 ・自主事業では地元の小学生等新たな利用層の増加につなげる事業を実施するとともに、地元商店や施設等とも積極的に連携を図り、広報活動の相互協力を行うなどの実績から地域連携を「4」とした。														
利用者評価	4	8								次年度の目標・取り組み等 ・新型コロナウイルス感染症の影響で減少した施設利用者数の回復を図る。 ・地元との連携を更に強化するとともに、多世代が参加できる事業を更に推進し、地域に根ざした事業運営を促進する。 ・市と管理者の連携を密にし、計画的且つ効率的な施設修繕に努める。									
事業収支	4	8													指定管理者 自己評価 B				
管理運営全般	3	12																	
危機管理体制	4	16																	
地域連携	4	8																	
指定管理者の健全性	3	6																	

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況												
施設名	長野運動公園総合運動場、西和田テニスコート			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比						
	施設数	2	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	323,036,739	プール(アクアウイング)	人	140,031	135,655	123,747	88,568	72%					
指定管理者	シンコースポーツ株式会社				歳入	1,823,796	体育館	人	135,403	130,841	80,719	60,473	75%						
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	321,212,943	陸上競技場	人	115,079	107,365	99,449	52,654	53%						
実施事業概要	・施設貸出(一般利用) ・スポーツ教室(プール・体育館・テニスコート) ・スポーツ用品販売				前年度実支出額	▲370,439,473	テニスコート	人	56,691	59,476	50,212	37,757	75%						
					前年度からの実支出増減額	691,652,416	弓道場	人	15,630	16,117	15,707	10,093	64%						
				支出	363,802,006	利用者評価													
				収入	363,729,966	(1) 良好とする評価													
				自主事業支出	39,235,577	・アンケート結果から総合満足度が、とても良い、良いを含め65%(とても良いの比率が7%増)であり、利用者の評価が高い。 ・各種教室の評価がとても良い、良いを含め96.8%と利用者の評価がとても高い。 ・受付の対応が素晴らしい。監視員の方のあいさつが気持ち良い。(アクアウイング) ・普段使っているが、最高の練習場所です。(総合体育館) ・スタッフが明るく気持ちが良い。シャワールームがきれい。扇風機を増やしていただきありがとうございます。(トレーニングルーム)													
自主事業収入	40,440,158	(2) 苦情・改善等の要望事項																	
損益	1,132,541	・ジャグジーに手すりをつけてほしい。(アクアウイング) ・歩行コースを会話禁止、マスク着用にしてほしい。(アクアウイング) ・トレーニング器具の劣化が激しい。(トレーニングルーム) ・体育館・トイレが寒い。卓球場がいつも混んでいる。(総合体育館) ・コートの凹凸を早く直してほしい。(テニスコート)																	
昨年度実績	▲3,783,729																		
担当課	スポーツ課																		
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68														
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出1型	評価理由														
施設の有効活用	3	12			・「施設の有効活用評価」について、利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較すると約122,000人ほど減少しているが、教室等の個人向けの事業を増やし、長野運動公園外周にウォーキングコースを設置、物販の拡充、キャッシュレス決済、オンラインレッスン導入など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮し、利用者数の増加と利便性向上に努めており、施設の有効活用を図ったため評価を「3」とした。 ・「利用者評価」について、利用者の評価が好評で特に各種教室に対する評価が高く、期待を上回る管理運営がされたことから評価を「4」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響による施設の休館等によって、利用料収入が大幅に減少した。支出については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で人件費が増加したものの、光熱水費等の支出を抑え、事業の損失を最小限に留めた。指定事業では赤字となったものの、自主事業において黒字となっており、全体として意欲的な事業展開がなされたことを評価し「3」とした。 ・「危機管理体制」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、対策マニュアルを作成し受付において手指消毒・施設内の1時間毎の消毒・注意喚起の徹底や、キャッシュレス・QR決済を導入した。また、職員及び職員の親族に濃厚接触者及び陽性者が発生した際には、市への報告、該当職員の出勤停止、関係者の把握など迅速に対応したことを評価し「4」とした。 ・「地域連携」について、職員数68名の市内内在住者が58名あり、市内雇用率が85%と高い雇用率となった。また、修繕工事でも市内業者を積極的に採用したことから評価を「4」とした。														
利用者評価	4	8								次年度の目標・取り組み等 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を引き続き実施していく。 ・施設老朽化に伴う事故の防止を踏まえ、継続して修繕箇所の早期発見を行うよう施設巡回を強化するとともに、大規模改修を視野に入れた施設改修箇所の優先順位付け精査していく。 ・アクアウイングについて、合宿の受け入れなどの合宿誘致を積極的に行う。 ・利用者の満足度向上のため、施設や備品等の改修を積極的に進め、利用者の増加を図る。									
事業収支	3	12													指定管理者 自己評価 B				
管理運営全般	3	6																	
危機管理体制	4	16																	
地域連携	4	8																	
指定管理者の健全性	3	6																	

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	南長野運動公園総合運動場			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	267,861,874	野球場(オリンピックスタジアム)	人	114,170	134,623	93,932	19,822	21%
指定管理者	南長野スポーツマネジメント共同事業体(構成団体:シンコースポーツ株式会社、株式会社長野県民球団、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ、株式会社NTTファシリティーズ)				歳入	5,652,516	体育館	人	44,574	48,111	30,663	26,005	85%
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)				実支出額	262,209,358	プール(月額会員含む)	人	107,003	100,523	87,252	73,368	84%
実施事業概要	①施設貸出(一般利用)、②スポーツ教室・プログラム(野球場・プール・体育館・テニスコート・総合球技場)、スポーツ用品販売(プール・体育館)、審判講習会(野球場)、スポーツアカデミー				前年度実支出額	▲242,459,556	テニス	人	61,954	61,002	53,988	29,751	55%
					前年度からの実支出増減額	504,668,914	総合球技場	人	154,479	116,948	90,838	62,403	69%
					支出	340,879,508	利用者評価						
				収入	336,656,508	(1) 良好とする評価							
担当課	スポーツ課			自主事業支出	19,682,393	①プール:採暖室内を綺麗に改装していただいて嬉しい。 ②公園・駐車場:積雪時の公園内歩行コースが除雪されていてうれしい。							
				自主事業収入	33,151,732	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				損益	9,246,339	①体育館:照明を明るくしてほしい。 ②体育館:カーテンの不具合箇所が多いので直してほしい。 ③プール:採暖室の入口ドア付近を改装してほしい。 ④トレーニングジム:ランニングマシンを増設してほしい。 ⑤オリンピックスタジアム:バックネット裏の塗装が落ち白くなって、打球が見えにくい。 ⑥テニスコート:夜間照明が切れている場所がある。							
				昨年度実績	14,592,926								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出1型		評価理由							
施設の有効活用	3	12				・「利用者評価」について、現地モニタリングでは利用者に丁寧に明るい対応をしており、利用者アンケートでも「良い」「とても良い」の評価が昨年と比較してポイントが高くなっているため評価を「4」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルスの影響により利用料金収入が大幅に減少したが、年度計画額に対し支出の抑制を図り、自主事業では赤字となった点を評価し「3」とした。 ・「危機管理体制」については、令和2年12月に引込高圧ケーブルが絶縁したことにより全施設が停電した際、1週間後に長野ACパルセイロの公式戦が行われる状況であったが、適切に高圧ケーブルの入替え等を行い、迅速に全施設通常営業を再開した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、受付の感染予防対策として手指消毒・注意喚起の徹底や、キャッシュレス・QR決済を可能にしたことを評価し「4」とした。 ・「地域連携」については、市内職員雇用率が83%と高いため評価を「4」とした。							
利用者評価	4	8									次年度の目標・取組み等		指定管理者自己評価
事業収支	3	12											
管理運営全般	3	6									B		
危機管理体制	4	16											
地域連携	4	8											

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)、真島テニスコート			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	2	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	67,893,120	アリーナ入場者数	人	160,892	159,044	147,131	67,047	46%
指定管理者	株式会社フクシ・エンタープライズ				歳入	1,968,275	テニスコート利用者数	人	894	800	867	1,020	118%
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)				実支出額	65,924,845							
実施事業概要	・施設貸出(一般利用) ・スポーツ教室の開催				前年度実支出額	▲74,716,761							
					前年度からの実支出増減額	140,641,606							
					支出	97,883,109	利用者評価						
				収入	100,532,287	(1) 良好とする評価							
担当課	スポーツ課			自主事業支出	5,240,880	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				自主事業収入	3,455,000	①トレーニングルームの営業を継続してほしい ②子どもと一緒に来れる遊具(公園)を増設してほしい ③テニスコートの荒れが目立つ。段差で転倒した ④テニスコートを改善してほしい							
				損益	863,298								
				昨年度実績	4,249,395								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出1型		評価理由							
施設の有効活用	3	12				・「利用者評価」について、アンケート回答数が5と少なく、利用者の声を十分に確認したと言えないため評価を「2」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルスの影響のある中、年度計画額に対し支出を抑制しつつ、年度後半に利用料金収入を大きく伸ばし、本体事業を黒字としており評価を「4」とした。 ・「危機管理体制」については、新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成し、受付の感染予防対策としてサーマルカメラによる検温実施、手指消毒、感染防止の注意喚起を徹底したため、評価を「4」とした。 ・「地域連携」については、市内からの雇用(91%)や物品購入等を積極的に行ったため評価を「4」とした。							
利用者評価	2	4									次年度の目標・取組み等		指定管理者自己評価
事業収支	4	16											
管理運営全般	3	6									B		
危機管理体制	4	16											
地域連携	4	8											



施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	北部スポーツ・レクリエーションパーク、昭和の森公園フィットネスセンター、昭和の森公園テニスコート			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	3	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	30,785,000	運動広場利用者数	人	14,910	18,186	14,279	14,856	104%
指定管理者	株式会社フクシ・エンタープライズ				歳入	584,000	屋内運動場利用者数	人	30,477	33,349	24,811	25,418	102%	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	30,201,000	マレットゴルフ場利用者数	人	2,959	3,075	2,325	2,816	121%	
実施事業概要	施設貸出(一般利用) スポーツ教室の開催				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲ 37,389,603	アクションスポーツ広場利用者数	人	3,150	3,592	3,114	4,805	154%
						前年度からの実支出増減額	67,590,603	昭和の森公園フィットネスセンター利用者数	人	31,030	31,566	25,125	21,159	84%
				支出		39,882,341	利用者評価							
				収入		41,831,893	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		1,415,388	(2) 苦情・改善等の要望事項							
自主事業収入	1,984,877	□北部スポーツ・レクリエーションパーク ①マレットゴルフコースの距離の変更をしてほしい ②マレットゴルフコース内の階段を整備してほしい □昭和の森公園フィットネスセンター ①まぶしい												
損益	2,519,041	評価理由 ・「利用者評価」について、アンケート結果及び現地モニタリング結果が良好であったため評価を「4」とした。 ・「事業収支」について、新型コロナウイルスの影響のある中、本体事業、自主事業とも黒字となっており、予算を超える修繕も実施しているため評価を「4」とした。 ・「危機管理体制」について、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し、受付時に感染予防対策としてサーマルカメラによる検温実施、手指消毒、感染防止の注意喚起を徹底したことを評価した。 ・「地域連携」について、市内からの雇用(100%)や物品購入等を積極的に行ったため評価を「5」とした。												
昨年度実績	3,681,653						次年度の目標・取組み等 ・施設の魅力をPRし、認知度を上げ利用者に身近な施設を目指すとともに、サービスの向上を図りより一層の利用者の増加につなげる。 ・アンケート調査等により利用者の声をより多く確認する。							
担当課	スポーツ課			総合評価(100点満点)		68								
評価区分	評価	点数	施設分類	施設貸出2型		指定管理者自己評価								
指定管理者の健全性	3	6	施設の有効活用											
施設の有効活用	3	12	利用者評価							指定管理者自己評価 B				
利用者評価	4	8	事業収支											
事業収支	4	8	管理運営全般											
管理運営全般	3	12	危機管理体制											
危機管理体制	3	12	地域連携											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	テニスコート(城山、若穂中央公園)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	2	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	5,668,309	城山テニスコート	人	15,984	14,620	14,107	12,813	91%
指定管理者	株式会社サンアメニティ				歳入	23,606	若穂中央公園テニスコート	人	8,363	9,885	8,595	7,789	91%	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	5,644,703								
実施事業概要	施設貸し出し(一般利用) テニス教室				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲ 5,034,271	利用者評価						
						前年度からの実支出増減額	10,678,974	(1) 良好とする評価						
				支出		11,056,012	・管理が行き届いている。(コート、トイレ) ※複数回答あり。							
				収入		9,900,012	(2) 苦情・改善等の要望事項							
				自主事業支出		0	・落葉が多い。 ・ネットのたるみが気になる。							
自主事業収入	0	次年度の目標・取組み等 ・利用者アンケートを定期的実施する。 ・職員の対応に関する満足度は高いので、引き続きよい接遇を維持していく。 ・事前予約が不要な施設なので、「テニスをしようと思いついた人」向けに情報提供する工夫をしていく。 ・ホームページの更新があまりされていないので、情報発信の頻度を上げる。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施していく。												
損益	▲ 1,156,000													
昨年度実績	▲ 1,762,490	総合評価(100点満点)		66										
担当課	スポーツ課			施設分類		施設貸出2型		指定管理者自己評価						
指定管理者の健全性	3	6	施設の有効活用											
施設の有効活用	3	12	利用者評価							指定管理者自己評価 C				
利用者評価	4	8	事業収支											
事業収支	3	6	管理運営全般											
管理運営全般	3	12	危機管理体制											
危機管理体制	3	12	地域連携											

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況																							
施設名	茶臼山運動施設(茶臼山テニスコート、篠ノ井体育館、茶臼山市民プール、茶臼山屋内運動場、茶臼山運動場、アーチェリー場)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																	
	施設数	5	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	12,283,999	運動場利用者数	人	7,919	9,444	6,727	3,457	51%																
指定管理者	株式会社フクシ・エンタープライズ				歳入	161,899	体育館利用者数	人	21,156	20,916	20,640	18,599	90%																	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	12,122,100	テニスコート利用者数	人	6,471	5,840	5,771	7,036	122%																	
実施事業概要	・施設貸出(一般利用) ・スポーツ教室の開催				前年度実支出額	▲16,250,358	屋内運動場利用者数	人	6,157	5,922	5,087	4,902	96%																	
					前年度からの実支出増減額	28,372,458	プール利用者数	人	4,280	4,610	4,548	###																		
				支出	13,237,526	利用者評価																								
				収入	13,702,376	(1) 良好とする評価 意見なし																								
				自主事業支出	360,000	(2) 苦情・改善等の要望事項 意見なし																								
自主事業収入	545,200																													
損益	650,050																													
昨年度実績	490,100																													
担当課	スポーツ課																													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			62																								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由																								
施設の有効活用	3	12				・「地域連携」については、市内からの雇用(83%)や物品購入等を積極的に行ったため評価を「4」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルスの影響のある中、年度計画額に対し支出の抑制を図り、自主事業では赤字となった点を評価した。 ・「危機管理体制」については、コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成し、受付の感染予防対策として、手指消毒、感染防止の注意喚起を徹底したことを評価した。																								
利用者評価	3	6									次年度の目標・取組み等 ・施設の利用をPRし、利用者に身近で使いやすい施設を目指すとともに、サービスの向上を図りより一層の利用者の増加につなげる。 ・アンケート調査等により利用者の声をより多く確認する。																			
事業収支	3	6														指定管理者 自己評価 B														
管理運営全般	3	12																												
危機管理体制	3	12																												
地域連携	4	8																												

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況																							
施設名	市民プール(城山、犀南、北部、安茂里)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比																	
	施設数	4	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	30,670,000	プール利用者計	人	36,877	30,929	24,086	12,435	52%																
指定管理者	シンコースポーツ株式会社				歳入	8,481,882	城山市民プール	人	1,266	12,280	8,826	4,867	55%																	
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日(4年間)				実支出額	22,188,118	北部市民プール	人	5,538	6,664	5,549	2,591	47%																	
実施事業概要	・一般利用 ・自主事業(水泳教室等)				前年度実支出額	▲35,332,459	犀南市民プール	人	3,728	4,797	3,709	2,299	62%																	
					前年度からの実支出増減額	57,520,577	安茂里市民プール	人	6,980	6,345	5,426	2,678	49%																	
				支出	31,828,216	利用者評価																								
				収入	31,828,216	(1) 良好とする評価																								
				自主事業支出	312,612	・アンケート結果から、接客対応が、とても良い、良いを含め79%、総合的満足度が、とても良い、良いを含め82.7%となっており、利用者の評価がとても高い。 ・施設は古いがよく管理していると思う。スタッフがとても丁寧で安心して利用できる。(北部) ・屋外プールなのに水が澄んでいてびっくりした。(安茂里) ・水が透き通っていきやすい。(犀南)																								
自主事業収入	367,500	(2) 苦情・改善等の要望事項																												
損益	54,888	・浮き輪の空気入れを新しくしてほしい。(城山) ・更衣室に蚊が多いので、対策してほしい。(北部) ・プールに虫が多い(犀南) ・レンタル用の浮き輪とビート板の数を増やしてほしい。(安茂里)																												
昨年度実績	▲1,215,256																													
担当課	スポーツ課																													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			64																								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由																								
施設の有効活用	3	12				・「施設の有効活用」について、全ての施設で前年度の利用者を下回る結果となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による営業日の短縮、天候の影響によるもので外的要因が大きいため「3」とした。 ・「利用者評価」については、利用者アンケートの結果から、非常に良好な評価がされた。また、利用者の苦情及び要望に対し、改善が図られているため、評価を「4」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の減少に伴い利用料金収入が減少したものの、光熱水費等の支出を抑え、事業の損失を最小限に留めた点を評価し「3」とした。 ・「危機管理体制」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」について、対策マニュアルを作成し、受付において手指消毒・施設内の1時間毎の消毒・注意喚起を徹底した。 ・「地域連携」について、職員数49名の市内内在住者が44名おり、市内雇用率が90%と高い雇用率となっている。また、修繕工事等の施工に当たり市内業者を採用したため評価を「4」とした。																								
利用者評価	4	8									次年度の目標・取組み等 ・利用者の安全を第一に考えた施設運営。 ・利用者の利便性の向上。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を引き続き実施していく。																			
事業収支	3	6														指定管理者 自己評価 B														
管理運営全般	3	12																												
危機管理体制	3	12																												
地域連携	4	8																												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況														
施設名	青垣公園市民プール			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	1	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	12,395,000	青垣公園市民プール利用者数	人	24,917	20,401	19,335	8,700	45%							
指定管理者	株式会社フクシ・エンタープライズ				歳入	2,577,674														
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日(4年間)				実支出額	9,817,326														
実施事業概要	施設貸出(一般利用)				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲12,085,541													
						前年度からの実支出増減額	21,902,867													
				支出		14,205,952	利用者評価													
				収入		14,205,952	(1) 良好とする評価 ①すべり台、ウォータースライダーが楽しかった ②安全対策もしてキレイで子どもと楽しく過ごせた ③スタッフが親切、また来たい													
				自主事業支出		42,249	(2) 苦情・改善等の要望事項 ①トイレが汚い ②期間が短い ③喫煙所を設けてほしい ④ベイベイが使えるようにしてほしい													
自主事業収入	119,695																			
損益	77,446																			
昨年度実績	602,403																			
担当課	スポーツ課																			
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66															
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由														
施設の有効活用	3	12				・「利用者評価」について、アンケート結果及び現地モニタリング結果が良好であったため「4」とした。 ・「事業収支」については、新型コロナウイルスの影響のある中、年度計画額に対し支出の抑制を図り、自主事業では黒字となった点を評価した。 ・「危機管理体制」について、新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成し、人の流れを制御するため、受付の職員を大幅に増員して対応し、感染防止の注意喚起を徹底したため、評価を「4」とした。														
利用者評価	4	8									次年度の目標・取組み等 ・施設の魅力をPRし、認知度を上げ利用者に身近な施設を目指すとともに、サービスの向上を図りより一層の利用者の増加につなげる。 ・アンケート調査等により利用者の声をより多く確認する。									
事業収支	3	6														指定管理者自己評価 A				
管理運営全般	3	12																		
危機管理体制	4	16																		
地域連携	3	6																		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況														
施設名	若穂多目的広場			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比							
	施設数	1	利用料金/代行制 代行制		歳出	100,000	グライダー訓練	人	1,518	1,075	1,197	1,608	134%							
指定管理者	公益社団法人長野グライダー協会				歳入	0	グライダー教室	人	119	0	83	0	0%							
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	100,000	その他訓練等	人	3,853	1,072	1,366	644	47%							
実施事業概要	・グライダー操縦訓練 ・施設の貸出し ・各種イベントの開催				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲100,000													
						前年度からの実支出増減額	200,000													
				支出		215,064	利用者評価													
				収入		0	(1) 良好とする評価													
				自主事業支出		0	0													
自主事業収入	0	0																		
損益	▲215,064	(2) 苦情・改善等の要望事項																		
昨年度実績	▲388,212																			
担当課	スポーツ課																			
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64															
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由														
施設の有効活用	3	12				・「施設の有効活用」について、グライダー飛行に限らず、各種訓練等にも利用されている。また、除草作業等を行い施設の環境改善に努め、利用者の利便性の向上を図った。 ・「管理運営全般」については、グライダー飛行の専門的な知識を活かし、安全かつ適切に施設を維持管理できている。 ・「危機管理体制」については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用者に対し非接触型体温計での検温、手指の消毒、マスク着用をお願いし、感染対策を積極的に実施した。														
利用者評価	3	6									次年度の目標・取組み等 ・安全対策及び施設の維持管理の徹底を図る。 ・グライダーでの利用以外にも、施設の目的に合った利用要望が申請された場合は積極的に受け入れ、施設の有効利用を促進する。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施していく。									
事業収支	3	6														指定管理者自己評価 A				
管理運営全般	3	12																		
危機管理体制	3	12																		
地域連携	5	10																		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	一般社団法人長野市開発公社			歳入	972,014	利用件数	件	929	1,259	807	687	85%
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)			実支出額	103,839,986							
実施事業概要	施設管理及び貸出			令和2年度指定管理者収支	支出	112,771,540	利用者評価					
				収入	110,911,600	(1) 良好とする評価 スタッフの対応がすごくよかった						
				自主事業支出	4,222,197	(2) 苦情・改善等の要望事項 ゴールの変形があった						
				自主事業収入	6,301,787							
				損益	219,650							
担当課	スポーツ課			昨年度実績	340,418							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62	評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型								
施設の有効活用	3	12										
利用者評価	3	6										
事業収支	3	6										
管理運営全般	3	12										
危機管理体制	3	12										
地域連携	4	8										
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「7 地域連携」について、雇用17人をすべて長野市内採用とし、地域雇用に寄与していることを評価し、評価を「4」とした。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生のコンディションをより良いものに保持しつつ、多くのプレイヤーに天然芝グラウンドでのプレーを楽しんでもらうことができるよう、引き続き効率的で繊細な施設管理をお願いしたい。</li> <li>・利用者アンケートの回収数が少ないので、多くの御意見を吸い上げるため依頼方法を工夫していただきたい。</li> </ul>						
						B						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	日本水泳振興会・NTTファシリティーズ共同事業体			歳入	357,371	浴場	人	815	5,181	6,927	3,506	51%
指定期間	平成30年11月1日～令和4年3月31日(4年3箇月間)			実支出額	152,012,172	トレーニング	人	1,073	13,703	11,860	5,804	49%
実施事業概要	健康レクリエーションセンター、リサイクルプラザの管理運営			令和2年度指定管理者収支	支出	238,506,053	利用者評価					
				収入	231,249,473	(1) 良好とする評価 接客対応が良い 1票 ・楽しかった 3票 全体的にとっても綺麗 1票 ・サービスが充実している 1票 お客さんへの対応が良い。2票 ・少し高いですがサービスが充実しているので許せる。子供が楽しめてうれしい。						
				自主事業支出	28,777,602	(2) 苦情・改善等の要望事項 料金が高い 2票 ・プール内での撮影禁止を徹底してほしい 3票 清掃が行き届いていない 4票 ・プールの水温が低い 3票 キャッシュレス決済を導入してほしい 1票 ・入れ墨の人の入浴を禁止してほしい 3票						
				自主事業収入	32,102,669							
				損益	▲ 3,931,513							
担当課	スポーツ課			昨年度実績	▲ 2,824,518							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68	評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出1型								
施設の有効活用	3	12										
利用者評価	4	8										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	6										
危機管理体制	4	16										
地域連携	4	8										
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3 利用者評価」について、233件のアンケートを回収したうち「施設・環境(設備・清潔感)」と「接客態度」の項目で「満足」「やや満足」が約8割と高い水準であるため「4」と評価した。(健康レクリエーションセンター)</li> <li>・「4 事業収支」について、新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言により、事業を休止したが、事業再開後は感染対策の徹底を図ることにより、安定的に事業が実施されたことにより、収支が昨年度より改善されたことを評価した。(リサイクルプラザ)</li> <li>また、健康レクリエーションセンターについては、年度計画額に対し支出の抑制を図り、自主事業では赤字となった点を評価した。</li> <li>・「6 危機管理」において、「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」については、受付の感染予防対策として手指消毒・注意喚起の徹底や、キャッシュレス決済を積極的に導入したことを評価した。また、入場者数を制限し館内が密状態になることを防止し、利用者が安心して利用できる環境としている点等を評価し「4」とした。</li> <li>・「7 地域連携」について、地元雇用率が89%と高い水準で維持されており、地域雇用の受け皿となっている点、地域との良好な協関係を築いていることを評価し「4」とした。(共通)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>【健康レクリエーションセンター】新型コロナウイルス感染症の影響による入場者数の減少に伴い利用料収入も減少している。感染症対策を万全とした上で、支出を抑制しながら人を呼べる企画やサービスを充実させ、収入の安定を図る。</li> <li>【リサイクルプラザ】リサイクルプラザの収支において、新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言により事業を休止したが、事業再開後は感染対策の徹底を図ることにより、安定的に事業が実施されたことにより収支が前年度より改善されたことを評価した。新規オープンによる集客効果が一巡し、新型コロナウイルス感染症対策によるイベント自粛等による利用者数の減少への対応及び新たな利用者の獲得につながる事業の提案、検討を期待する。</li> </ul>						
						C						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
					市民農園(小森、青池、松代東条、安庭)	4				歳出	2,031,865	小森市民農園	区画
					歳入	0	青池市民農園	区画	18	18	16	18	113%
指定管理者	一般社団法人長野市農業公社				実支出額	2,031,865	松代東条市民農園	区画	28	29	24	25	104%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				前年度実支出額	▲ 2,123,024	安庭市民農園	区画	30	27	22	19	86%
					前年度からの実支出増減額	4,154,889							
実施事業概要	農園を利用した野菜作り			令和2年度指定管理者収支	支出	1,724,732	利用者評価						
					収入	1,704,550	(1) 良好とする評価 ・「楽しく農園活動ができた」、「楽しんで野菜づくりが体験できていい」等概ね良好な意見であった。						
					自主事業支出	0	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設の経年劣化による改修要望 ・農具の破損等による補充要望						
					自主事業収入	33,000							
					損益	12,818							
担当課	農業政策課				昨年度実績	▲ 2,979							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型									
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	8											
事業収支	3	6											
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6			次年度の目標・取組み等								
					・引き続き利用率の向上に努める。								
					指定管理者自己評価								
					B								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
					蚊里田市民農園	1				歳出	437,240	利用区画数	区画
					歳入	0							
指定管理者	一般社団法人コミわかグリーン倶楽部				実支出額	437,240							
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				前年度実支出額	▲ 1,629,104							
					前年度からの実支出増減額	2,066,344							
実施事業概要	農園を利用した野菜づくり			令和2年度指定管理者収支	支出	653,463	利用者評価						
					収入	670,076	(1) 良好とする評価 耕作者同士の仲間づくりができており、高齢者にはサポートするなどの雰囲気がある。						
					自主事業支出	36,700	(2) 苦情・改善等の要望事項 早めの情報提供を行い、利用者から感謝された。						
					自主事業収入	38,300							
					損益	18,213							
担当課	農業政策課				昨年度実績	13,087							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		70		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型									
施設の有効活用	4	16											
利用者評価	4	8											
事業収支	4	8											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8			次年度の目標・取組み等								
					0								
					指定管理者自己評価								
					C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	戸隠体験市民農園			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	1,209,175	利用区画数	区画	66	63	65	62	95%
指定管理者	ふれあい野菜直売所				歳入	0								
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	1,209,175								
実施事業概要	農園を利用した野菜づくり				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲667,012							
						前年度からの実支出増減額	1,876,187							
				支出		440,216	利用者評価							
				収入		373,576	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出		25,000	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・イノシシ等の動物による作物被害への対策							
自主事業収入	25,000													
損益	▲66,640													
担当課	農業政策課			昨年度実績	▲33,538									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由								
施設の有効活用	3	12				従事者が地元雇用であるため、「地域連携」の評価を4とした。					指定管理者自己評価 0 C			
利用者評価	3	6										次年度の目標・取組み等		
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	4	8												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	大岡農水産物処理加工施設			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		代行制	歳出	570,450	施設利用日数	日	57	51	58	56
指定管理者	大岡農村女性ネットワーク				歳入	0	施設利用人数(延べ)	人	240	236	294	360	122%
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	570,450							
実施事業概要	農水産物の加工				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲570,450						
						前年度からの実支出増減額	1,140,900						
				支出		749,838	利用者評価						
				収入		655,782	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出		0	(2) 苦情・改善等の要望事項 施設運営についての苦情を受けたことはない。						
自主事業収入	33,000												
損益	▲61,056												
担当課	農業政策課			昨年度実績	23,339								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型		評価理由							
施設の有効活用	3	12				・味噌の原材料となる大豆栽培を推奨するなど地産地消を地域全体で取り組んでいる。 ・令和元年度に比べ、延べ施設利用人数が増加した。					指定管理者自己評価 0 C		
利用者評価	3	6										次年度の目標・取組み等	
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											
						引き続き施設の適正管理を行い、積極的に活動することにより食文化の継承に寄与する。							

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	信州新町農産物加工施設			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		利用料金制	歳出	0	施設利用日数	日	96	101	85	72	85%
指定管理者	味噌製造加工グループ				歳入	0	施設利用団体(延べ)	組	96	101	89	103	116%	
指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日(5年間)				実支出額	0								
実施事業概要	農産物の加工				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	0	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 おいしいみそができた高い評判を得ている。 (2) 苦情・改善等の要望事項 なし。						
						前年度からの実支出増減額	0							
				支出		436,652								
				収入		383,085								
				自主事業支出		8,657								
自主事業収入	0													
損益	▲ 62,224													
昨年度実績	▲ 75,301													
担当課	農業政策課													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62	<b>評価理由</b> 収支状況は昨年より減少しているが、利用件数が令和元年度に比べ増加した。また、地元産材料を使用したり、小学校との共同で大豆を栽培するなど地域と連携することを重点に置き活動している。								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型										
施設の有効活用	3	12				<b>次年度の目標・取組み等</b> <取組> ・小学生との大豆と味噌づくりを行う。 ・西山大豆フェアで味噌仕込みを実施する。								
利用者評価	3	6									指定管理者 自己評価 C			
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	12												
地域連携	4	8												

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	信州新町めん羊繁殖センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	1,488,931	めん羊の飼養頭数(延べ)	頭	41,055	39,468	41,575	32,967
指定管理者	信州新町肉めん羊生産組合				歳入	0							
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日(5年間)				実支出額	1,488,931							
実施事業概要	めん羊の分娩、飼養、放牧を行う				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲ 772,303	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ・めん羊の個体別にきめ細かな管理を行っており、特に子めん羊については、出荷時期に良質で重量もとれる個体となるよう、徹底した飼育管理を行っている。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・特になし					
						前年度からの実支出増減額	2,261,234						
				支出		416,434							
				収入		329,672							
				自主事業支出		0							
自主事業収入	0												
損益	▲ 86,762												
昨年度実績	▲ 181,144												
担当課	農業政策課												
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		60	<b>評価理由</b> ・信州新町肉めん羊生産組合は、当施設について長年の管理実績があり、分娩時のリスク軽減などの技術的なノウハウも豊富である。また、家畜伝染病への防疫対策として、駆虫を計画的に実施するなど安心できる管理を行っている。							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型									
施設の有効活用	3	12				<b>次年度の目標・取組み等</b> ・老朽化に伴う改修の必要な箇所を把握し、必要に応じて改修の計画をする。							
利用者評価	3	6									指定管理者 自己評価 D		
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	市営駐車場(長野駅東口地下、長野駅善光寺口、長野駅東口)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	3	利用料金/代行制		代行制	歳出	115,374,667	長野駅東口地下駐車場(時間制・定期)	円	105,349,890	107,601,310	103,112,500	62,251,190
指定管理者	アマノマネジメントサービス株式会社				歳入	73,179,720	長野駅善光寺口駐車場(時間制)	円	4,711,800	4,726,450	4,408,000	3,155,450	72%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	42,194,947	長野駅東口駐車場(時間制)	円	10,933,850	11,023,050	10,923,550	6,669,000	61%
実施事業概要	駐車場事業				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	31,068,071	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 アンケートによる「大変良い・やや良い」の割合 ・使いやすさ 78% ・防犯性、安心性 79% ・案内表示等の見易さ 69% ・駐車場の清潔さ 84% ・常駐係員の対応 58% (2) 苦情・改善等の要望事項 ・駐車スペースを広げてほしい。3台入る区画は狭く感じることもある。 ・地上駐車場と地下駐車場の入口を分けてほしい。 ・地下と地上の歩行通路が分かりづらい。 ・エレベータが混み合う。もう1基作ってほしい。					
						前年度からの実支出増減額	11,126,876						
				支出		64,890,730							
				収入		68,041,178							
				自主事業支出		132,546							
自主事業収入	0												
損益	3,017,902												
当課	監理課			昨年度実績	1,145,825								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		74								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	基盤型		評価理由							
施設の有効活用	3	6				・AEDの設置や車いすの無料貸し出し、雨天時の傘の無料貸し出しなどの自主事業を行っており評価できる。 ・施設内の案内表示に英語表記を追加した。 ・使用料収入については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、前年比61%となった。 ・3月にアンケート調査を行ったが、回答数19件であったが、概ね良好な回答であった。 これらのことを総合的に判断し、上記のとおり評価した。							
利用者評価	4	8											
事業収支	4	16											
管理運営全般	4	16											
危機管理体制	4	16											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価		
AED設置や車いす無料貸し出し、雨天時傘の貸し出しなどの、より分かりやすい案内を行う。						B							

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	市営住宅56、特定公共賃貸住宅6、定住促進住宅30、厚生住宅14			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	106	利用料金/代行制		代行制	歳出	119,864,589	市営住宅	戸	2,560	2,494	2,439	2,298	94%
指定管理者	長野県住宅供給公社				歳入	632,542,381	特定公共賃貸住宅	戸	30	31	31	30	97%	
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	▲512,677,792	定住促進住宅	戸	24	23	23	28	122%	
実施事業概要	・入居者募集 ・入退居及び各種手続き業務 ・入居者及び住宅管理 ・設備の保守 ・駐車場使用に関する業務 ・収入調査 ・家賃及び駐車場使用料等徴収業務 ・住宅管理システム入力業務 等				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	531,422,485	厚生住宅	戸	12	12	12	12	100%
						前年度からの実支出増減額	▲1,044,100,277	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ・入居申込み時の休日の窓口開設が便利。 ・市住、県住の受付窓口が同じ場所で、申込者にとっては両方の話を聞きながら申込みが出来、選択肢が広がる。 ・市住、県住の収入基準を超過している者に対しては、公社賃貸住宅への住み替えについての相談に応じることが可能。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・新型コロナに関連し、入居申込などについて、郵送提出を要望する声があった。						
				支出		121,723,193								
				収入		119,864,589								
				自主事業支出		0								
自主事業収入	0													
損益	▲1,858,604													
当課	住宅課			昨年度実績	▲361,892									
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		68									
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	基盤型		評価理由								
施設の有効活用	4	8				・「2 施設の有効活用」「3 利用者評価」については、窓口の開設時間を通常時で17時15分、電話対応は18時までとし、入居者募集期間中は窓口開設を19時まで延長するとともに、休日も10時から16時まで開設することにより、入居者及び入居希望者に対するサービスの維持・向上を図る運営が継続され、サービスの向上として既に定着していることから、評価を「4」とした。また、自主事業として、「市営住宅だより」を継続的に年2回発行し、収入申告の提出、家賃決定通知の機会に合わせて全戸配布し、情報発信に努めている。 ・「5 管理運営全般」については、適切な施設管理はもとより、増加しつつある単身高齢者世帯に対する住宅監視員の見守りの実施など、きめ細かな対応が行われていることから、評価を「4」とした。 ・「6 危機管理体制」については、「緊急時通報マニュアル」に示した「長野市へ通報する内容の基準」をもとに適切な対応が行われている。								
利用者評価	4	8												
事業収支	3	12												
管理運営全般	4	16												
危機管理体制	3	12												
地域連携	3	6												
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価			
家賃及び駐車場使用料の滞納者の長期化・高額化を避けるため、滞納の早期段階における解消を目指し、初期段階からの滞納者の状況を把握しながら納入指導等を引き続き実施することにより収納率の向上を図る。直接業務に携わっている公社住宅監視員と市の担当者で頻りに打合せの場を設け、個別に滞納の状況、原因を確認しながら協力して指導に当たる。滞納の長期化・高額化する恐れがある者に対しては、公社と連携し、早めに来社要請等を行いながら面談を実施していくとともに、場合によっては明渡訴訟も視野に入れながら指導に当たる。						B								



施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況				
施設名	事業収支(単位:円)			利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	項目	令和2年度	令和2年度							
総合公園(城山公園、川中島古戦場史跡公園、昭和の森公園)、地区公園(青垣公園、若穂中央公園)、南長野運動公園、風致公園(地附山公園)、都市緑地(市場緑地)	施設数	8	利用料金/代行制	歳出	130,334,000					
	指定管理者	特定非営利活動法人 長野市環境緑化協会		歳入	0					
指定期間	平成29年4月1日~令和4年3月31日(5年間)			実支出額	130,334,000					
実施事業概要	樹木等植栽管理、一般施設の維持管理、清掃・除雪、巡視・点検	令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲131,000,000	利用者評価 (1) 良好とする評価 自主事業における参加者アンケートにおいて、次の意見が多かった。 ①説明がわかりやすく大変勉強になった。 ②専門家から実践を踏まえ指導を受けることができてよかった。 ③初心者にも理解しやすく、道具の使い方・手入れの仕方等も教えてもらえてよかった、など。 (2) 苦情・改善等の要望事項 自主事業における参加者アンケートにおいて、次の意見があった。 ①参加者一人ひとりに個別指導をしてもらいたい。 ②講習の時間が短いと感じた。 ③もっと実技に時間を割いてほしい、など					
			前年度からの実支出増減額	261,334,000						
			支出	131,621,732						
			収入	131,635,697						
			自主事業支出	56,055						
自主事業収入	11,600									
損益	▲30,490									
昨年度実績	649									
担当課	公園緑地課			総合評価(100点満点)						
評価区分	評価	点数	施設分類		60					
指定管理者の健全性	3	6	基盤型							
施設の有効活用	3	6								
利用者評価	3	6								
事業収支	3	12								
管理運営全般	3	12								
危機管理体制	3	12								
地域連携	3	6								
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価						
基本協定において「公園利用者のサービスの維持及び向上に努めなければならない」とされていることから、利用者からの意見等を把握するための対応を講じていただきたい。 各公園において利用者からの意見・要望等を適時把握することで、より一層の利用者満足につながる日常管理や自主事業を展開できるのではないかと考えます。				C						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況						
施設名	事業収支(単位:円)			利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比		
	項目	令和2年度	令和2年度									
篠ノ井中央公園、茶臼山自然植物園、茶臼山公園(植物園口駐車場)	施設数	3	利用料金/代行制	歳出	47,460,000	篠ノ井中央公園	人	64,817	63,990	58,952	52,197	89%
	指定管理者	一般財団法人 ながの緑育協会		歳入	0	茶臼山自然植物園	人	22,269	19,302	25,526	24,592	96%
指定期間	平成28年4月1日~令和3年3月31日(5年間)			実支出額	47,460,000							
実施事業概要	管理棟、トイレ棟、遊具、四阿、駐車場、施設及び設備の維持管理に関する業務及び市が必要と認める業務	令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲45,000,000	利用者評価 (1) 良好とする評価 【篠中・茶臼 共通】・篠ノ井中央公園の園内に開花情報が掲示されていて良かった。・花壇や植栽帯がきれいなので、自宅の外構の参考にしたい。・子連れで良く遊びに来ているが、年代(幼児~中学まで)幅広く過ごせるのが良い。・以前より親子で遊ぶ姿が多く見られて雰囲気が良い。・木や草花で癒される。【各種講習会、園芸教室等】・初めてで難しかったが、先生やスタッフの方が親切に教えてくれた。・受講料が安くとても満足した。・次回受講したい。・キャンセルや、リースなど、季節のものが楽しめた。・材料が公園のものというのがとても良かった。・定期的に開催してほしい。・春だけでなく、季節ごとに寄せ植えづくりを開催してほしい。・感染対策がしっかりされていて安心した。・午前、午後の部と分けたことにより、少人数の受講で良かった。・庭造り講習、出張庭チェックをしてほしい。・ハーブ、調理(薬膳)について学びたい。 (2) 苦情・改善等の要望事項 【篠中】・公園に風よけになるような休憩スペースがあるとよい。・公園に日影がほしい(犬も休めるような)・お茶を飲めるコーナーがほしい。・公園の駐車場に公園利用とは関係ない自動車が多まっている。・ふわふわドームはいつから利用できるのか(電話等の問い合わせ多数)。 【茶臼】・ホームページで茶臼山自然植物園のアスレチック遊具が使用不可となっているのを見たが、修繕の計画情報も掲載してほしい。・使用禁止になっているアスレチック遊具を早く修理してほしい。・茶臼山自然植物園にも開花情報を掲示してほしい。 【共通】・花のネームプレートをつけてほしい。・子どもと来るので、手洗い場に石けんがあったらうれしい。							
			前年度からの実支出増減額	92,460,000								
			支出	48,915,257								
			収入	48,779,667								
			自主事業支出	233,571								
自主事業収入	217,900											
損益	▲151,261											
昨年度実績	635,084											
担当課	公園緑地課			総合評価(100点満点)								
評価区分	評価	点数	施設分類		66							
指定管理者の健全性	3	6	レクリエーション型									
施設の有効活用	4	16										
利用者評価	4	16										
事業収支	3	12										
管理運営全般	3	6										
危機管理体制	3	6										
地域連携	2	4										
次年度の目標・取組み等				指定管理者自己評価								
令和2年度試行的に行った植栽管理の範囲について、実績を基に再検討し、重点的に維持管理を行う範囲を絞り込み、施設の管理水準の向上に努める。 ・園内の花壇や植栽を活用した実践形式の講習会やワークショップの開催、ボランティア会員の活動支援等を引き続き行い、施設の維持管理と緑育活動を一体的に行う公園の管理・運営を目指す。また、令和2年度に始動したコミュニティーガーデンの充実を図る。 ・引き続きインターネットやメディアを活用し、施設の情報発信、PR活動を行う他、長野県SDGsへの登録やグリーンインフラへの登録等、新たな取り組みを行い全国へ向けた活動のPRと、更なるながの緑育協会の知名度の向上を図る。				C								

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	茶臼山公園(植物園口駐車場を除く)、茶臼山動物園城山分園、茶臼山自然植物園(恐龍公園)、茶臼山マレットゴルフ場			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	4	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	396,865,605	茶臼山動物園入園者数	人	214,161	221,720	201,444	171,062	85%
指定管理者	一般社団法人長野市開発公社				歳入	13,550	城山分園入園者数	人	265,814	268,749	256,535	169,029	66%
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)				実支出額	396,852,055	茶臼山マレットゴルフ場利用者数	人	5,492	4,651	4,457	4,611	103%
実施事業概要	・動物の飼育、展示、イベント、調査研究 ・遊具の利用 ・売店の運営(食料品、玩具等の販売)、自動販売機(飲料)の設置 ・施設の維持管理及び用具の貸出				前年度実支出額	▲396,131,061	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 【茶臼山】・サマーナイトZOOのイルミネーションが凝っていて良い・夜行性の動物が活発に動いているところが観察出来て良い・様々なアイデアで展示をしていて良い・珍しい動物を見ることが出来て良い 【城山】これから長く愛されると思う・無料で見学できることは素晴らしい・色々な動物がいて面白い 【マレット】きれいに整備されていて気持ち良い・眺めが良い・受付の方が親切 (2) 苦情・改善等の要望事項 【茶臼山】サマーナイトZOO期間のイベントが少なく残念だった 【城山】遊具が古く安全かどうか不安 【マレット】雪がなければ12月まで営業してほしい						
					前年度からの実支出増減額	792,983,116							
				支出	468,779,734								
				収入	469,491,264								
				自主事業支出	25,310,259								
自主事業収入	25,681,072												
損益	1,082,343												
昨年度実績	▲8,755,401												
担当課	公園緑地課			総合評価(100点満点)		68							
評価区分	評価	点数	施設分類	レクリエーション型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			<b>【動物園】</b> ・多くのイベントを新型コロナウイルス感染防止のため中止せざるを得ない中で、ホームページやSNSでの情報発信し、来園者にコロナ禍でも楽しんでもらえるサービスを提供し、高評価の意見が多いことから、「利用者評価」は4とした。 ・新型コロナウイルス影響により利用料金収入減少で収支悪化・指定管理料補填が必要となる見込みの中で、委託・修繕等に係る費用の一部を職員が直接実施する事で支出を抑え、最終的に利用者数は減少したものの、収支をプラスに転換したことを評価し、「事業収支」は4とした。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	4	16											
管理運営全般	3	6											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
				次年度の目標・取組み等		<b>【施設共通】</b> ・新型コロナウイルス感染状況の動向を踏まえ、安全対策を継続しながらイベント等を実施すること。 <b>【茶臼山】</b> ・施設再整備を行う中で安全管理や新型コロナウイルス対策に努めながらアムールトラやチンパンジーなど希少な動物の充実を図り、来園者の増加に向けて積極的な広報活動に取り組むこと。 <b>【城山】</b> ・開園60周年事業としての取り組みを有効活用し、誘客に取り組むこと。 <b>【マレット】</b> ・引き続き利用者増加に向けて取り組むこと。							
				指定管理者自己評価							C		

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	権堂イーストプラザ市民交流センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	16,796,496	コミュニティルーム1	人	7,924	5,473	5,390	2,492	46%
指定管理者	株式会社まちづくり長野				歳入	950,548	コミュニティルーム2	人	9,525	6,730	6,746	2,142	32%
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	15,845,948	多目的スペース	人	49,303	58,540	57,184	37,523	66%
実施事業概要	・センターの利用の許可に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務				前年度実支出額	▲34,741,573	市民交流広場	件	431	629	374	478	128%
					前年度からの実支出増減額	50,587,521	<b>利用者評価</b> (1) 良好とする評価 ・申請をメールにてご対応頂きありがとうございます。 ・いつも親切にご対応頂きありがとうございます。丁寧にして頂いてありがとうございます。 ・雨の日でも適切なご対応に感謝します。とても気持ちよくすごせました。とても静かでした。 ・お客様から来場しやすいとお声を多数いただきました。ありがとうございました。(利用者アンケート等による原文のまま) (2) 苦情・改善等の要望事項 ・備品・設備・サービスの追加要望(5件) ・備品・設備の不具合報告(1件) ・利用者のマナーに関する要望(1件) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への要望(3件) ・スタッフの対応に関する要望(1件) ・その他(5件)						
				支出	15,449,969								
				収入	15,251,390								
				自主事業支出	52,727								
自主事業収入	124,190												
損益	▲127,116												
昨年度実績	746,729												
担当課	市街地整備課			総合評価(100点満点)		60							
評価区分	評価	点数	施設分類	施設貸出2型		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響から、施設の利用者数及び稼働率が減少し、中止となった自主事業もあったが、感染症対策を講じた施設運営と自主事業の開催により、施設の役割を果たせたことから「施設の有効活用」は「3」とした。 ・施設の美化、キッズスペースの充実、SNSを通じた情報発信等、利用者ニーズに合わせた施設づくりを行っており、利用者アンケート等による施設満足度が高いことから「利用者評価」は「4」とした。 ・貸館の利用手続きについて、利用者からの市に対する要望の報告が遅れた。利用手続きの改善を速やかに講じたが、利用者に迷惑をかけた事案があったことから「管理運営全般」は「2」とした。 ・地元地区のイベントとの協働や地元商店主を講師とした自主事業の開催等、施設の立地条件に対応した地域連携の企画運営を行っていることから「地域連携」は「4」とした。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	8											
事業収支	3	6											
管理運営全般	2	8											
危機管理体制	3	12											
地域連携	4	8											
				次年度の目標・取組み等		・施設稼働率の向上。 ・新しい生活様式を取り入れた感染症の予防対策。 ・幅広い層が参加できる自主事業の開催。 ・地域と連携した事業の開催。							
				指定管理者自己評価							D		

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	少年科学センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	34,807,505	幼児	人	31,968	32,527	27,772	11,803
指定管理者	株式会社オーエンス				歳入	657,238	小・中学生	人	27,797	27,194	25,344	9,492	37%
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	34,150,267	高校生	人	934	965	997	505	51%
実施事業概要	・センターの入館の受付等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務				前年度実支出額	▲ 35,499,796	一般	人	48,420	48,996	44,960	18,682	42%
					前年度からの実支出増減額	69,650,063	計	人	109,119	109,682	99,073	40,482	41%
				支出	38,060,193	利用者評価							
				収入	37,621,081	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	568,804	・いつも楽しい工作やショー、かがくあそびをありがとうございます。老化や指定管理という大変かと思いが、感謝しています。 ・ありがとうございます。楽しかったです。1時間に1回除菌していますなど、わかりやすかったと思います。 ・古い装置でもいつもちゃんと使えて感心しています。子どもはとも楽しんでいます。 ・10年以上ぶりに来館しました。楽しかったです。							
自主事業収入	1,007,916	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	0	・故障展示物の復旧、新規展示物の導入、展示装置の更新 等(7件) ・中止している遊具利用・事業の再開(5件) ほか要望・不満7件											
昨年度実績	466,510												
担当課	家庭・地域学びの課												
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型	評価理由								
施設の有効活用	3	12			「3 利用者評価」について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止のイベントが相次ぐ中、利用者アンケートからは昨年度同様の満足度を得ている。また、感染症対策についても利用やアンケートを実施しており、77%の利用者が「不安がなかった」と回答しており、利用者からの評価は高評価であると言えるため、評価を4とした。 「4 事業収支」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金や自主事業の収入が大幅に落ち込んでいる。他方、人件費や設備管理費、備品購入費等の支出項目から経費削減を実施し、年度計画額と比較して約4,000千円の支出削減に努めた。以上の理由より、評価を4とした。								
利用者評価	4	16											
事業収支	4	8											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
				次年度の目標・取組み等									
				・リニューアル休館前の最終年度として、市民の思い出に残るような施設運営を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、感染状況を見ながら休止しているイベントや展示物の再開についても検討していく。									
				指定管理者自己評価 C									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	青少年錬成センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	20,161,200	幼児	人	421	520	494	144
指定管理者	株式会社オーエンス				歳入	13,557	小学生	人	5,001	5,696	4,065	970	24%
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)				実支出額	20,147,643	中学生	人	665	439	674	122	18%
実施事業概要	・センターの受付予約等に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務(企画事業)				前年度実支出額	▲ 21,871,075	高校生	人	2,044	1,490	928	55	6%
					前年度からの実支出増減額	42,018,718	一般・引率	人	8,316	8,605	6,003	1,283	21%
				支出	21,739,545	利用者評価							
				収入	21,600,768	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	2,100	・自然に囲まれる素晴らしい環境の中で気持ち良く過ごせた。 ・コロナ対策がしっかりされていた。							
自主事業収入	7,710	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	▲ 133,167	・非常に暑くて寝苦しかった。 ・蜘蛛や蜂が怖かった。											
昨年度実績	▲ 2,919,585												
担当課	家庭・地域学びの課												
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62								
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型	評価理由								
施設の有効活用	3	12			「4 事業収支」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金や自主事業の収入が大幅に落ち込んでいる。他方、人件費や事業費、備品購入費等の支出項目から経費削減を実施し、年度計画額と比較して約10,040千円の支出削減に努めた。以上の理由より、評価を4とした。								
利用者評価	3	12											
事業収支	4	8											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
				次年度の目標・取組み等									
				・新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、感染状況を見ながら利用者の確保に努める。									
				指定管理者自己評価 C									

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	芋井公民館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	9,970,200	利用者数	人	4,073	4,462	3,679	1,474	40%
指定管理者	芋井地区住民自治協議会				歳入	0	利用率	%	5	6	6	5	79%	
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	9,970,200								
実施事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座の実施</li> <li>講演会</li> <li>展示会の開催</li> <li>図書等を備えその利用を図る</li> <li>貸館事業</li> </ul>				令和2年度指定管理者収支	支出	9,773,138	利用者評価						
					収入	9,951,843	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	「味噌づくり」芋井産の大豆「ひとりむすめ」を使い味噌づくりを体験した。受講人数を制限しての開催だったが、申込者が多く2回開催した。味噌は講座中には完成しないため、「出来上がり楽しみ」との会話が参加者から出るなど好評であった。								
				自主事業収入	0	「エコクラフト手芸講座」人気の講座で募集定員を大幅に超える申し込みがあった。地区外の方や新規受講者が多くいた。後日補習にきた参加者もいるなど好評であった。								
				損益	178,705	「コースター作り講座」旧上ヶ屋高札場の解体材料を使い、小学生と地域の方と一緒にコースターづくりを行った。歴史ある材料を使い、地域の建物について学びながら作品をつくることに感動した参加者が多く好評であった。								
担当課	家庭・地域学びの課			令和2年度指定管理者収支	損益	178,705	(2) 苦情・改善等の要望事項							
					昨年度実績	8,077	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、利用者に利用後消毒を依頼しているが、使用后消毒をしていない団体があるとの苦情をいただいた。</li> <li>ストーブのスイッチが切れない。</li> </ul>							
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型										
施設の有効活用	3	12												
利用者評価	4	16												
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	6												
地域連携	4	8												
							次年度の目標・取組み等			指定管理者自己評価				
							<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。</li> <li>ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。</li> <li>住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。</li> </ul>				C			

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況								
施設名	信更公民館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	12,241,000	利用者数	人	4,685	5,167	4,470	2,545	57%
指定管理者	信更地区住民自治協議会				歳入	0	利用率	%	14	14	11	6	55%	
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	12,241,000	分室利用者数	人	769	902	902	24	3%	
実施事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座の実施</li> <li>講演会</li> <li>展示会の開催</li> <li>図書等を備えその利用を図る</li> <li>貸館事業</li> </ul>				令和2年度指定管理者収支	前年度実支出額	▲12,383,040	分室利用率	%	1	1	1	0	0%
					前年度からの実支出増減額	24,624,040	利用者評価							
				支出	11,656,140	(1) 良好とする評価								
				収入	12,268,453	「菊の学園」地域に在住している方を講師とし、信更小学校の音楽会に飾る菊を児童が育てる小学校と公民館の連携事業。地元の方と児童が菊をとおして交流し、花が咲いた時の喜びと一緒に味わうことができた好評であった。								
				自主事業支出	0	「しめ縄づくり」親から子へのしめ縄づくりの伝承行事を地域の名人4名の指導を受けながら作成する講座。講師の説明もわかりやすく伝統の技を親子で協力しながら作成することができた好評であった。								
自主事業収入	0	「ふるさとウォーキング」ふるさとを歩くことでふるさとの良さを学び、ふるさとを愛する心を育む講座。当日は晴天に恵まれ気持ちの良いウォーキングができた好評であった。地域の歴史を学びながらふるさとを知る機会となったと好評であった。												
損益	612,313	(2) 苦情・改善等の要望事項												
昨年度実績	917,974	なし												
担当課	家庭・地域学びの課													
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62		評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型										
施設の有効活用	3	12												
利用者評価	3	12												
事業収支	3	6												
管理運営全般	3	12												
危機管理体制	3	6												
地域連携	4	8												
							次年度の目標・取組み等			指定管理者自己評価				
							<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。</li> <li>ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。</li> <li>住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。</li> </ul>				C			

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	更北公民館、稲里・小島田・真島分館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	4	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	24,958,772	利用者数	人	65,338	54,637	50,729	26,269	52%
指定管理者	更北地区住民自治協議会				歳入	474,508	利用率	%	35	35	33	21	64%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	24,484,264	分館(3館)利用者数	人	33,536	31,915	30,197	18,222	60%
実施事業概要	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業				前年度実支出額	▲27,552,012	分館(3館)利用率	%	19	20	20	15	75%
					前年度からの実支出増減額	52,036,276	利用者評価						
				支出	24,708,040	(1) 良好とする評価 「方丈記に学ぶ」多くの受講申し込みがあった。マスクをしながらでも音読ができよかったと好評であった。「勇気づけ勉強会」対人関係に自信が持てない、発達障害児の保護者、更生保護に携わる人、地域で人の話を聞く仕事をしている人等さまざまな立場の人が参加し延べ95人が受講し、家庭や地域で子どもや他人の弱さを受け止めるやわらかな視点を持つ良い機会となったと好評であった。「クリスマスツリー作り講座」フレッシュハーブという珍しい材料(ローズマリー)を使いリースを作成した。良い香りに包まれて楽しかったと好評であった。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・講座を受講している高齢者からマイクが反響して聞きづらい、マイクを介しての音は聞き取りづらいとの話があった。							
				収入	26,008,793								
				自主事業支出	0								
				自主事業収入	0								
損益	1,300,753												
担当課	家庭・地域学びの課			昨年度実績	35,585								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		66	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型		施設利用者は、26,269人で令和元年度50,729人と比較すると51.8%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 「方丈記に学ぶ」をはじめ、1回の講座受講者が多く、満足度も高いものとなっている。またYouTubeチャンネルを立ち上げ広く講座の様子を紹介し広報に努めたことを評価した。 【地域連携を4とした理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、発表の機会が失われた子供たちの書道展等や地域サークルの展示及びギャラリートークを公民館のロビーで開催するなど地域の活動の場を提供したことを評価した。							
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価							
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。							C						

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	若槻公民館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	16,544,044	利用者数	人	54,313	49,718	32,202	19,168	60%
指定管理者	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」				歳入	12,044	利用率	%	45	45	42	27	64%
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				実支出額	16,532,000							
実施事業概要	・成人学校の開設 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業				前年度実支出額	▲16,568,980	(1) 良好とする評価 「宮下先生の歴史講座」信州の鉄道の歴史についての座学講座。信州の歴史を学ぶ上で鉄道は欠かせない。と多くの受講者から好評であった。「福ちゃんの料理教室」講師の豊富な知識が人気の講座で、感染対策を徹底し楽しく料理を完成することができ好評であった。「親子料理教室」講師に芋井公民館長を招き恵方巻とバレンタインチョコを作った。親や祖父母、兄弟等で協力しながら作る姿が見られた。世代間交流もでき、好評であった。トイレの洗い場、洗面所の蛇口を人感センサー対応の非接触蛇口に切り替えた。利用者から好評を得た。 (2) 苦情・改善等の要望事項 なし						
					前年度からの実支出増減額	33,100,980							
				支出	16,022,262								
				収入	15,319,650								
				自主事業支出	0								
				自主事業収入	0								
損益	▲702,612												
担当課	家庭・地域学びの課			昨年度実績	446,368								
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型		・施設利用者は、19,168人で令和元年度32,202人と比較すると59.5%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 ・利用者から要望のあった講座を開催し、利用者から好評を得ている。 ・休館している時期に館内を点検し、水道の蛇口を人感センサー付きの蛇口に変更するなど新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図り、利用者から好評を得ている。							
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等						指定管理者自己評価							
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。							C						

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	川中島町公民館、分館(川中島、中津、御厨)			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	4	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	20,000,000	利用者数	人	34,173	34,624	35,236	17,393	49%
指定管理者	川中島地区住民自治協議会				歳入	150,500	利用率	%	33	31	34	24	70%
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				実支出額	19,849,500	分館(3館)利用者数	人	31,562	34,454	32,053	11,481	36%
実施事業概要	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業				前年度実支出額	▲18,430,867	分館(3館)利用率	%	19	18	20	9	47%
					前年度からの実支出増減額	38,280,367	利用者評価						
				支出	20,465,323	(1) 良好とする評価 「武田徹のハーモニカトーク講座」自粛生活を送っていた人たちにやさしいハーモニカの音色は心地よく、充実した時間を過ごすことができたという好評であった。 「古社寺に学ぶ」講師の手作り資料を使った地元の寺社建築の座学であった。参加者から現地で講義を受けたいとの熱い要望が多く好評であった。 「信大出前講座 万葉集」受講者から自粛をしていたが、学ぶ場所を提供してくれたと感謝された。講師がわかりやすく説明してくれ万葉集が身近に感じられたと好評であった。  (2) 苦情・改善等の要望事項 ・月初めの貸館抽選の方法について時間短縮してほしい。 ・御厨分館のトイレは、男女共同となっているので男女別にしてほしい。併せて洋式便座に座るとひざがドアにあたるほど狭く窮屈のため改善してほしい。							
				収入	21,122,209								
				自主事業支出	0								
自主事業収入	0												
損益	656,886												
昨年度実績	311,326												
担当課	家庭・地域学びの課			総合評価(100点満点)			64						
評価区分	評価	点数	施設分類		企画型	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			施設利用者は、17,393人で令和元年度35,236人と比較すると49.4%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 御厨分館の大会議室のカーペットを張り替えた。また、同分館のトイレは、男女共同となっており以前から別にして欲しいとの相談が利用者からあったが手がつけられずいた。今年度休館等利用者が少ないことを利用し、小便器と個室を区分するパーティションを設置し、併せて個室も狭かったためドアを移動させ若干広くした。利用者が利用しやすい施設修繕を行ったことを評価した。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価 C							
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。													

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況						
施設名	安茂里公民館			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制 一部利用料金制		歳出	19,122,015	利用者数	人	48,323	50,011	45,668	21,398	47%
指定管理者	安茂里地区住民自治協議会				歳入	1,125,595	利用率	%	57	58	58	41	71%
指定期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日(5年間)				実支出額	17,996,420	分室利用者数	人	4,555	4,482	4,073	2,253	55%
実施事業概要	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業				前年度実支出額	▲16,049,150	分室利用率	%	43	43	37	28	76%
					前年度からの実支出増減額	34,045,570	利用者評価						
				支出	17,841,488	(1) 良好とする評価 ・「楽しく歌おう愛唱歌」NHK連続テレビ小説で放送された古関裕而の歌を歌った。マスク越しで一緒に口ずさんだり、楽しい演出に笑ったり、時には感動に涙ぐむ参加者もあり好評であった。50人が受講した。「なかよし広場 クリスマス会」初めてサンタに会えた感激の声があり好評であった。「文学講座 善光寺での魂の出会い」善光寺と有名俳優の話で盛り上がった。魂の出会いに感動したとの声もあり好評だった。 ・館内の照明をLED照明にした。館内が明るくなり利用者に喜ばれている。 ・成人式は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、実行委員会(成人者中心)で検討しオンライン配信を行った。オンラインだったが実施できてよかったとの声が聞かれた。  (2) 苦情・改善等の要望事項 スリッパが女性には大きく階段の上り下りで脱げて危ない。 冬は換気をしながらの講座は寒い。							
				収入	18,359,877								
				自主事業支出	0								
自主事業収入	0												
損益	518,389												
昨年度実績	451,744												
担当課	家庭・地域学びの課			総合評価(100点満点)			66						
評価区分	評価	点数	施設分類		企画型	評価理由							
指定管理者の健全性	3	6			施設利用者は、21,398人で令和元年度45,668人と比較すると46.9%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 「親子で学ぶ講座をはじめ、文学や歴史を学ぶ講座、歌を歌う講座等を開催し受講者から高い評価を得ていること、館内の照明をLED照明に変更するなど、施設の有効利用を図り、利用者に好評を得ていることを評価した。 【地域連携を4とした理由】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、成人式について住民自治協議会や成人者でつくる実行委員会と協議を重ね、オンラインでの成人式を開催したこと、地元企業との連携を図り、地元の企業を地域の方に知ってもらう講座を継続的に実施し、企業及び参加者から好評を得ていることを評価した。								
施設の有効活用	3	12											
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	4	8											
次年度の目標・取組み等						指定管理者 自己評価 C							
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。													

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況					
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	芹田地区住民自治協議会			歳入	1,898,390	利用率	%	40	27	36	21	59%
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)			実支出額	18,156,140							
実施事業概要	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業			前年度実支出額	▲15,773,720							
				前年度からの実支出増減額	33,929,860							
				支出	18,194,808	利用者評価						
				収入	20,514,194	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	・「子ども陶芸教室」講師や参加者同士が話し合いながら作品を作る本講座は、昨年に続き2回目であったが好評であった。講座のアンケートでも94.7%が満足と回答した。「クリスマスクラフト講座」申込者が多く、3回に分けて実施した。コニファーや木の実などを使いテーブルアレンジを学んだ。楽しく癒されたとの感想を多くいただき好評であった。「芹の里散策講座」地区の史跡巡りを行った。郷土の歴史を学び、地域に愛着が持てたと好評であった。						
自主事業収入	0	・ホームページの更新に力を入れており、利用者から分かりやすい、更新が早いと高い評価をもらっている。										
損益	2,319,386	(2) 苦情・改善等の要望事項										
担当課	家庭・地域学びの課			昨年度実績	118,977	新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を利用者をお願いしているが、やりすぎではないかとの意見をもらった。						
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			64						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型		評価理由						
施設の有効活用	3	12										
利用者評価	4	16										
事業収支	3	6										
管理運営全般	3	12										
危機管理体制	3	6										
地域連携	3	6										
<p>施設利用者は、17,973人で令和元年度31,335人と比較すると57.4%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。</p> <p>【利用者評価を4とした理由】                  新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための消毒等について、利用者の協力を得ながら実施したこと。チラシにQRコードを掲載し、芹田公民館のホームページにアクセスしやすくするなど情報発信を行い、講座等の周知を広く図ったこと。ホームページを適時更新し利用者から評価を得ていることを評価した。</p>												
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価	
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。											C	

施設概要				事業収支(単位:円)			施設利用状況					
施設名	施設数	利用料金/代行制	一部利用料金制	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
指定管理者	篠ノ井地区住民自治協議会			歳入	3,494,631	交流センター利用率	%			37	27	74%
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日(3年間)			実支出額	41,421,367	交流センター分館利用者数	人			35,862	19,852	55%
実施事業概要	【交流センター】:施設の利用に関すること、交流センター事業に関すること、地域との連携等に関すること、市立交流センターとの連携等に関すること、その他の事業に関すること 【老人福祉センター】:老人福祉センター事業に関すること、その他の事業に関すること			前年度実支出額	▲43,226,456	交流センター分館利用率	%			14	9	64%
				前年度からの実支出増減額	84,647,823	老福:生きがいづくり講座受講者数	人			4,388	3,931	90%
				支出	42,528,431	利用者評価						
				収入	45,236,501	(1) 良好とする評価						
				自主事業支出	0	【交流センター】:「春を迎える寄せ植え講座」は、園芸研究家で有名な講師を招き開講した。球根の植え方や花後の管理について学び、初心者でも分かりやすい内容で楽しかったとの感想が多く好評であった。「いろは講座」は、各分野の精通した講師が講義を行い、5回講座で実施した(音楽・植物・太鼓・ストレッチ・信州の山の魅力)。5回の連続講座だが、各回ごと講義の内容が異なり、それぞれの講座内容が充実していたとの声が多く評価が高かった。「マンドリン演奏と歌声コンサート」は申し込み定員を80人としたが、申し込み人数が多数でキャンセル待ちが発生した。マスクをしながらも小さな声で口ずさむ様子が見られ、「参加できてよかった。」「心が晴れやかになった。」との感想が多数聞かれ好評であった。						
自主事業収入	0	【老人福祉センター】:「笑って楽しく元気体操」やさしく丁寧な指導と面白い会話で講座にくるのが楽しいと受講希望も多かったといへん好評だった。「おとなさんの考古学入門」毎回豊富な資料と専門家のわかりやすく詳しい解説で楽しいと好評だった。「春・桃の節句のお料理」プロの料理人から、見た目も良く簡単でおいしいひと手間を学べることができ、開催日も3月3日で好評だった。										
損益	2,708,070	(2) 苦情・改善等の要望事項										
担当課	家庭・地域学びの課			昨年度実績	3,832,499	【交流センター・老人福祉センター共通】 ①新型コロナウイルス感染拡大防止対策による換気対策で、ドアを開放して利用するよう利用者に依頼したところ、隣室への音漏れについて苦情があった。 ②利用するサークルに、3密回避を依頼したが、人数が多いサークルは予約した学習室では3密が回避できず、また全員が利用できる代替の学習室も確保することができなかったため、利用人数の調整を依頼した。状況を理解いただき利用人数を分けて利用してもらったが全員で活動したいとの声があった。						
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)			66						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型		評価理由						
施設の有効活用	3	12										
利用者評価	4	16										
事業収支	3	6										
管理運営全般	3	12										
危機管理体制	3	6										
地域連携	4	8										
<p>【交流センター・老人福祉センター共通】:施設利用者は、交流センター(本館)及び老人福祉センターで54,445人で令和元年度東日本台風の影響があった令和元年度96,294人と比較すると56.54%と減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、運営方法に問題があるものではない。</p> <p>【利用者評価を「4」とした理由】:新型コロナウイルス感染拡大防止対策による3密回避や換気の徹底、消毒等の協力依頼は、利用者に丁寧な説明を行い、理解を得ながら実施し、大きなトラブルは確認されなかった。また、利用時に人数調整をしているサークルに対し、多目的ホールの利用を勧めるなど学習の場を提供し、利用者から好評を得たため。・講座終了時のアンケートでは、交流センターが満足84.9%や満足13.1%、老人福祉センターが満足88.3%、やや満足11.7%と高い評価を得ており、アンケートを活用した講座を企画・運営するなどサービス向上につなげたため。</p> <p>【地域連携】を「4」とした理由:住民自治協議会、小中学校と連携を図り、人権を尊重し合う篠ノ井市民のついでや芸能祭で小中学生がビデオ出演を行うなど新たな取組みを実施し、世代間交流を図ったため。・簡易な修繕については、地域内業者に依頼したため。</p>												
次年度の目標・取組み等											指定管理者自己評価	
・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等をさまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。											C	

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	吉田公民館、吉田老人福祉センター			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	2	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	30,651,352	吉田公民館 利用者数	人	54,750	55,104	49,389	22,912
指定管理者	吉田地区住民自治協議会				歳入	2,191,242	吉田公民館 利用率	%	35	37	349	23	7%
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)				実支出額	28,460,110	老福:生きがいづくり講座受講者数	人	3,675	3,679	3,610	1,808	50%
実施事業概要	【公民館】:定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共利用に供すること。貸館に関すること。 【老人福祉センター】:高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務。				前年度実支出額	▲ 27,606,785	老福:地域福祉活動利用者数	人	2,866	1,425	1,330	193	15%
					前年度からの実支出増減額	56,066,895	老福:グループ活動利用者数	人	2,707	1,570	1,228	676	55%
				支出	28,656,483	利用者評価							
				収入	29,890,863	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	0	【公民館】 60歳未満の若い世代が参加できるような「イメージアップテクニック講座」「やさしいヨガ」「辰巳公園冬鳥観察会」を土曜日に企画し、好評であった。 【公民館・老人福祉センター共通】 新型コロナウイルス感染防止対策のため、募集人員を減らし募集したが、ほとんどが定員となるなど好評であった。							
自主事業収入	0	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	1,234,380												
昨年度実績	806,936												
担当課	家庭・地域学びの課												
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		64		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	企画型									
施設の有効活用	3	12			施設利用者は、公民館22,912人、老人福祉センター2,677人で令和元年度、公民館49,389人、老人福祉センター6,168人と比較すると54%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。 【利用者評価を4とした理由】 ホームページやFacebookを開設し、スムーズな発信で分かりやすく、親しみの持てる施設や事業を広く情報発信したこと。公民館事業では土曜日に講座を開講し、60歳未満の受講者を増やす取組みを行い、受講者から好評を得たことを評価した。								
利用者評価	4	16											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	6											
地域連携	3	6											
										次年度の目標・取組み等		指定管理者自己評価	
			【公民館・老人福祉センター共通】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		C								

施設概要				事業収支(単位:円)		施設利用状況							
施設名	寺町商家			市決算額	項目	令和2年度	利用者区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比
	施設数	1	利用料金/代行制		一部利用料金制	歳出	8,856,500	奥座敷・次座敷・入側	貸出件数	527	399	378	413
指定管理者	特定非営利活動法人夢空間松代のまちと心を育てる会				歳入	0	北之蔵	貸出件数	4	31	20	3	15%
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				実支出額	8,856,500	質蔵	貸出件数	85	24	39	5	13%
実施事業概要	・貸館(日替わりシェフ等への貸出し、物品の展示・販売等のための貸出し) ・自主事業(地域と連携したイベント、特定の者が独占しないコミュニティレストランなど)				前年度実支出額	▲ 9,056,760	学問所	貸出件数	225	283	141	471	334%
					前年度からの実支出増減額	17,913,260	台所	利用回数	260	229	310	212	68%
				支出	8,710,859	利用者評価							
				収入	8,835,625	(1) 良好とする評価							
				自主事業支出	669,827	【ワンデイシェフアンケートより】 ・とても美味しくいただきました。和のメニューもとても良いですね。スタッフの接客料理とても美味しくいただきました。春らしい料理で美味しかったです。気持ちのこもった料理おいしかったです など。 【一般喫茶アンケートより】 ・落ち着いた佇まいが好き。建物の素敵さと食事が最高。建物が素晴らしい ・職員が優しく気が利く。落ち着ける。ゆっくりできる。気楽に来られるから。雰囲気良くくて気に入ってます。建物を見ながらまたお茶したい など。							
自主事業収入	951,771	(2) 苦情・改善等の要望事項											
損益	406,710	特になし。											
昨年度実績	215,865												
担当課	文化財課												
評価区分	評価	点数	総合評価(100点満点)		62		評価理由						
指定管理者の健全性	3	6	施設分類	施設貸出2型									
施設の有効活用	3	12			【評価が4以上の項目について】 「利用者評価」については、アンケートの評判も良く、リピーターが増えていること、要望等に対して指定管理者が率先して適切に対処していることなど評価すべき点が多いことから「4」とした。								
利用者評価	4	8											
事業収支	3	6											
管理運営全般	3	12											
危機管理体制	3	12											
地域連携	3	6											
										次年度の目標・取組み等		指定管理者自己評価	
			引き続き新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながら、イベント企画や誘致による施設利用の拡大を図り、知名度の向上と収入の増を目指していく。運営方法も含め、適切に指導しながら文化財のより一層の活用を図っていく。		C								